

取扱説明書 Ver 1.01

SDC-001

フィールドライズ



お客様へ
いつでもメンテナンスができるように、取扱説明書、ボックスレンチ、ノブナット
は車内に保管してください。

この度は、スノーピーク製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は車両に装着したカーメイト社製「INNO」シリーズのルーフキャリアに取り付けるキャンプ用のルーフトップテントです。本製品は、車両が停止した状態でキャンプ場などの管理された場所において使用することを想定した製品です。公道上または一般の交通に供される場所での展開・使用はおこなわないでください。安全にご使用いただくためにもこの取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。説明内容で理解できない点および製品に不具合が確認された際には直ちに使用を中止し、ご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

目次

基礎知識.....	1	撥水・防水性能について	21
セット内容	2	紫外線の影響について	21
各部の名称	3	メンテナンス・保管	22
安全上の注意事項	5	メンテナンス上のテントの脱着	22
初めてお使いになる前に	7	品質保証について	25
ルーフキャリアへの取り付け方法	7	修理について	25
テントの設営	12	設営不可リスト	26
タープの設営	17	走行前チェックリスト	26
撤収の手順	19	スペック	27
結露について	21		

基礎知識

■ 適合車種

- ・ 本製品はカーメイト社製「INNO」シリーズのルーフキャリアを使用することを前提としています。本製品をご使用の際は、必ず「車種別適合情報」でテントが積載可能とされているルーフキャリアを装着してください。



■ 「最大積載重量」と「テント使用時許容総重量」

- ・ 車両によって「最大積載重量」および「テント使用時許容総重量」は、異なります。「車種別適合情報」でそれぞれの上限を確認し、それらを超えないようにご注意ください。
- ・ 「最大積載重量」とは、本製品51kg(マット3kgを含む)および、他のカーメイト社製アタッチメント(積載物を含む)の合計重量の上限です。「テント使用時許容総重量」とは、テント使用時の人員の重量とテント内の荷物の合計重量の上限です。

■ 積載時の注意

- ・ 積載状態での長期間の使用は、製品本体への負担・劣化を早める原因となります。長期間使用しない場合は、取りはずすことを推奨します。詳細は、P22「メンテナンス・保管」を参照してください。
- ・ 道路交通法を順守し、積載してください。

■ 走行速度

- ・ 道路交通法を順守し、風・路面・積載状態に応じた安全速度で走行してください。車両の安定性や積載物の飛散防止のため、状況に応じて無理な速度での走行は避けてください。

■ 車検

- ・ 車検の際は、ルーフキャリアから本製品を取りはずしてください。また、ルーフキャリアも取りはずすように指示された場合は、その指示に従ってください。

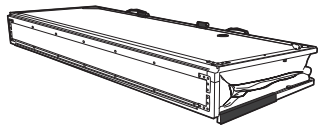
■ 全高の確認

- ・ 高さ制限のある駐車場・トンネル・高架下などを走行する際は、全高(本製品を取り付けた状態の車両の高さ)が、それらの高さ制限以下であることを必ず確認してください。
- ・ 目安として、「車種別適合情報」で、本製品装着時の高さを確認してください。本製品装着時の高さはあくまで目安です。ご使用状況により異なりますので、実際の車両にてご確認ください。

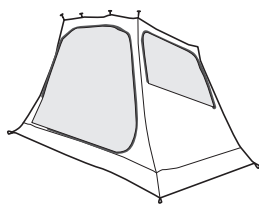
■ エアフレーム

- ・ 本製品は、空気を注入して設営するエアフレーム構造を採用しています。この構造は、外装カバーが内部チューブの膨張を一定に抑えることで、フレームとしての剛性を確保する仕組みです。そのため、エアフレームカバーのファスナーを開けると、開口部を起点として内部チューブが異常に膨張したり、破裂したりするおそれがあり大変危険です。設営時・使用時・メンテナンス時を問わず、絶対に開けないでください。

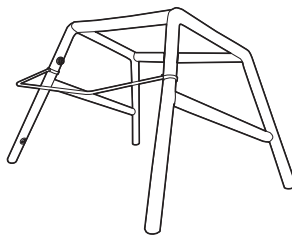
セット内容 ※ご使用の前にセット内容、付属品がすべて揃っているかを確認してください。



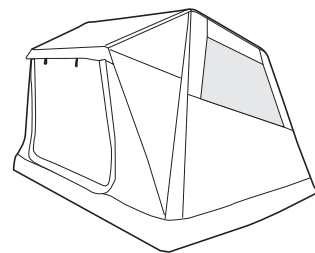
テントベース



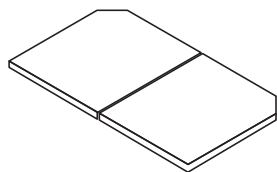
インナーテント



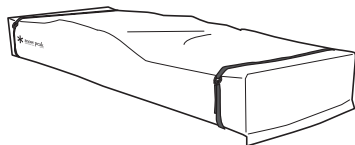
エアフレーム



フライシート



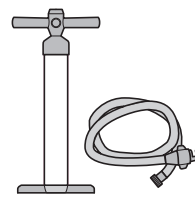
マット



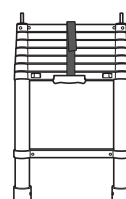
収納カバー



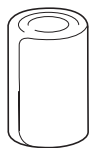
補助ポール×2



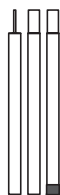
手動ポンプ、ホース



はしご



タープ



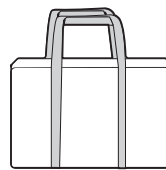
タープポール
(210cm)



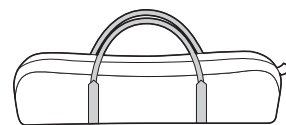
スチールペグ
(30cm)×6



自在付ロープ
(二又5m×1、2m×2、
5m×2)



マットキャリーバッグ



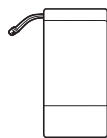
タープキャリーバッグ



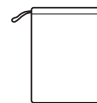
補助ポール
収納ケース



タープポール
収納ケース



ペグ・ロープ
収納ケース



小物収納ケース



ベース固定金具×4



平ワッシャー×10
(予備2含)



パネワッシャー×10
(予備2含)



プラスチック
ナット×8
(予備2含)



盗難防止
ナット×2



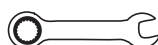
ノブナット×2



Tボルト×8



ロックナット×8
(予備2含)



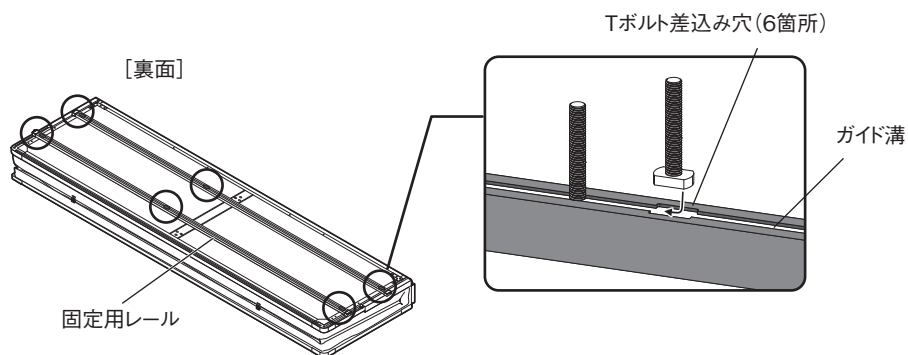
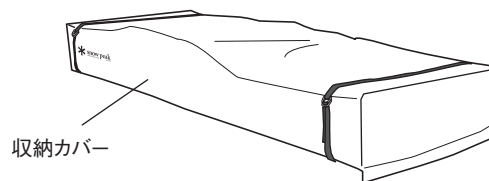
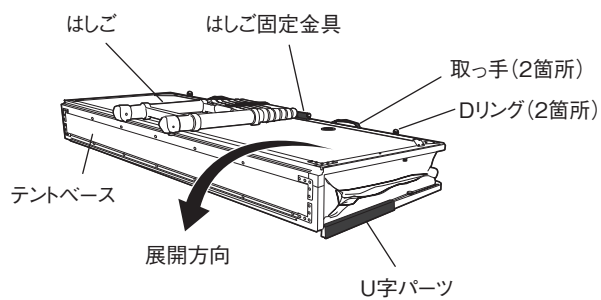
ボックスレンチ



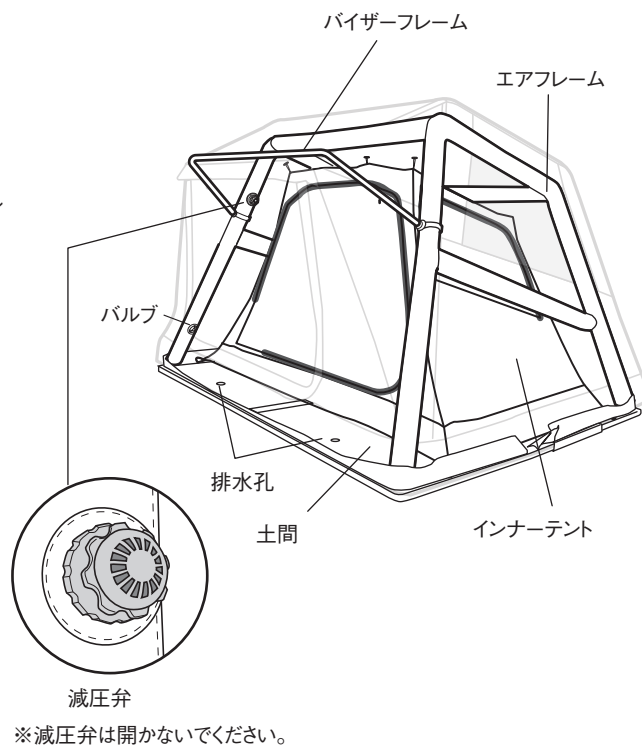
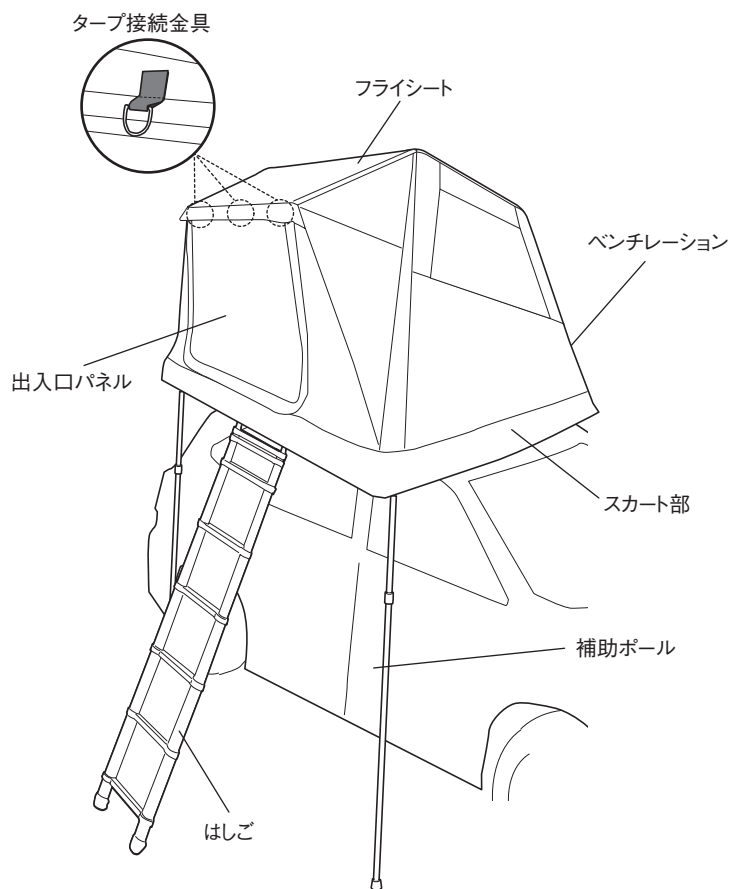
取扱説明書
(本書)

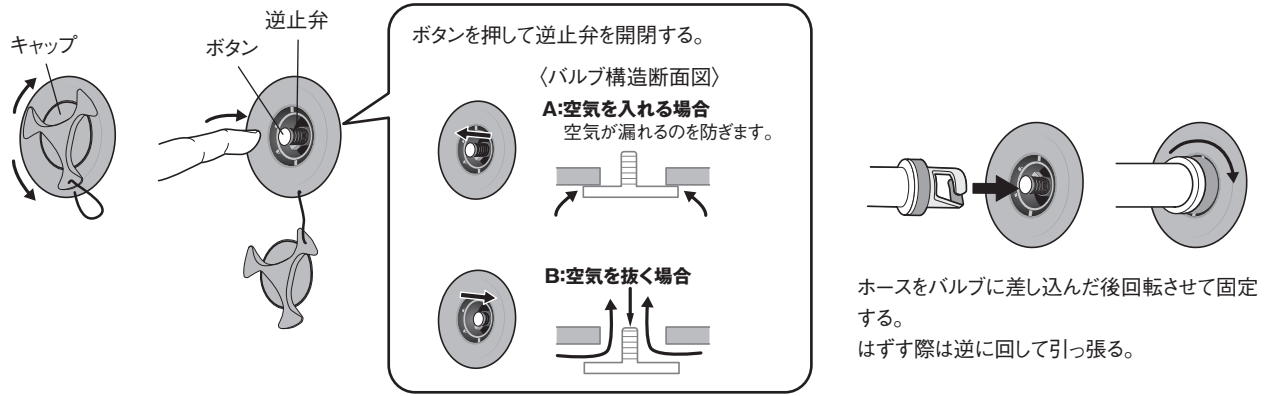
各部の名称

■ テントベース

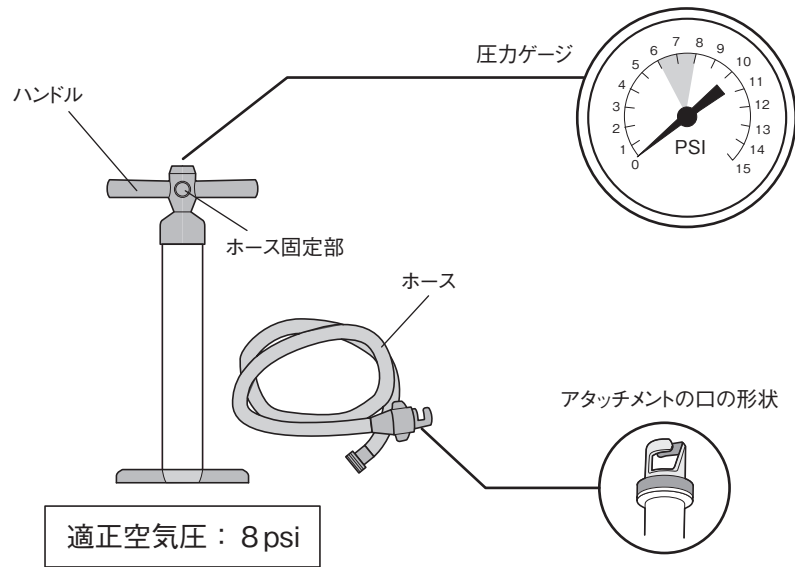


■ テント

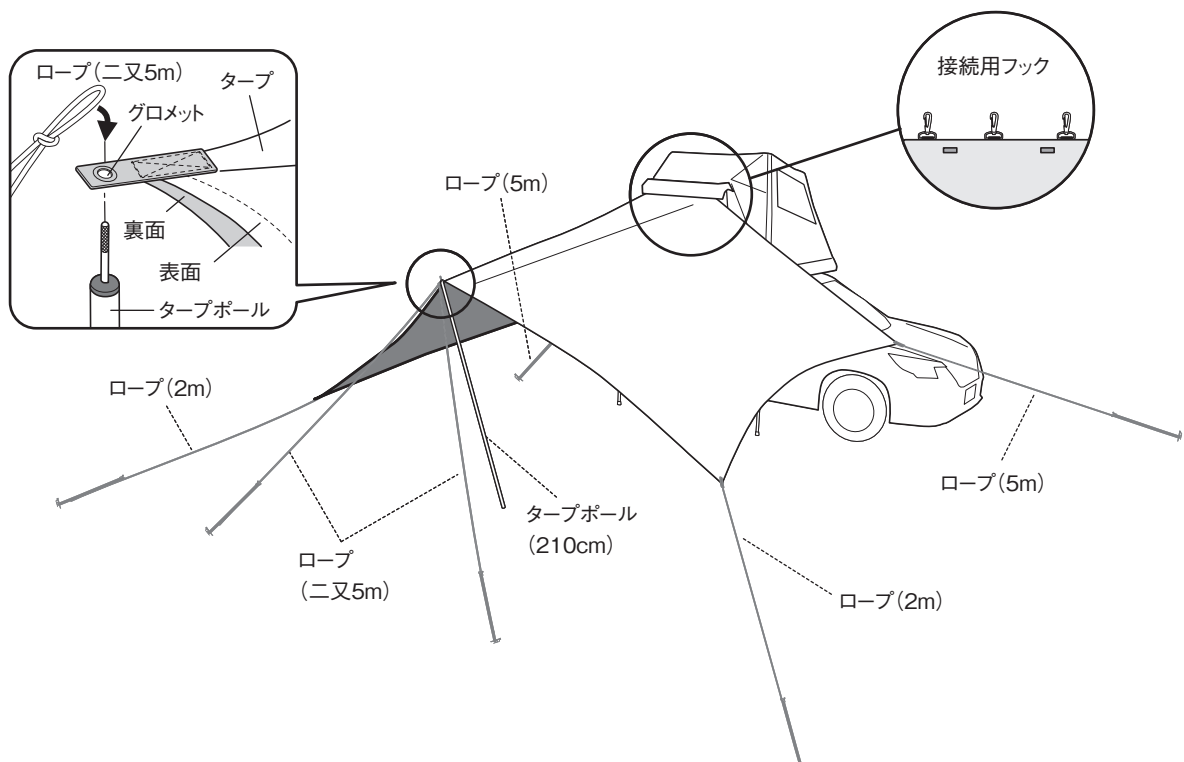




■ エアポンプ



■ タープ



安全上の注意事項 ご使用の前によく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

免責事項

- 本取扱説明書は、すべての使用状況における法令適合性や安全性を保証するものではありません。使用にあたっては、設置場所の管理者の指示および関係法令・規則を確認してください。
- 製品は安全性に十分配慮して設計されていますが、誤った取扱いは重大な事故、さらには車両や製品の破損などの原因となり、大変危険です。予期せぬ事故を防ぐため、本書の記載事項を必ず守ってください。記載を守らなかったことにより発生した事故や損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 梱包状態での運搬や作業中の損害、自然災害や第三者による損害についても一切の責任を負いかねます。
- 本製品を改造・加工した場合、または指定以外の部品を使用した場合は、保証の対象外となります。これらに起因して発生した不具合・事故・損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 予告なく製品の仕様を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

■ ルーフキャリアへの脱着時

危険 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

- 作業の際は、車のエンジンを止めて（パワースイッチをOFFにして）サイドブレーキを必ずかけ、傾斜のない平坦な場所でおこなってください。
- 必ず適合するルーフキャリアに取り付けてください。
- 取扱説明書の手順に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは重大事故につながります。
- 本製品やルーフキャリアに異常がある場合は、直ちに使用を中止してください。
- 気象状況には常に細心の注意を払い、強風時などには、作業を中止してください。

警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

- 本製品は重量物です。車体や周囲を傷つけないよう注意しながら、大人3人以上で作業してください。
- 取り付け、取りはずしの際は、手や指など体の一部を挟まないようにご注意ください。重大なケガをするおそれがあります。
- 安全のため、作業中は子どもやペットを近づけないでください。
- ルーフキャリアに本製品以外のもの（カーメイト社製アタッチメントなど）を取り付ける場合は、最大積載重量を超えないよう注意し、バランスよく配置してください。
- 車両のランプ類、ナンバープレート、ミラーなどの視認や運転の妨げとなるような取り付けはしないでください。

注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

- 作業の際は、ケガを予防するために手袋の着用を推奨します。
- 高い位置での作業となります。部品や工具が落下しないよう注意してください。
- 焚火や花火などのそばで作業しないでください。火の粉を被り、生地に穴を空けてしまう場合があります。
- 日差しにより車両および本製品が高温になります。ヤケドに注意してください。とくに夏場の作業はなるべく素肌が接触しないよう気を付けてください。
- 本製品を取り付けたまま長期間車両を使用すると、走行中の振動や風雨により、製品本体に負担がかかり、劣化を早める原因となります。長期間使用しない場合は、車両から取りはずしてください。

■ 走行時

危険 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

- 必ず道路交通法を順守して走行してください。
- 走行前は「走行前チェックリスト」に基づき、必ず点検をおこなってください。また、悪路走行後や走行距離100kmごとに同様の点検をおこなってください。（P26参照）
- 走行中に異常を感じた場合は、直ちに安全な場所に停車し、本製品やルーフキャリアを確認してください。
- 高さ制限のある駐車場・トンネル・高架下などを走行する際は、全高（本製品を取り付けた状態の車両の高さ）が、それらの高さ制限以下であることを確認してください。

警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

- 急加速・急発進・急停車・急旋回など「急」がつく運転をしないでください。本製品を取り付けると車両の重心や全高が変わるため、走行安定性に影響を及ぼします。通常よりも慎重に運転してください。
- 強風・横風・悪路・凍結路面では速度を控え、車間距離を十分にとってください。
- テントベースが開いたままの状態や収納カバーを取りはずした状態で走行しないでください。
- 走行中に事故やトラブルが発生した場合は、道路交通法に定められた適切な措置を取ってください。

注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

- 本製品を取り付けた状態での洗車はおこなわないでください。洗車の際は、本製品を取りはずしてください。
- 長期間使用しない場合は、本製品を車両から取りはずしてください。本製品の劣化の原因になります。

■ テント、タープ、はしごの設置・撤収時

⚠ 危険 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

- 作業の際は、車のエンジンを止めて（パワースイッチをOFFにして）サイドブレーキを必ずかけ、傾斜のない平坦な場所でおこなってください。
- P26「設置不可リスト」に記載されている場所には設置しないでください。はしごや補助ポールの保持力が低下し、転落や転倒、テントベースが落下する危険があります。
- 取扱説明書の手順に従って正しく設置、撤収してください。不適切な設置は重大事故につながります。
- 高所作業を伴うため、転落や転倒、工具の落下に注意してください。
- はしごの角度は約75～85°にし、確実にロックしてください。はしごの立てすぎや倒しすぎは、転落や転倒の危険があります。
- 石や木などの上にはしごや補助ポールを載せて長さを調整しないでください。石や木の上に載せると不安定となり、転落や転倒の危険があります。

⚠ 警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

- 設置前に、本製品を点検し各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止し弊社ユーザーサービスにお問い合わせください。
- 作業の際は、頭上や周囲の安全と十分なスペースを確保し、作業してください。
- 本製品は設置時に車両幅を超えます。十分なスペースが確保できない場所や、第三者の通行・接近が想定される場所では使用しないでください。
- 安全のため、作業中は子どもやペットを近づけないでください。
- テントベースの展開時や設置・撤収の際は、風の影響を受けないよう注意してください。また、強風時は作業を中止してください。
- タープの設置・撤収の際は、風に飛ばされないよう本体をしっかりと支えてください。また、ポールを取扱う際は、必ず周囲の安全を確認してください。
- タープはベグとロープでしっかりと固定してください。また、U字パーツや補助ポール、はしごが確実に固定されていることを確認してください。
- テントが立ち上がっていない状態では、テントベースの上に乘らないでください。転落のおそれや本製品を傷めるおそれがあります。
- テントベースの開閉部やはしごの伸縮部、各すきまに指を入れないでください。挟んでしまった場合、重大な身体的障害を引き起こすおそれがあります。

⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大被害の原因となる行為を示します。

- 日差しによりテントの表面やテントベースは低温やけどに発展するほどの高温になります。十分にご注意ください。
- 火気の近くで作業しないでください。
- タープの設置・撤収の際は、風に飛ばされないよう本体をしっかりと支えて作業してください。事故に繋がるおそれがありますのでポールを取扱う際は必ず周囲の安全を確認して作業してください。作業は必ず2人以上でおこなってください。
- 生地を引っ張りすぎると破損するおそれがあります。ご注意ください。
- タープは非自立型のタープです。ロープを正しく張ることにより風や雨に耐える強度を得ることができます。ご使用の際は取扱説明書（本書）に従い必ずすべてのロープを張ってください。
- 樹液が付着するときれいに除去することができません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設置してください。シンナーやベンジンなどの有機溶剤により無理に除去しようとすると生地やコーティングを傷めてしまいますのでおやめください。

■ テントやタープの使用時

⚠ 危険 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

- 悪天候や強風が予想される場合は使用を中止し、安全な場所に避難してください。
- エアフレームカバーのファスナーを固定している結束バンドは、いかなる時も絶対に切らないでください。エアフレームカバーが開き、内部のエアチューブが破裂するおそれがあります。
- テント内では燃焼器具やライター、マッチ、ろうそく、たばこなどは絶対に使用しないでください。火災や酸素欠乏、一酸化中毒などのおそれがあり大変危険です。
- 本製品は難燃性ではありません。燃焼器具や焚火、花火のそばで使用しないでください。火災の危険があります。また、火の粉で製品に穴が空くことがあります。
- テント内に燃料や引火性のあるものを持ち込んだり保管したりしないでください。
- ご使用前に各部を点検し、異常がないことを確認してください。異常がある場合は直ちに使用を中止し、弊社ユーザーサービスにお問い合わせください。
- テントベースからの落下は死亡・重傷事故の原因になります。昇降は慎重におこなってください。
- はしごの耐荷重は150kgです。耐荷重を超える場合は使用しないでください。また、複数人で同時に使用しないでください。



⚠ 警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

- テントベースやはしごにぶら下がったり、飛び跳ねたりしないでください。破損による事故のおそれがあります。
- インナーテント内では、端に寄って座ったり、重い荷物を1箇所にとまめたりしないでください。人や荷物が一方に偏らないよう、全体に分散して使用してください。
- タープは体感以上に大きな風圧を受けるので、ベグやロープでしっかりと固定されていることをこまめに確認してください。また、強風時は本製品やタープの使用を中止してください。
- はしごが変形・破損した場合は直ちに使用を中止してください。また、ご自身で修理することも避けてください。重大な事故の原因になります。
- 酔酩中、妊娠中、体調不良時は使用を控えてください。テントベースやはしごから転落すると死亡や重傷事故の原因となります。
- 天候によってはテント内が高温になるため、熱中症や脱水症状などの危険があります。長時間テント内にとどまる際は、十分に注意してください。
- 夜間など足元が見えづらいときは、テントやテントベースにライトを取り付けたり、ヘッドライトを使用するなど両手を使ってはしごを昇り降りできるようにしてください。
- 降りる際は、はしごに背を向けて降りないでください。
- はしごでの昇降時は手でベースの取っ手などを掴みながら慎重におこなってください。

⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大被害の原因となる行為を示します。

- 積雪が予想される場合は使用しないでください。本製品はエアフレーム構造のため雪の重みで全体が潰れ、重大な事故につながるおそれがあります。やむを得ず積雪下で使用する場合はこまめに除雪し、必ず換気をおこなってください。
- 本製品を常設しないでください。長期間日光にさらされると、紫外線により生地が劣化し強度が低下します。長期間使用しない場合は、ルーフキャリアから本製品を取りはずしてください。
- はしご、ポール、ロープ、ベグなどに足を引っ掛けないように注意し、夜間は周囲をライトで照らすなどしてください。
- はしごを使用するときは、下記の点に注意してください。
 - ・はしごを使用する前に、すべてのステップが確実にロックされていることを確認してください。
 - ・はしごの途中から飛び降りないでください。
 - ・昇降する際は、はしごに背を向け不要でください。
 - ・昇降する際は、完全に伸ばし切ったステップを掴んでください。上段部の伸ばし切っていないステップを掴むと、指を挟みやすく危険です。
 - ・お子さまが昇降する際は、補助者がはしごの足元を片足で押さえて、両手ではしごをしっかり支えてください。その際、補助者以外の人は近づかないでください。
 - ・はしごの使用中に無理に押したり引いたりしないでください。反動ではしごが不安定になります。
 - ・はしごから体を乗り出さないでください。

初めてお使いになる前に

■ セット内容の確認

すべての部品がそろっているか確認してください。

■ 予行練習

ルーフキャリアへの取り付け後、キャンプ場で使用する前に必ず本取扱説明書のP12～P16「テントの設営」を参照し、テントを設営してください。

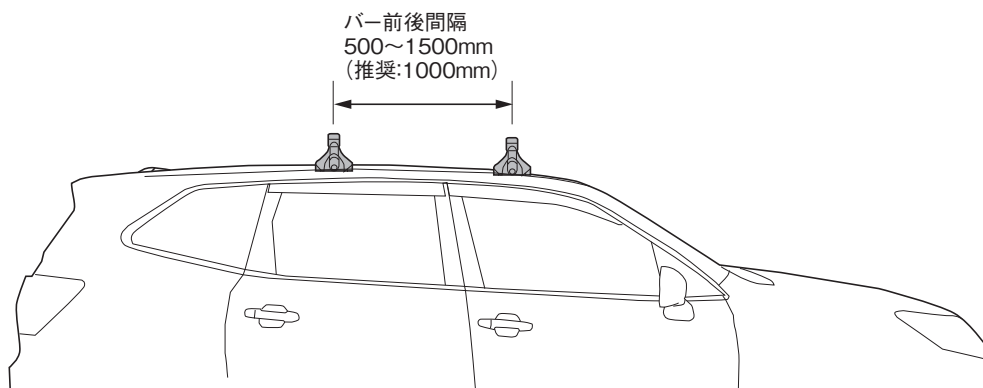
ルーフキャリアへの取り付け方法 より安全に設営するためにも必ず大人3人以上で作業してください。

- 危険**
- 車のエンジンを止めて（パワースイッチをOFFにして）サイドブレーキを必ずかけ、傾斜のない平坦な場所でおこなってください。
 - 必ず適合するルーフキャリアに取り付けてください。また、ルーフキャリアが正しく取り付けられていることを確認してください。

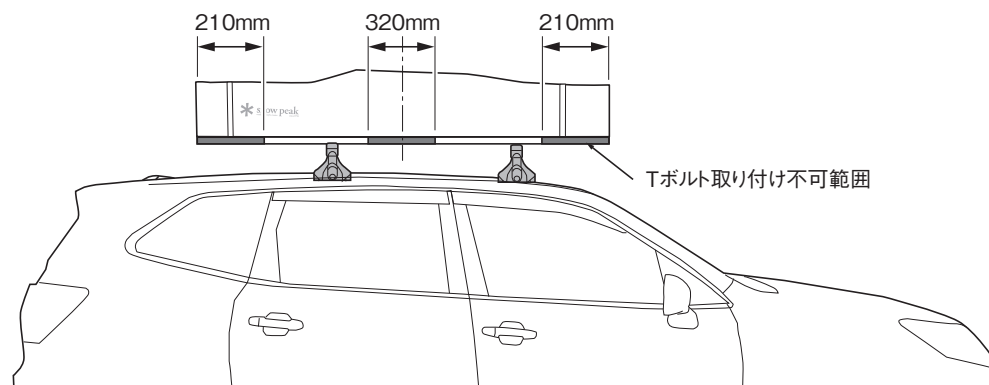
注意 ●作業用の手袋など必要な保護具を準備して、手元に十分注意してケガをしないように作業してください。

① テントベースの取り付け位置の確認

(1) ルーフキャリアの取り付け位置を確認してください。

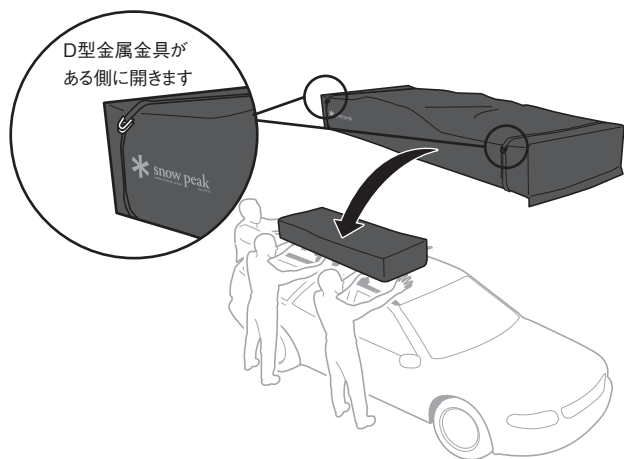


(2) 下記の位置には、Tボルトの取り付けができません。テントベースの取り付け位置を確認してください。

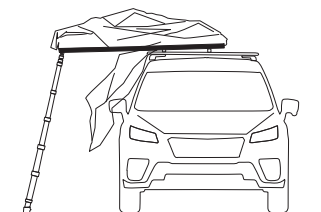


(3) 以下のことを確認してください。

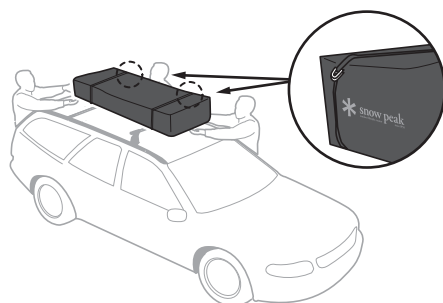
- テントベースを展開する向きに合わせて載っているか



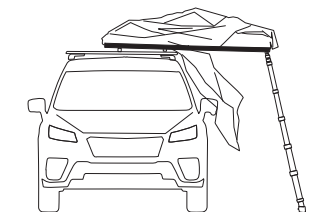
〔展開時イメージ〕



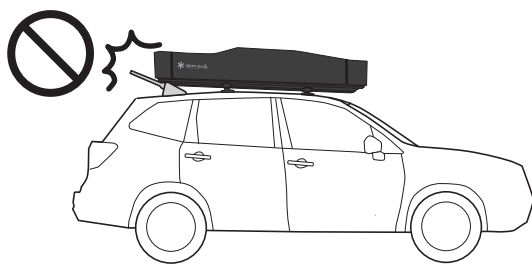
参考 反対側に展開させたい場合は、テントベースの前後を逆にして載せてください。



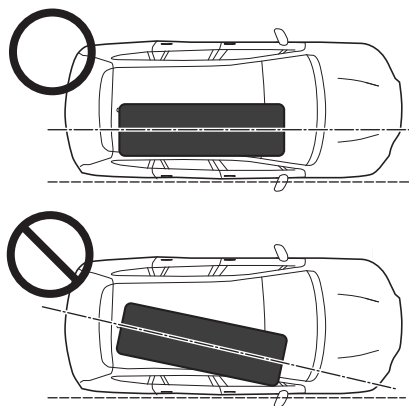
〔展開時イメージ〕



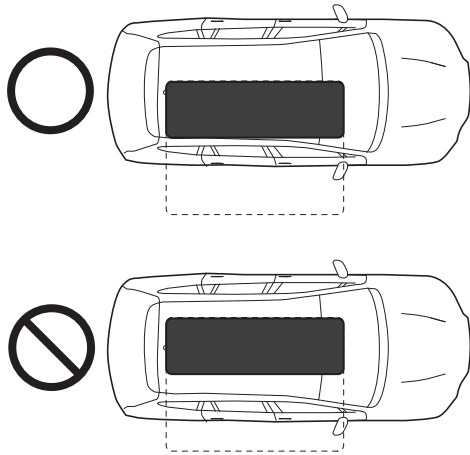
- 車両ルーフ上のアンテナやその他の部品と干渉していないか



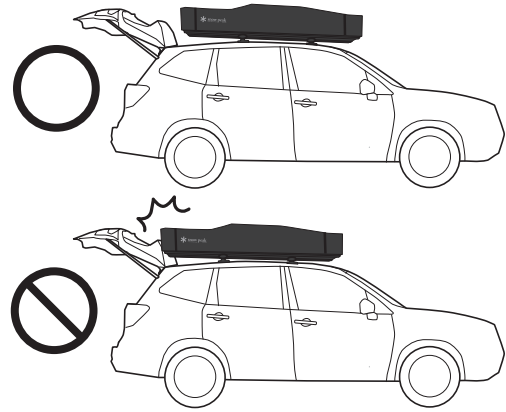
- 車両の直進方向と平行になっているか



- 内側に寄せ過ぎていないか
(寄せ過ぎると、はしごの角度が寝すぎて正しく設営できないおそれがあります。)

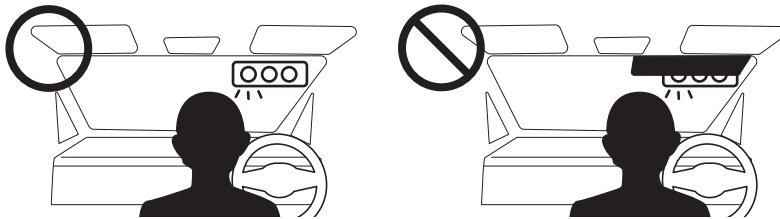


- バックドアやリアゲートとの干渉はないか



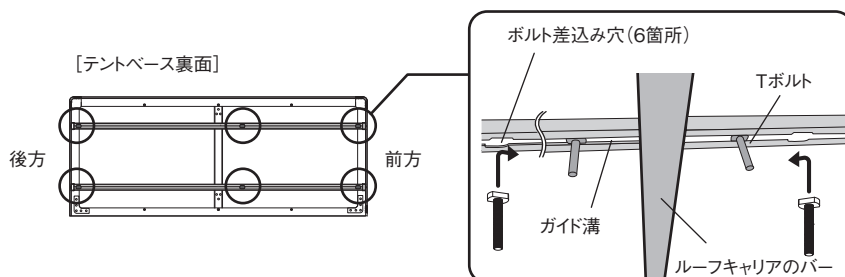
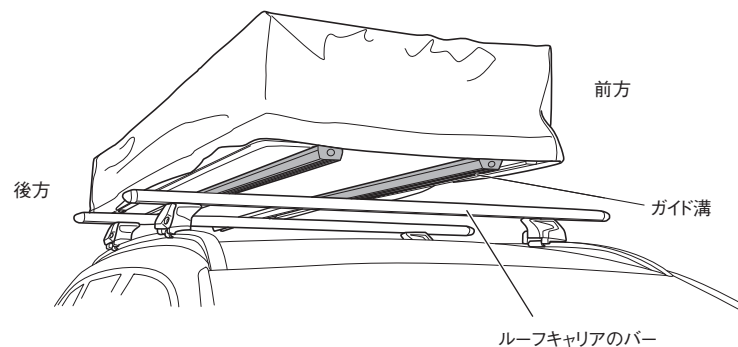
参考 車種によってはルーフキャリアの取り付け位置が変更できないなど、リアゲートとの干渉が避けられない場合がありますが、使用上は問題ありません。リアゲート開閉時はテントベースに当てないように注意してください。

- 車両のランプ類、ナンバープレート、ミラーなどの視認性や運転の妨げになっていないか
(例:車両前方に取り付けると、運転席から信号が見えない)



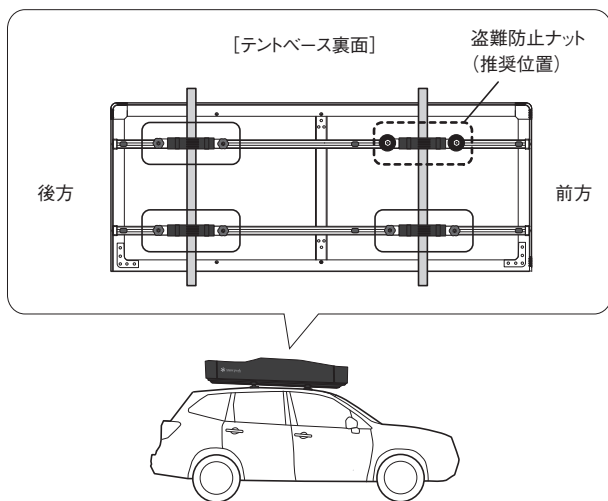
② Tボルトの挿入

テントベース裏面のボルト差込み穴にTボルトを差し込んでスライドさせ、ルーフキャリアのバーの前後に配置してください。



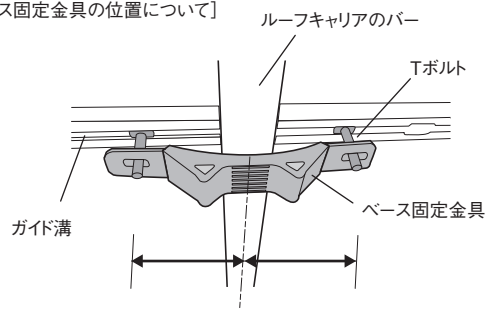
③ ベース固定金具の固定

●ベース固定金具4個のうち1個は、盗難防止ナットを使用して固定します。

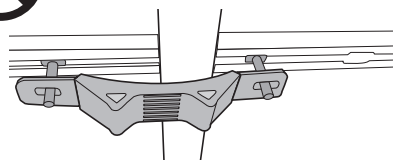


●ベース固定金具はルーフキャリアのバーに対して対称に取り付けてください。

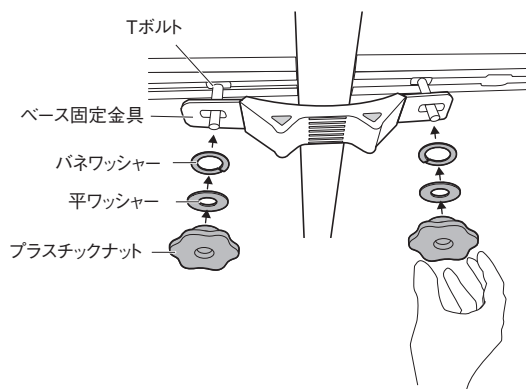
[ベース固定金具の位置について]



ルーフキャリアのバーに対してベース固定金具が対称の位置にない

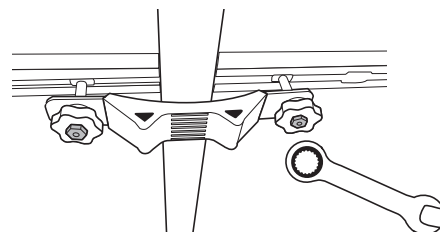


(1) ベース固定金具3個は、それぞれのベース固定金具の両穴にTボルトを通して、バネワッシャー・平ワッシャーを順に取り付け、プラスチックナットを手で回して固定してください。

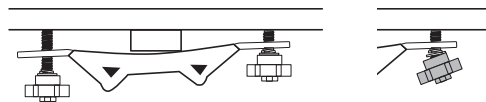


(2) ロックナットをボックスレンチで均等に締め付けてください。

参考 ロックナットはプラスチックナットに軽く触れる程度まで締め付けてください。

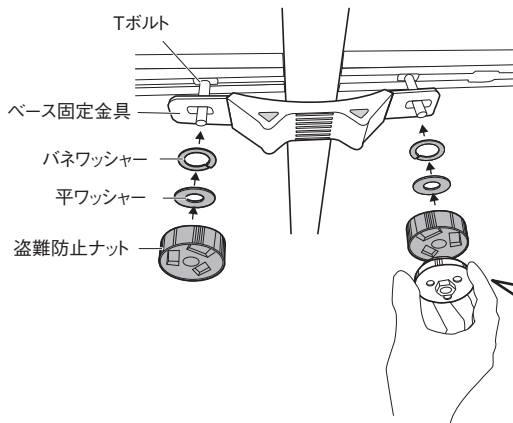


左右の固定が均等ではなかったり、プラスチックナットが斜めに固定されている場合、走行時にゆるむおそれがあります。



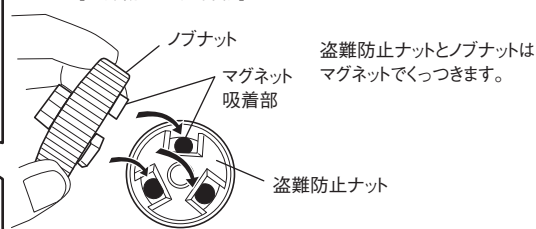
(3) 残り1つのベース固定金具の両穴にTボルトを通してバネワッシャー・平ワッシャーを順に取り付け、ノブナットを手で回して、盗難防止ナットを固定してください。

参考 ノブナットが回らなくなるまで締め付けてください。

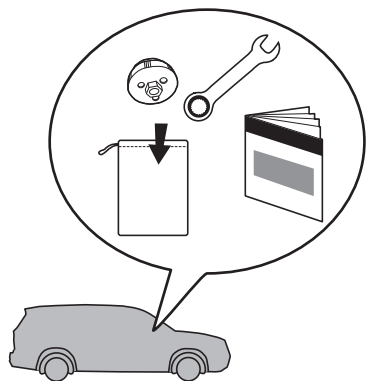


(4) P8、9を参照し、テントベースが正しい位置に取り付いているか確認してください。正しい位置に取り付いていない場合は各ナットを緩めて位置を調整し、取り付け直してください。

[盗難防止ナット詳細]



参 考 いつでもメンテナンスができるように、取扱説明書、ボックスレンチ、ノブナットは車内に保管してください。



テントの設営 より安全に設営するためにも2人以上での作業を推奨します。

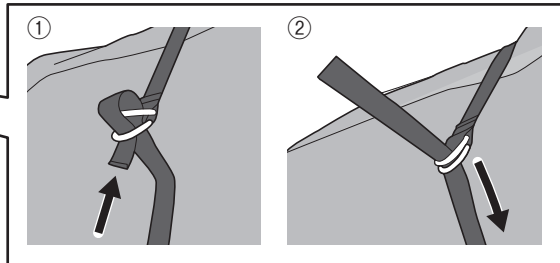
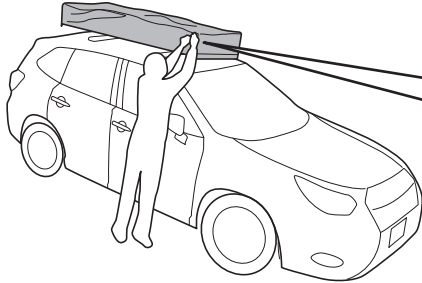
危険 ●車のエンジンを止めて(パワースイッチをOFFにして)サイドブレーキを必ずかけ、傾斜のない平坦な場所でおこなってください。
●P26「設営不可リスト」に記載されている場所には設営しないでください。

注意 ●ドアの開閉による本製品への傷や思わぬ事故にはご注意ください。

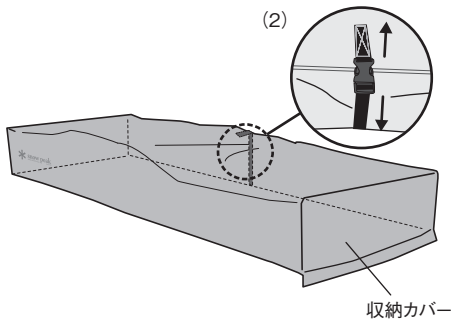
① 収納カバー・開閉固定部の取りはずし

(1) D型金属金具をはずし、収納カバーをめくる準備をします。

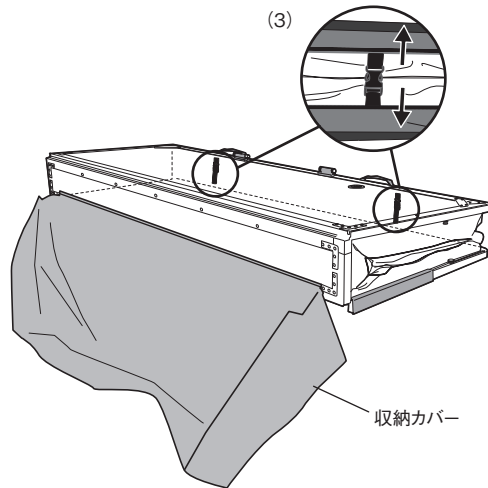
※はずしたベルト部分はルーフキャリアの下を通して反対側に送り、カバーを開けやすくしておいてください。



(2) 車両の反対側に回り、中央のバックルをはずして、収納カバーを開いてください。



(3) 収納カバーをめくり、テントベース開閉部を固定しているバックル(2箇所)を取りはずしてください。

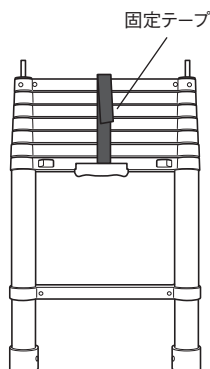


② はしごの伸縮とテントベースの展開

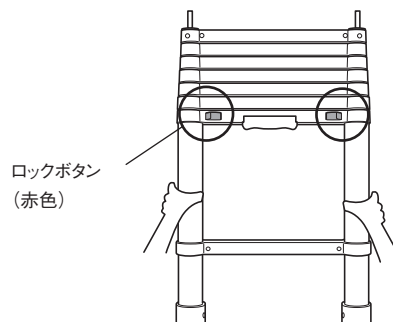
警告 (1)～(3)の作業は途中で止めず、必ず連続しておこなってください。
はしごを伸ばしたまま放置すると、自重により突然下降し、指や手を挟むなどの重大な傷害につながるおそれがあります。

注意 ●ロックボタンが確実にロックされていないと、使用中にはしご全体が伸縮し、転倒やケガの原因となるおそれがあります。必ずロックを確認してください。
●はしごの固定テープは、くくりつけたりせずに後ろに垂れ下がるようにしてください。

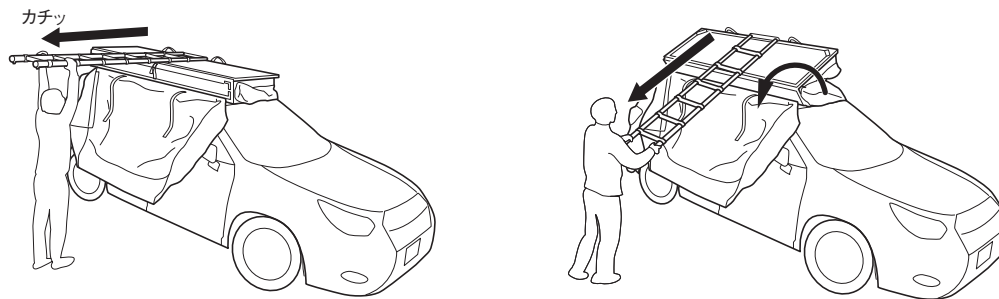
(1) はしごの固定テープをはずしてください。



(2) はしごのロックボタンのすぐ下の段を両手で持ち、はしごを地面と平行になるようにゆっくり伸ばしてください。



(3) ロックボタンが「カチッ」と音がしてすべての節が確実にロックされるまで伸ばしてから、ベースを開くように、はしごを地面に降ろしてください。

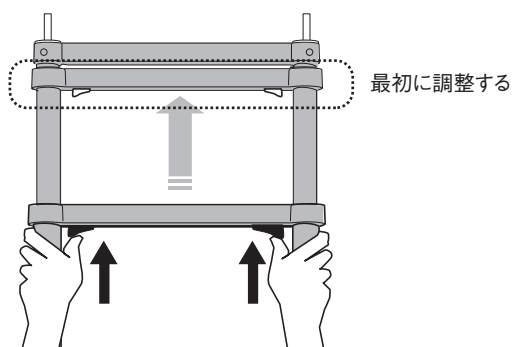


(4) テントベースが水平になるように、はしごの角度を調整してください。はしごは地面に対して75～85度の範囲内になるように設置し、バランスよくテンションがかかる状態で固定します。



【調整方法】

はしごの各段の下側にあるロックボタンを両手で押しながら、一番上の節から一段ずつ調整してください。



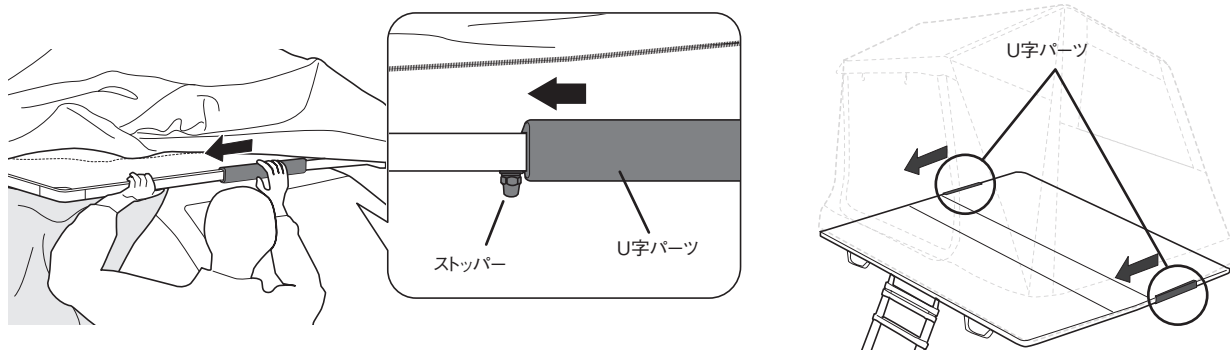
警告 ● ロックボタンが確実にロックされていないと、使用中にはしご全体が伸縮し、転倒やケガの原因となるおそれがあります。必ずはしごがロックされていることを確認してください。
● はしごの固定テープはくくりつけたりせず、後ろに垂れ下がるようにしてください。



③ U字パーツの固定(テントベース両サイド)

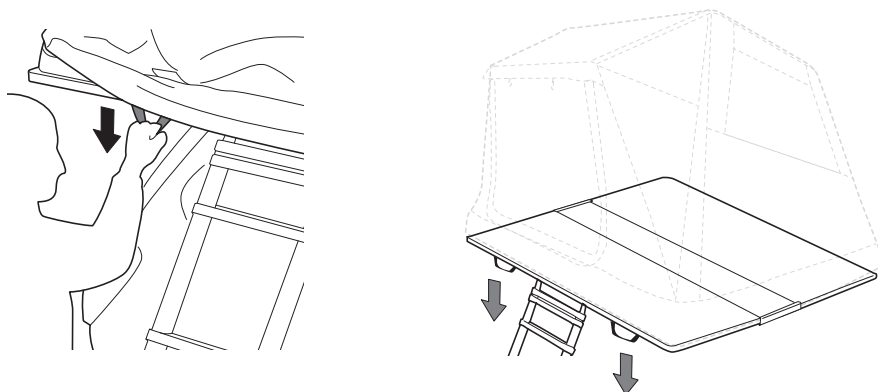
- ・テントベースの両サイドにあるU字パーツ(2箇所)をスライドさせて、ベースに取り付いているストッパーに当たる位置までU字パーツをスライドさせてください。
- ・U字パーツが固い場合は、再度テントベースが水平かを確認し、はしごの角度を調整してください。

警告 ●テントベースにのぼる前にテントベースのU字パーツが確実にかかっていることを必ず確認してください。はずれていると、テントベースが傾き、転落のおそれがあります。



④ テントベースが安定していることの確認

- 取っ手に体重をかけ、テントベースが安定しているかを確認してください。
- ・ガタつく場合は、はしごの角度や長さを再調整してください。
 - ・はしごを正面から見て、傾いていないか、ねじれていないか確認してください。

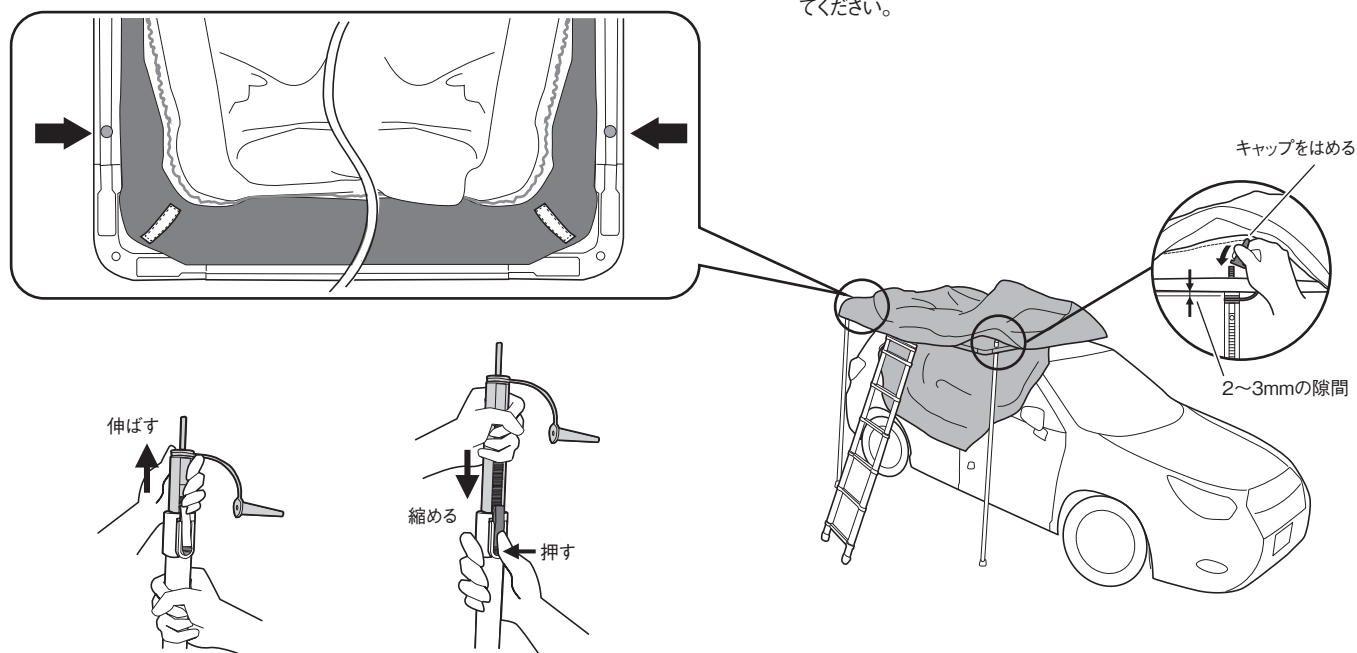


⑤ 補助ポール(2本)の取り付け

- 警告** ●補助ポールが正しく設置されていないと、テント端に荷重がかかった場合に危険です。
- はしごや補助ポールの長さを調整するために、石や木などの上に載せたりしないでください。

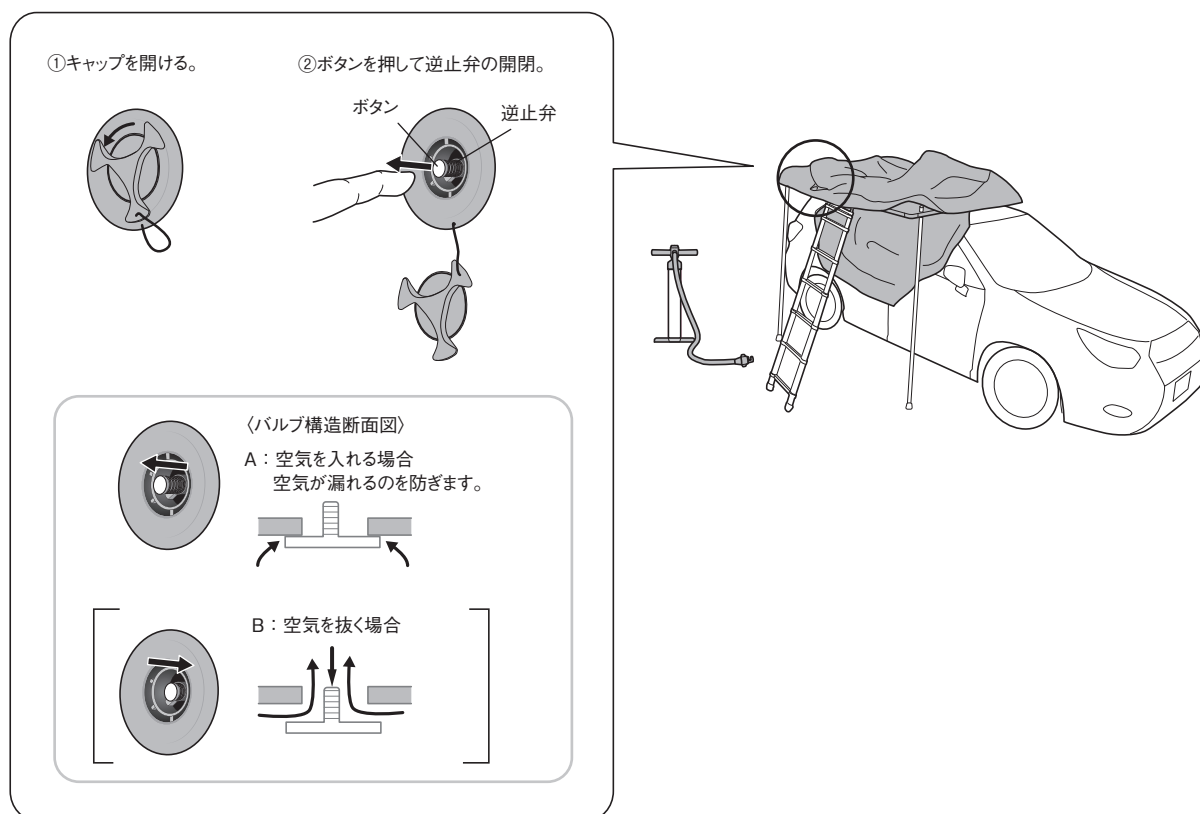
(1) 補助ポールのキャップを取りはずし、テントベースの両サイドの穴に差し込んで、補助ポールのアジャスターを伸ばしてください。

(2) 長さ調整後、上からキャップをはめてください。
※補助ポールは主荷重を支えるものではありません。本体を持ち上げないよう、ポール上端とベース下面の間に約2~3mmの隙間を設けてください。



⑥ エアフレームへの空気注入

(1) バルブのキャップを開け、逆止弁のボタンが出ていることを確認してください。(ボタンが出ている状態が、空気が漏れない状態です。)



(2) 手動ポンプをバルブに取り付け、適正空気圧 (8psi) までポンプを押して、空気を入れてください。

※エアフレームが適正な空気圧に達すると、余分な空気が自動的に抜けるため、減圧弁から「シュー」という音がします。パンクではございません。

※減圧弁はついていますが、過剰な空気の注入は製品の破損につながるおそれがあります。

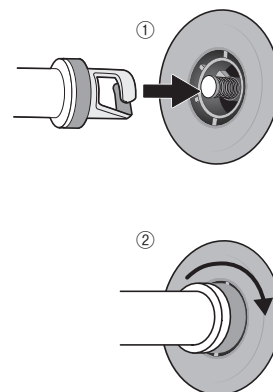
※エアフレームが折れていると、うまくテントが立ち上がらない場合があります。

エアフレームの折れや他の部品との絡みがないことを確認し、テントをゆっくりと持ち上げるなど補助をおこなってください。

また、ベースなどにテントの引っ掛かりがないか確認しながら空気を注入してください。

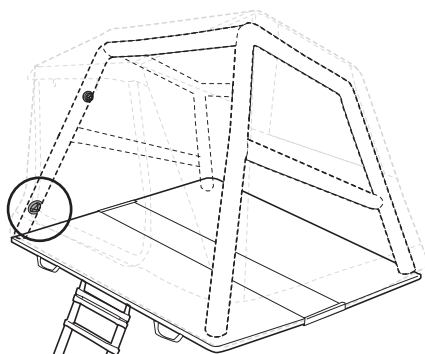
参考

- ・手動ポンプを取り付ける際は、ポンプのホースがねじれていないことを確認してください。ポンプのホースがねじれていると、空気注入中にバルブかはずれるおそれがあります。
- ・手動ポンプは、深くゆっくり押すと空気が入れやすくなります。

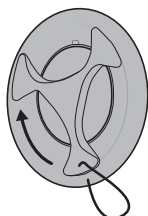


適正空気圧：8 psi

[空気が入った時の状態]



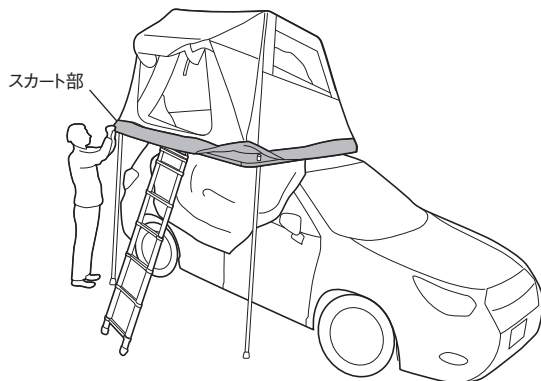
(3) バルブのキャップを閉じてください。



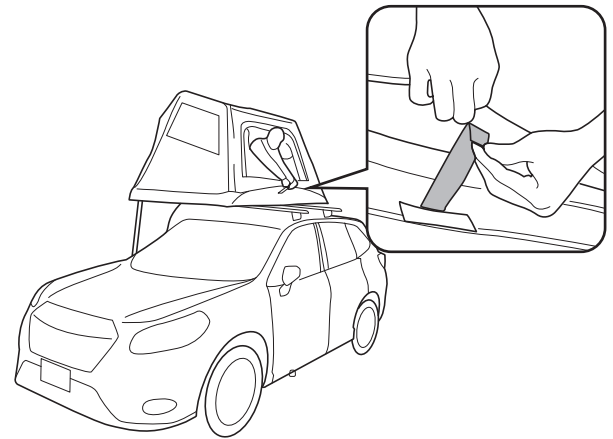
⑦ テントを整える

テントが立ち上がったら、次の調整をおこなってください。

(1) テントのスカート部をテントベースの上にしっかり被せてください。



(2) ベンチレーションのバーを起こして面ファスナーで固定してください。

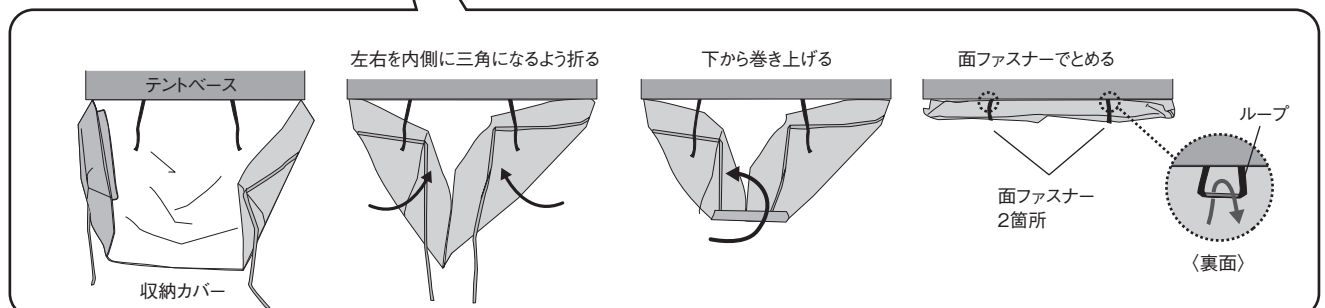
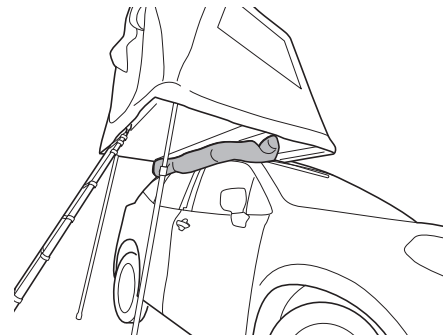
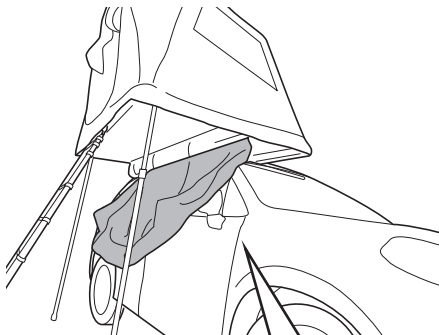


警告 転落のおそれがあります。上半身を窓の外に出す場合でも、体重を外側にかけて作業しないでください。



⑧ 収納カバーの巻き上げと固定

垂れ下がった収納カバーを巻き取り、面ファスナーで固定してください。

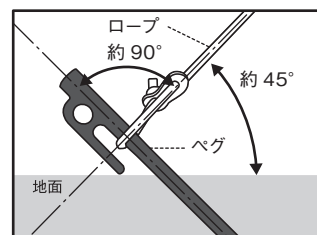
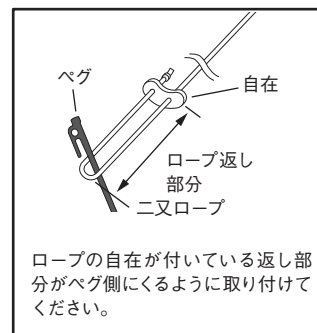
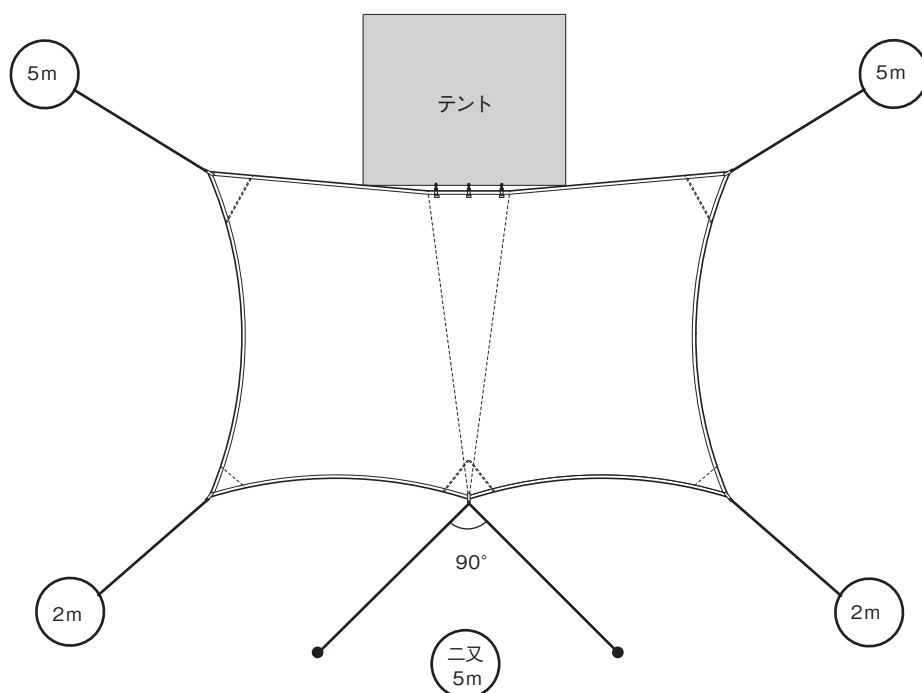


タープの設営 より安全に設営するためにも2人以上での作業を推奨します。

注意 タープ角部に装着されているグロメットや、ロープの自在金具、テント接続用フックなどの金属製の金具を車体にぶつけると傷の原因となりますので、十分に注意して作業してください。

■ロープ、ペグダウンの位置

設置する場所が適切な場所か確認してください。テント本体とタープポールで固定するため、不安定な場所で設営することはできません。P26「設営不可リスト」を確認してください。



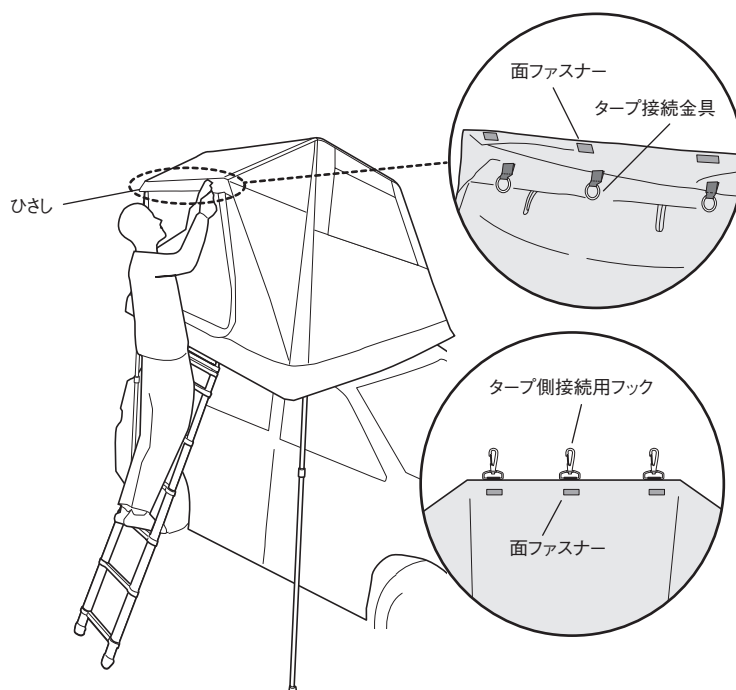
※二又ロープのロープ間の角度が上から見て90°以上広い位置でペグダウンするとポールにテンションが伝わらず、正しく設営することができなくなりますので注意してください。

※ペグダウンはタープからできるだけ遠くにおこなってください。設営したとき、ロープの角度が地面に対して約45°となるのが理想的なペグダウンの位置です。また、ペグを打ち込む角度はロープに対して90°になるようにペグダウンしてください。

① テントとの接続

テント入口のひさし部分の面ファスナーをはずし、ひさしを広げてください。ひさし下のタープ接続金具に、タープ側の接続用フックを取り付けます。その後、タープ側の上にかぶせるように、ひさし側の面ファスナーを取り付けてください。(各3箇所)
※タープは光沢のある面を下にして取り付けてください。

警告 ・タープを接続する際は、はしごの上で、バランスを崩さないように注意しながら作業してください。
・テント内から手を伸ばして接続するなど、不安定な姿勢での作業はおこなわないでください。

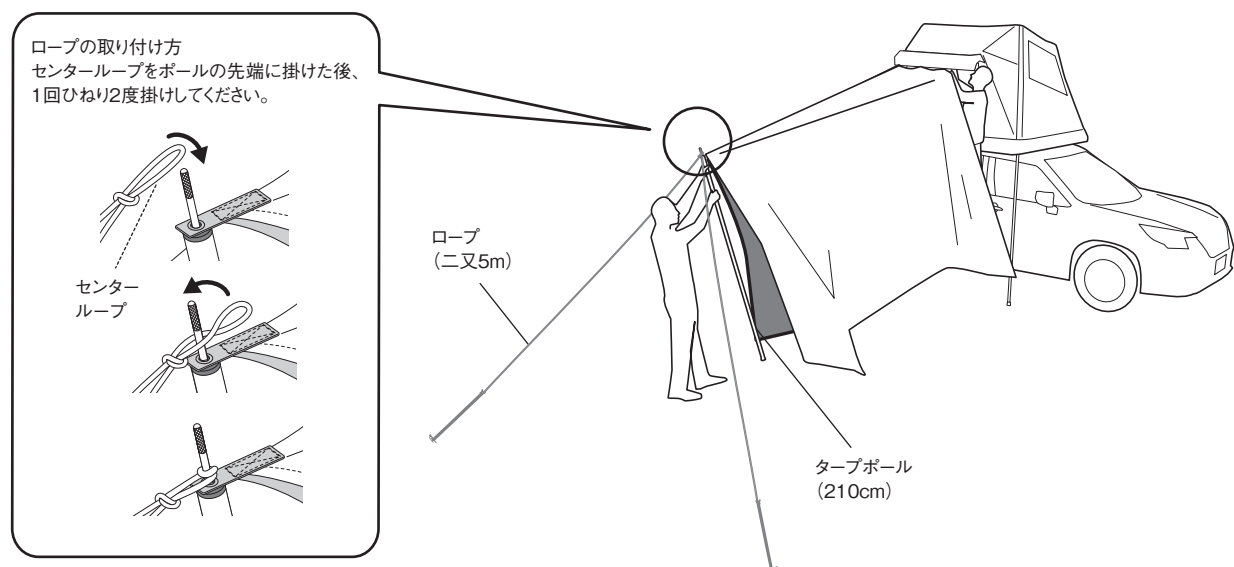


② タープポールの設置とロープの取り付け

タープポールの先端をタープメインコーナーのグロメットに差し込み、その上から二又ロープを掛けてください。

※ロープの返し部分は自在金具の位置を調節し、すべて同じ長さにしてください。

P17「**■**ロープ、ペグダウンの位置」に従ってタープポールを立ち上げ、二又ロープをペグダウンしてください。



③ その他のロープの取り付け

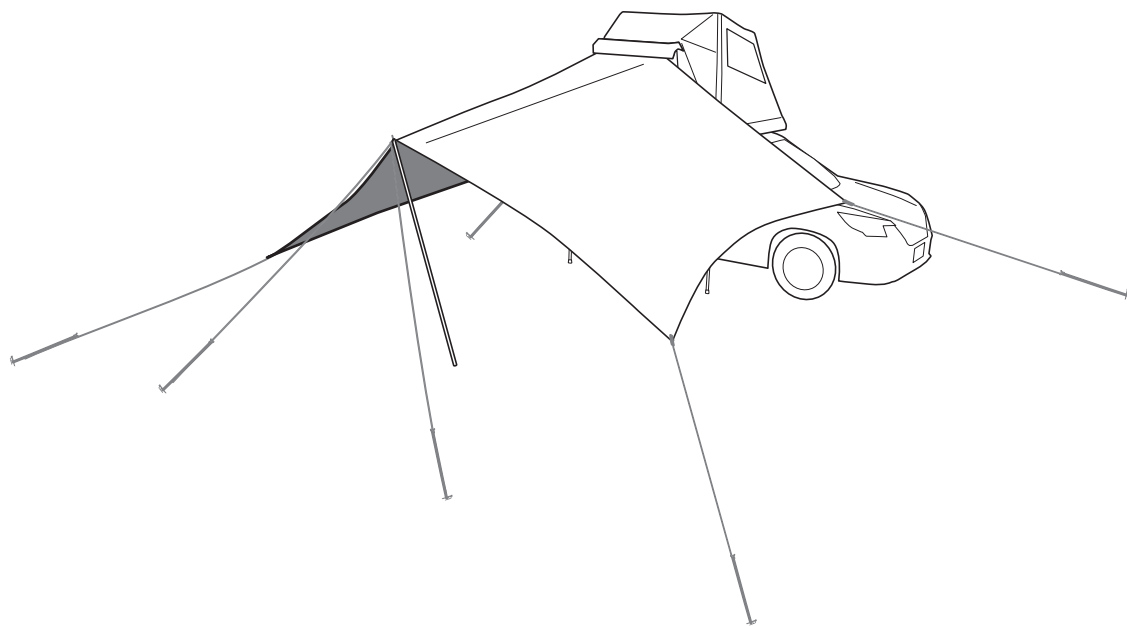
タープの両サイド(合計4箇所)にロープを取り付け、ペグダウンします。P17「**■**ロープ、ペグダウンの位置」に従って各コーナーのグロメット付テープの取り付け方向の延長線上にロープを引き、ペグダウンしてください。

④ ロープのテンションの調整

各ロープのテンションを調整し、タープのテンションを調整してください。

※ロープの引き過ぎにご注意ください。テンションがかかりすぎると、テント本体がゆがみます。

また強く引き過ぎている場合は、その方向に大きなシワが発生します。シワの出ているコーナーのロープを緩めて、全体のバランスを調整してください。



撤収の手順 より安全に撤収するためにも必ず2人以上での作業を推奨します。

■撤収時の注意

- 十分に乾燥してから収納してください。
- 強風時は、風がおさまるのを待ってから撤収してください。
- 撤収の際は、インナーテントの中にマット以外が入っていないことを確認し、併用していた製品を本体から取りはずした後に撤収をはじめてください。
- 指定されたファスナー以外が閉まっていることを確認してから撤収をはじめてください。
- ベグはすべて抜き、汚れを落としてベグケースに収納してください。補助ポール、タープポールはそれぞれ収納ケースに収納してください。むき出しの状態で収納すると、本体生地やキャリーバッグなどを傷めることがあります。

■タープの撤収

- 注意**
- 強風時は、タープが風にあおられることでテントとの接続部に大きな負荷がかかり、大変危険ですのでご注意ください。
 - タープ角部に装着されているグロメットや、ロープの自在金具、テント接続用フックなどの金属製の金具を車体にぶつけると傷の原因となりますので、十分に注意して作業してください。

① 事前確認

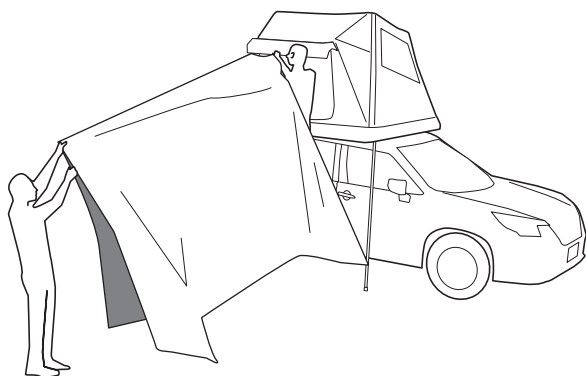
撤収は設営と逆の手順でおこなってください。タープの下にもものが置いていないことを確認してから作業を開始してください。

② ロープ・ベグの取りはずし

- (1) 二又ロープ以外のロープに取り付けているベグを引き抜いてください。
- (2) タープポールの二又ロープを緩ませた後、タープポールをゆっくり倒し、先端をグロメットとロープから取りはずしてください。
※このとき、1名がタープ本体を持ち上げて、テントの接続部に負荷がかかりすぎないように荷重を分散させてください。テントからの取りはずしが完了するまで支えてください。
- ※③が完了した後、二又ロープのベグを引き抜くことを忘れずにおこなってください。

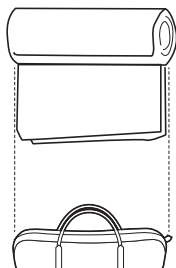
③ テントとの接続部の取りはずし

テントに接続されている接続用フックを取りはずしてください。



④ タープキャリーバッグへの収納

- ・タープをタープキャリーバックの幅に入る大きさまで折りたたみ、空気を抜きながら丸めて収納します。
- ・ポールやベグはそれぞれ付属のポールケース、ベグケースに入れて収納してください。



■テントの撤収

① 事前確認

テントの中にマット以外何も入っていないことを確認し、ベンチレーションとテントのファスナーを閉じてください。

※この時、テント入り口のドアパネル下辺部のファスナーと背面ファスナー上辺部を開けておくと、たたむ際にテント内の空気が抜けやすくなります。

※「車種別適合情報」を確認し、マットをはずす必要がある車種の場合は、このタイミングでマットを取りはずし、マットキャリーバッグに収納してください。

② 空気の排出

バルブのキャップを開け、逆止弁のボタンを押して、空気を抜いてください。

注意 逆止弁のボタンを押すと一気に空気が抜けます。空気を抜く際はバルブの正面に立たないでください。また空気の抜ける方向に人やものがない状態を確認してからおこなってください。ケガや物品破損のおそれがあります。

ボタンを押して空気を抜く



〈空気を抜く〉

ボタンが押されている状態



〈保管する(空気が漏れない)〉

ボタンが出ている状態

③ 補助ポール(2本)の取りはずし

キャップをはずし、補助ポールをテントベースからはずしてください。

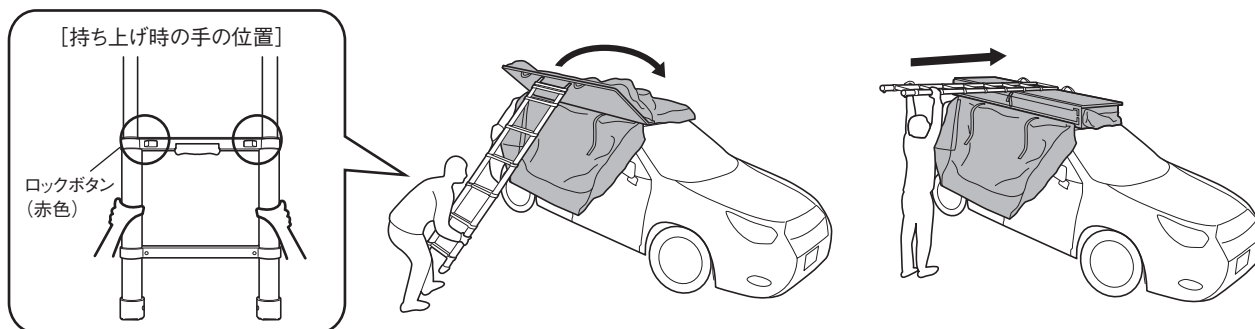
補助ポールは完全に縮めたうえで収納してください。

④ U字パーツ(2箇所)の固定解除

U字パーツをテントベースの車両側に止まるまでスライドさせてください。

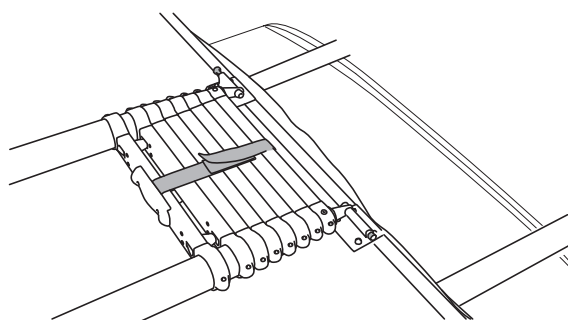
⑤ テントベースの収納

(1) 下図[持ち上げ時の手の位置]を参照し、はしごを持ち上げてベースを完全に閉じます。その後、ロックボタンを押して、はしごを縮めてください。

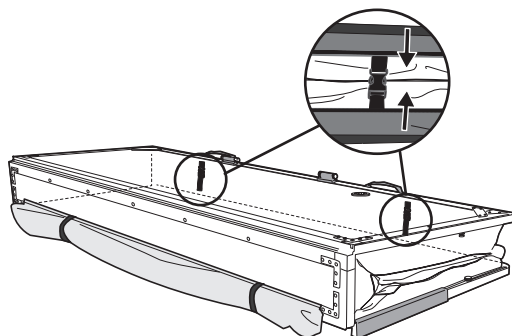


(2) はしごを最後まで縮め、面ファスナーで確実に固定してください。

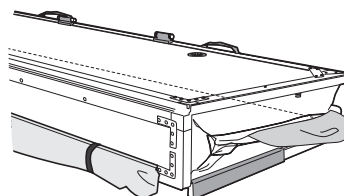
警告 走行中に、はしごが伸びると大変危険です。はしごがしっかりと固定されているか確認してください。



(3) テントベース開閉部の固定をしているバックルを固定してください。(2箇所)



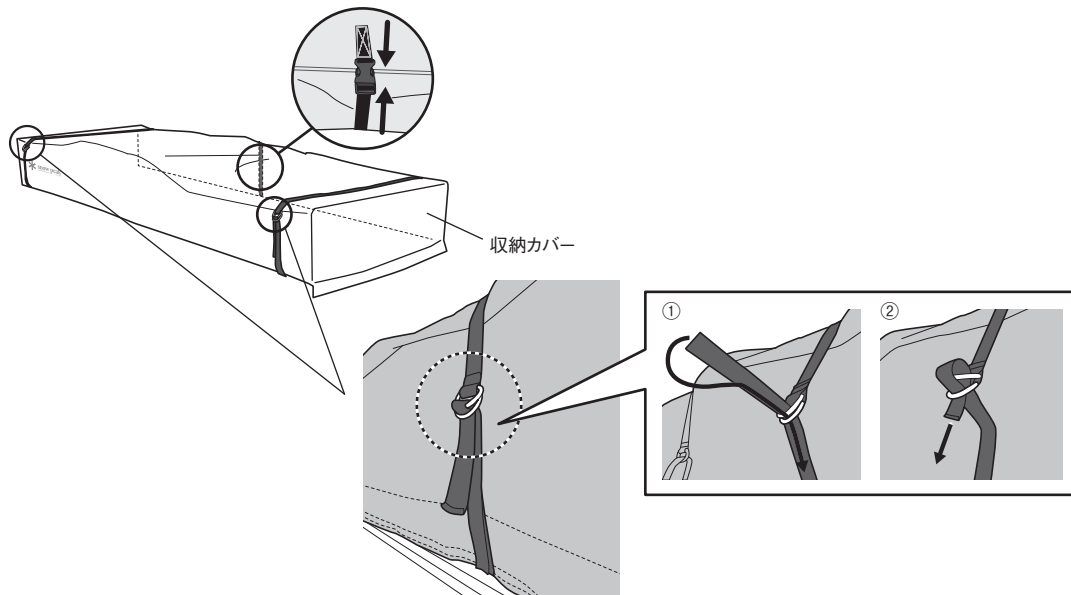
※テントベースからはみ出たテントの生地は
テントベースの中に収めてください。



⑥ 収納カバーの取り付け

- (1) まとめてあった収納カバーの面ファスナーをはずしてほどき、本体に覆いかぶせてください。
- (2) コンプレッションベルトをD型金属金具で固定し、中央のバックルを固定してください。

警告 正しく固定できていない場合、走行時にコンプレッションベルトがはずれ、事故が発生するおそれがあります。



⑦ チェックリストの確認

走行前にP26の「走行前チェックリスト」を確認して、走行を開始してください。

※本製品を長期間使用しない場合は、P7～P11の「ルーフキャリアへの取り付け方法」を参照して逆の手順で取りはずしてください。

結露について

空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。特にテントやシェルターなどの限られた空間では、中にいる人間の水分が呼吸や汗などにより空気中に放出され水蒸気となり、通常の室内よりも水蒸気の濃度が高くなり、結露の発生する確率が高くなります。結露は優れた透湿防水素材でも使用状況により完全に防ぐことは不可能です。ご使用中は結露軽減のため、こまめに適時換気をおこなってください。

撥水・防水性能について

- 本体の生地には撥水加工を施していますが、生地特性上、撥水性能（撥水の仕方や耐久性）に若干の差が見られる場合があります。また、ご使用を重ねますと撥水性能が低下する場合があります。性能が低下した場合は市販の撥水スプレーなどを、それらの説明書をよくお読みの上ご使用ください。
- 防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜りなどへ長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。
- 農業などでPUコーティングが破壊され耐水圧が著しく低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の保証ができなくなりますのでご注意ください。
- 撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合があります。

紫外線の影響について

- タープの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久度合いを超えたものは弊社でも修理できない場合があります。

メンテナンス・保管

- 長期間ご使用しなかった製品を再度お使いになる際は、製品および内容物をよく点検してください。不明な点がありましたら弊社ユーザーサービスまでご連絡ください。
- 本製品のテントやタープ部分はポリエステル生地を組み合わせ使用しています。
生地の特性を考慮し、できる限り色移りにくい加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、色移りが発生する場合があります。ご了承ください。
- 製品に付いた泥・汚れを水洗いした後、乾いた布でよく拭き取ってください。
- 濡れたまま保管すると、カビや悪臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因になりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- 各取り付け部のボルトナットのゆるみがないか点検をおこなってください。
- 各可動部に泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを使いつねに清潔にしてください。
- ポールは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食し、強度が低下します。ジョイント部分はつねに清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
- ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを使いつねに清潔にしてください。また、U字パーツの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系樹脂剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
- はしごの汚れは、滑り止め部位も忘れずに、濡れぞうきんなどできれいに拭きとってください。
- はしごの汚れが著しい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。
※クリーナーや洗剤を付けたままにしていますと腐食の原因になります。本製品が濡れているときは、十分に乾燥させてから保管してください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- サビの発生しやすい部分には防錆剤などを吹き付けてください。（特に締め直したボルト・ナットなど）ベース部位のメンテナンスの際は、テントを取りはずしてください。
テントに防錆剤などが吹き付けられると生地の劣化や撥水・防水機能の低下のおそれがあります。
- 長期間使用しない場合は、製品を車両から取りはずし、屋根のある車庫など、直射日光の当たらない場所で保管してください。
- 本製品は安全性に配慮して設計されていますが、車両に常時設置したままにすると、温湿度の変化にさらされ続けることにより、生地や各部品の劣化（紫外線劣化、カビ、腐食、サビなど）や、走行によるボルトのゆるみが進行し、安全性の低下や製品寿命の短縮の原因となります。やむを得ず車両に設置した状態で保管する場合は、直射日光の当たらない場所で保管し、定期的に本製品を開いて換気をおこない、ボルトなどの締結部に損傷やゆるみがないか点検してください。
- 次の場合は、絶対に使用しないでください。
 - ・ はしごの固定ベルトが切れたり、すり減ったり、著しく毛羽だっている場合。
 - ・ バックルが破損している場合。
- フライシートやインナーテントの小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際は使用するリペアテープの説明書をよくお読みください。
- ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。
- シームテープはPUコーティングが傷まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるにしたがい剥離してしまう場合があります。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱をかけ過ぎた場合、生地が変色したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングと一緒に剥離された場合、修理できなくなる可能性があります。
- 樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設置してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。
- 次回の使用に備え、上記の通り十分に保守、点検をしてください。

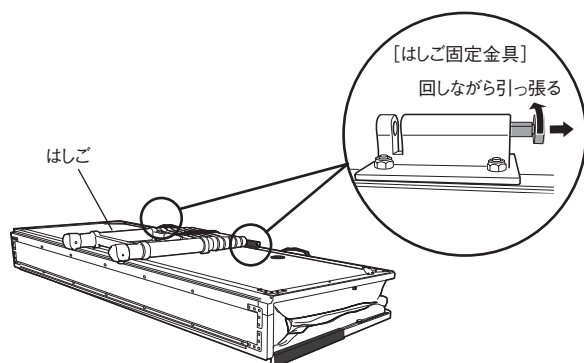
メンテナンス上のテントの脱着

通常は、撤収時に十分乾燥させれば取りはずす必要はありません。特別なメンテナンスが必要な場合のみ、下記の手順に従って本作業をおこなってください。

- 警告**
- メンテナンスをおこなう際は、必ず製品を車両から取りはずし、安定した場所に置いてから作業してください。
 - 本製品の裏面には固定用レールが付いています。作業時は両端に同じ高さの箱や台を置き、平らな状態にしてレールが床面に直接当たらないようにしてください。
 - 箱や台の上に載せた状態で作業者が上に乗ると、不安定になり転倒や破損につながります。絶対に乗らないでください。
 - 本製品は大きく重量があります。周囲のものにぶついたり、破損させないように十分注意してください。

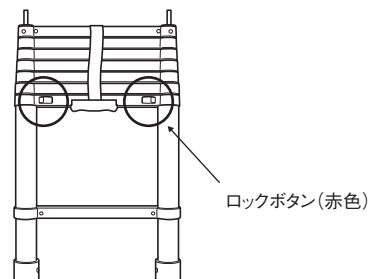
はしごの脱着

(1) はしご固定金具のつまみを回しながら外側に引っ張りはしごを取りはずします。



(2) はしごは安全な場所に置いておいてください。

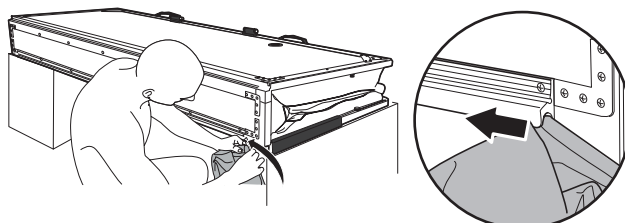
※はしごを取り付ける際は、(1)を参照し、ロックボタンが上になる向きで設置してください。固定金具のつまみを回しながら外側に引き、確実に固定されていることを確認してください。



収納カバーの脱着

テントベースの下側にある溝から、収納カバーをゆっくり引き抜きます。

- 取り付けの際は、テントベースの下側にある溝に、付属の収納カバーを取り付けてください。
※光沢のある面が内側になるように取り付けてください。



■インナーテントの脱着

① テントの立ち上げ

P12「テントの設営」を参照し、テントを設営してください。

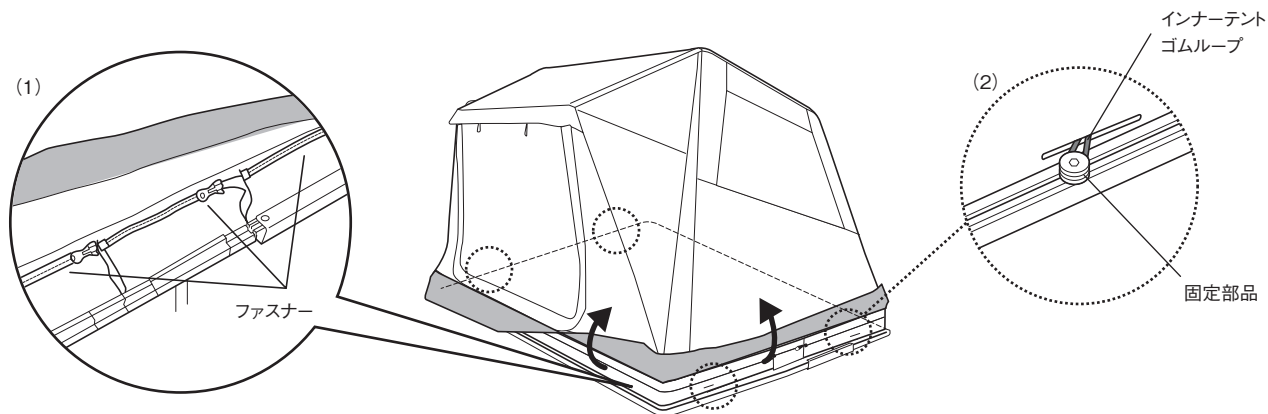
② マット(2枚)の取り出し

インナーテントの内部に何も無いことを確認してください。

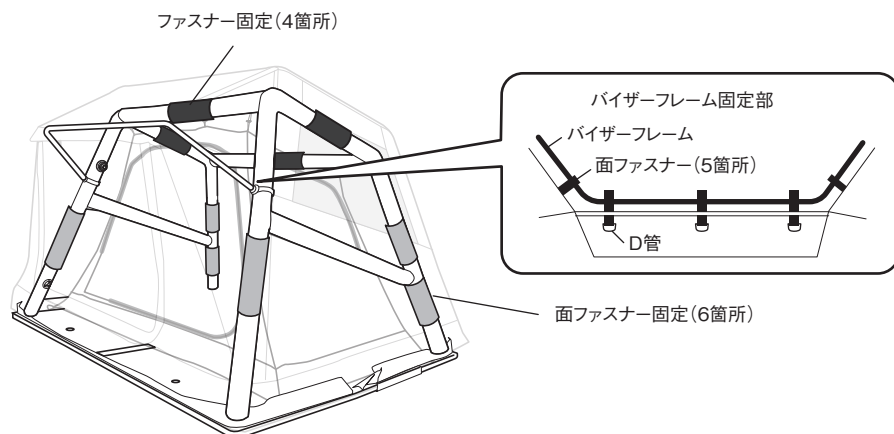
③ フライシートとインナーテント固定部分の取りはずし

(1) フライシートのスカート部に上にめくり、フライシートとtentベースを接続しているファスナーを開けてください。
フライシート上部と、tentベースに接続しているフライシート下部を分離させておきます。

(2) tentベースの固定部品からゴムループをはずしてください。
(4箇所)



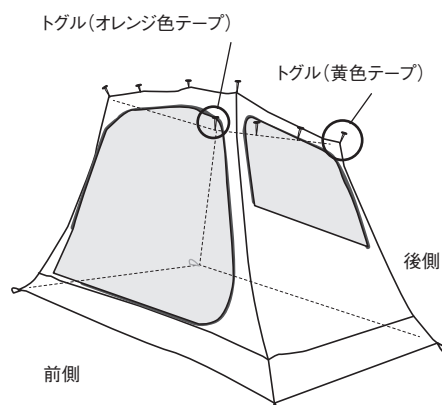
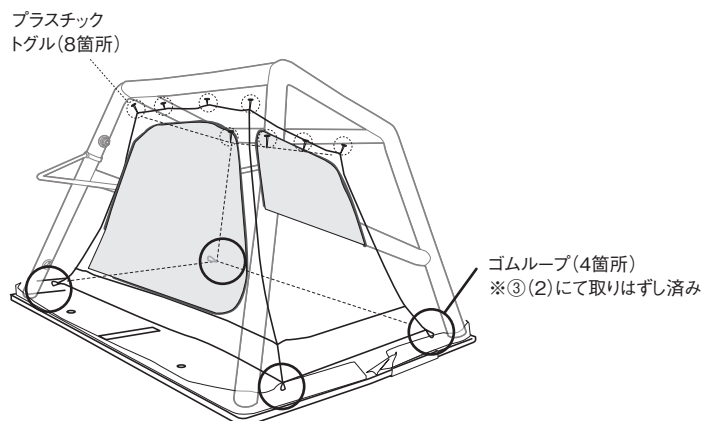
(3) フライシート内側のエアフレームおよびバイザーフレームとの接続部を取りはずし、フライシートを取りはずします。



④ インナーテントの取りはずし

プラスチックトグルをはずし(8箇所)、インナーテントを取りはずします。

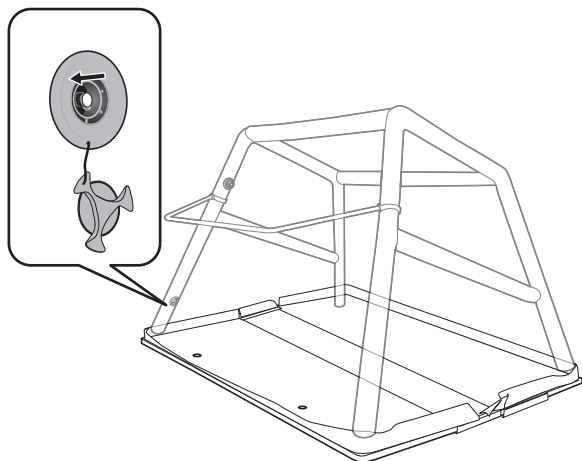
※インナーテント後ろ側の角のトグルには色が付いています。
取り付けの際は、このトグルを目印にして後ろ側の角に取り付けてください。



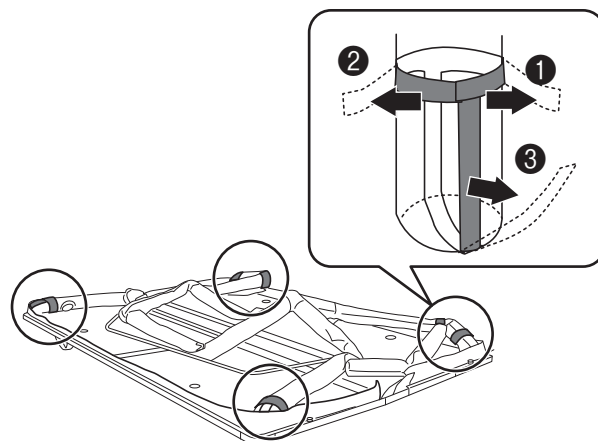
⑤ エアフレームの取りはずし

注意 ●エアフレームのファスナーは絶対に開けないでください。
●開けるためにファスナーの結束バンドを切らないでください。

(1) エアフレームの空気を抜いてください。

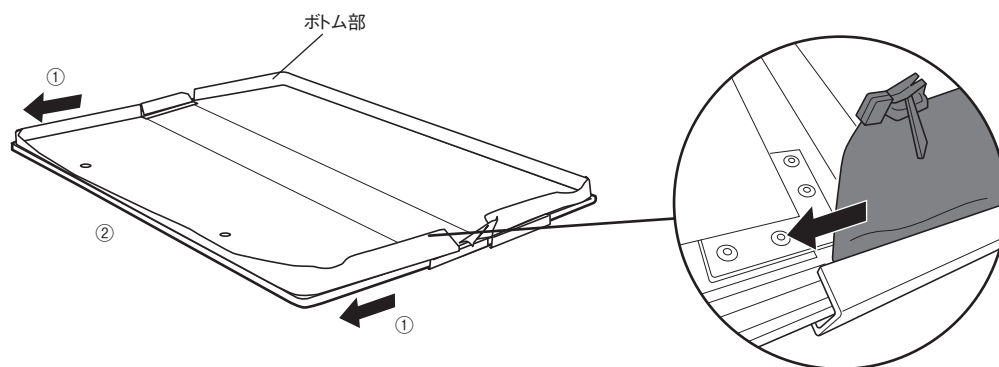


(2) エアフレームの脚をテントベースと固定している面ファスナーを剥がして取りはずしてください。



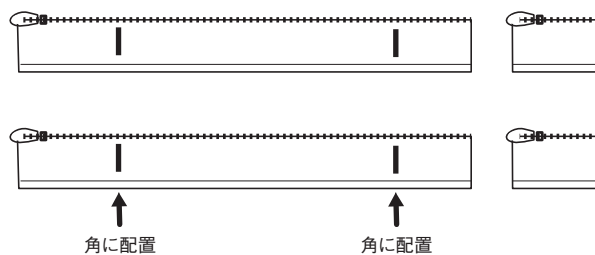
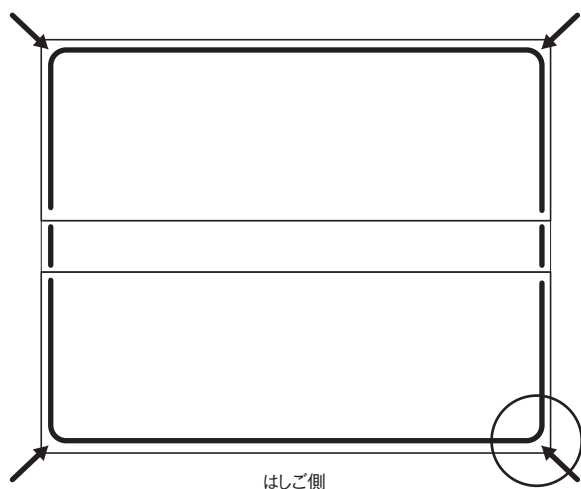
⑥ ボトム部の取りはずし

テントベースの溝からボトム部を引き抜いてください。その際に、図のように短辺を抜いた後に、長辺を引き抜いてください。



参考 取り付け時の注意

取り付けの際は、下図に従って、角部分に印がくるように調整してください。また、テントベースの溝にしっかり差し込まないと、抜けてしまうおそれがあるので溝に沿ってしっかり入れ込んでください。



⑦ 取り付け作業

取り付ける際は、取りはずしと逆の手順でおこなってください。

注意 エアフレームがねじれないように取り付けてください。破損の原因になります。

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが、万一不備な点がございましたら、弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適切な価格で修理させていただきます。修理、交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は修理できない場合もありますので予めご了承ください。

1. 素材の経年劣化による損害など商品の寿命
2. 改造および粗雑な取扱いによる故障
3. 取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障
4. 不測の事故による商品の故障
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障
6. ゴミやサビによる故障
7. 分解したことによる不具合の発生または破損
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合
9. 摩擦によるパーツの変化およびそれによる故障
10. 他社製品との組み合わせによる故障
11. 不適合品の使用
12. 地震・台風・水害等の天災または火災による損傷等
13. 使用限度を超える使用をした場合（過積載・速度超過・各法律違反による使用）
14. 取り付け車両の故障による破損
15. 保守・整備の不備または所定の整備をおこなわなかった場合
16. ルーフトップテントによる取り付け車両の破損
17. 本製品が原因で生じた付随的障害（ルーフトップテント取り付け車両のエンジントラブル、その他事故）や取り付け車両が使用できなかったことによる損失
18. 通常の注意で発見・処理できたにも関わらず、放置したことにより拡大した不具合および故障
19. ルーフキャリアなど弊社製品以外のもの

修理について

修理が必要な場合は弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
 1. 保証対象の場合: 往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
 2. 保証対象以外の場合: 往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

設営不可リスト

安全にお楽しみいただくため、以下のような場所での使用は避けてください。

- やわらかい地面（ぬかるみ、砂地など部分的に不安定、時間とともに変化したり、車両の姿勢が変わってしまうような地面）
- 地面に傾斜、段差、凹凸のある場所
- ガタつく、不安定な場所
- 積雪や凍結している場所
- 濡れて滑りやすい場所（雨天時、落葉・砂・ほこりなどがある場合も含む）
- 風が強く吹きつける場所
- がけ崩れのおそれがある場所
- 洪水や河川の氾濫のおそれがある場所
- テントやタープの設営が許可されていない場所
- 公道、公共の場など交通の妨げになる場所

走行前チェックリスト

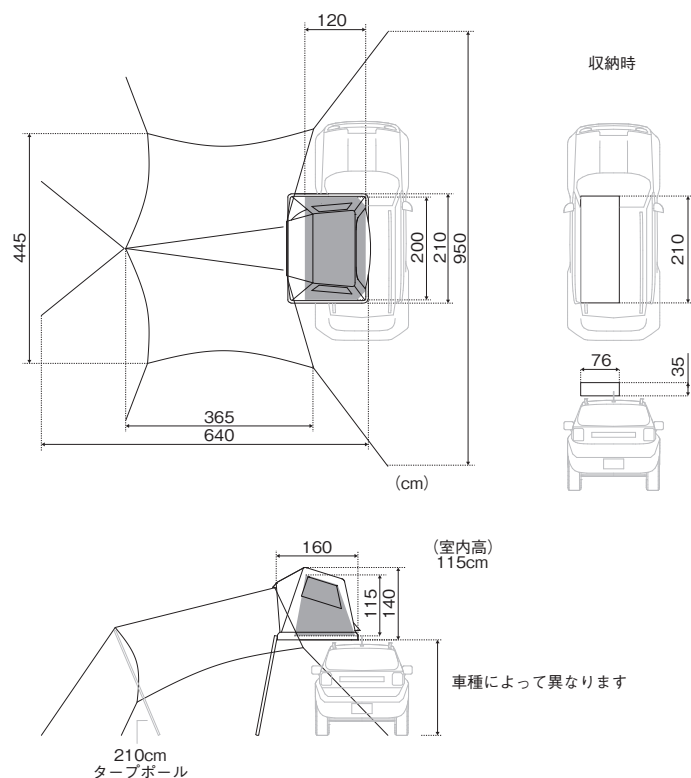
- 危険**
- 走行前、悪路走行後、100km走行するごとに、下記の「走行前チェックリスト」に基づき、必ず点検をおこなってください。点検を怠ると走行中にルーフキャリアや本製品が脱落し、重大事故につながります。
 - 点検の際は車のエンジンを止めて（パワースイッチをOFFにして）サイドブレーキを必ずかけ、傾斜のない平坦な場所でおこなってください。

ルーフキャリアの確認	
☒	ルーフキャリアにガタつきがなく、車両に確実に固定されているか。 ガタつく場合は、ルーフキャリアのノブやボルトを増し締めしてください。
☒	最大積載重量を超えていないか。 車種別適合情報で確認してください。
取り付け状態の確認	
☒	本製品にガタつきがなく、ルーフキャリアに確実に固定されているか。 ガタつく場合は、ベース固定金具のプラスチックナットや盗難防止ナットを増し締めしてください。
☒	本製品は車両の直進方向と平行に取り付けられているか。
☒	本製品の積載状態が道路交通法に順守しているか。
☒	車両のランプ類、ナンバープレート、ミラーなどの視認や運転の妨げになっていないか。
本製品の確認	
☒	はしごは確実に固定されているか。
☒	テントベースは閉じているか。バックルで固定してあるか。
☒	収納カバーのベルトはD型金属金具で締め付けてあるか。
☒	次のものを車内に保管したか。 ①取扱説明書 ②ボックスレンチ ③ノブナット
その他	
☒	テント装着高さ（本製品を取り付けた状態の車両の高さ）を把握しているか。 「車種別適合情報」で確認してください。
☒	目的地の天候や路面状況を把握しているか。体調は万全か。 悪天候や路面状況が悪いとき、体調がすぐれないときは、走行や使用を中止してください。

スペック

- セット内容:テントベース、インナーテント、エアフレーム、フライシート、マット、収納カバー、補助ポール(×2)、手動ポンプ、はしご、タープ、タープポール(210cm)、スチールベグ(30cm×6)、自在付ロープ(二又5m×1、2m×2、5m×2)、マットキャリーバッグ、タープキャリーバッグ、補助ポール収納ケース、タープポール収納ケース、ベグ・ロープ収納ケース、小物収納ケース、ベース固定金具(×4)、平ワッシャー(×10)、バネワッシャー(×10)、プラスチックナット(×8)、盗難防止ナット(×2)、ノブナット(×2)、Tボルト(×8)、ロックナット(×8)、ボックスレンチ
- 材質:テントベース/アルミニウム合金、グラスファイバー、フライシート/75Dポリエステルオックス・遮光ビグメントPUコーティング耐水圧1,800mmミニマム・撥水加工・UVカット加工(ルーフ・ウォール部)、インナーテント/68Dポリエステルタフタ(ウォール部)、210Dポリエステルオックス・PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム・撥水加工(ボトム部)、マット/75Dポリエステルオックス・PUコーティング(生地)、ポリウレタン(中芯)、エアフレーム/TPU、収納カバー/600DポリエステルPVC加工、補助ポール/アルミニウム合金、はしご/アルミニウム合金、タープ/75Dポリエステルオックス・遮光ビグメントPUコーティング耐水圧1,800mmミニマム・撥水加工・UVカット加工、タープポール/スチール、スチールベグ/スチール、手動ポンプ/PVC(本体)、ポリエチレン(ホース)
- 収納サイズ:テント/210×76×35(h)cm、タープ/80×20×25(h)cm、マット/100×60×18(h)cm
- 重量:テント/51kg(マット3kgを含めた車載状態)、タープ/約4kg

- テント内居住人数(目安):1~2名
※車種によりテント使用時許容総重量は異なります。「車種別適合情報」で確認してください。



不明な点やお気付きの点がございましたら、**スノーピークユーザーサービス**
販売店様または弊社ユーザーサービスまで
お問い合わせください。

0120-010-660 (9:00~17:00)
Email: userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク
〒955-0147 新潟県三条市中野原456
Tel.0256-46-5858 / Fax.0256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

MADE IN CHINA

Instruction Manual Ver. 1.01

SDC-001

Field Rise



To our customers

Please keep the Instruction Manual, box wrench, and knob nuts inside your vehicle so that you can perform maintenance at any time.

Thank you for purchasing a Snow Peak product. This product is a rooftop tent for camping designed to be attached to the "INNO" series roof rack manufactured by CAR MATE MFG., which is installed on your vehicle. This product is intended for use in administered areas such as campgrounds with the vehicle parked. Do not unfold or use it on public roads or in areas open to general traffic. For safety reasons, please read this Instruction Manual carefully before use. Please keep it safe for future reference. Finally, if you find anything that you do not understand in the description or any problems with the product, please stop use immediately and contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service.

Table of Contents

Basic knowledge	29	Water-repellent and waterproof functions	49
Set Contents	30	Effect of ultraviolet rays	49
Names of Parts	31	Maintenance & storage	50
Safety Precautions	33	Tent Removal and Attachment for Maintenance	50
Before Using this Product for the First Time	35	Warranty	53
How to Attach to the Roof Rack	35	Repair	53
Tent Setup	40	Unsuitable Setup Locations	54
Tarp Setup	45	Pre-Driving Checklist	54
Disassembly Procedure	47	Specifications	55
About condensation	49		

Basic knowledge

Compatible Car Models

- This product assumes the use of the "INNO" series roof rack manufactured by CAR MATE MFG. When using this product, be sure to install a roof rack that is described as being able to carry a tent in the "Vehicle Compatibility Information".



"Maximum Load Capacity" and "Permissible Total Weight with Tent Installed"

- The "Maximum Load Capacity" and "Permissible Total Weight with Tent Installed" vary depending on the vehicle. Check the maximum limits for your vehicle in the "Vehicle Compatibility Information" and be sure not to exceed them.
- "Maximum Load Capacity" refers to the maximum combined weight of this product (51kg / 112.4lbs, including the 3kg / 6.6lbs mat) and any other CAR MATE MFG. attachments, including their loads.
- "Permissible Total Weight with Tent Installed" refers to the maximum combined weight of the occupants and any items inside the tent during use.

Precautions for Loading

- Using the product for an extended period of time while it remains loaded may place additional stress on the product and accelerate deterioration. If the product will not be used for an extended period of time, we recommend removing it from the vehicle. Refer to "Maintenance & Storage" on page 50 for details.
- Be sure to comply with all applicable road traffic laws and regulations when loading the product.

Driving Speed

- Drive at a safe speed appropriate for wind, road, and loading conditions, and in compliance with all applicable road traffic laws and regulations. To maintain vehicle stability and prevent cargo from shifting or coming loose, avoid driving at excessive speeds under any conditions.

Vehicle Inspection

- Remove this product from the roof rack during the vehicle inspection. Also, if instructed to remove the roof rack, please follow such instructions.

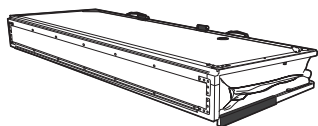
Check Vehicle Height

- When entering parking structures, tunnels, underpasses, or other areas with height restrictions, always make sure that the overall vehicle height (the height of the vehicle with this product installed) does not exceed the applicable height limit.
- As a general guide, refer to the "Vehicle Compatibility Information" for the vehicle height with this product installed. The listed height with this product installed is for reference only. Actual height may vary depending on the conditions of use, so be sure to check the height on your actual vehicle.

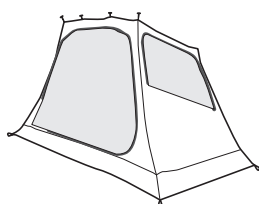
Air Frame

- This product uses an air frame structure that is set up by inflating air. In this structure, the outer cover controls the expansion of the internal tube, providing rigidity to the frame. Opening the zipper on the air frame cover may cause the internal tube to overinflate or rupture from the opening, which is extremely dangerous. Never open the zipper on the air frame cover under any circumstances, whether during setup, use, or maintenance.

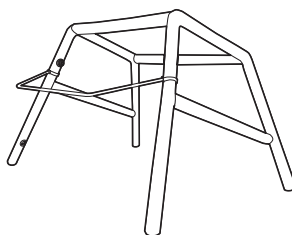
Set Contents * Before use, please check that all set contents and accessories are included.



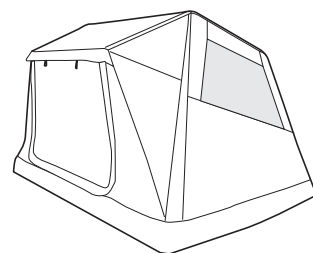
Tent base



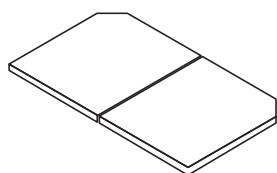
Inner tent



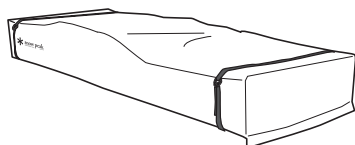
Air frame



Fly sheet



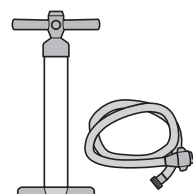
Mat



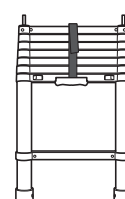
Storage cover



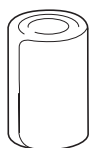
Support poles x2



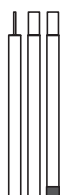
Manual pump and hose



Ladder



Tarp



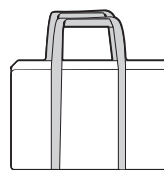
Tarp pole
(210cm / 6.9')



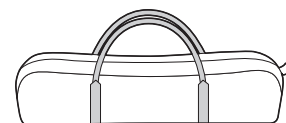
Steel peg
(30cm / 11.8'') x6



Rope with tensioner
(5m / 16.4' forked
end rope x1, 2m / 6.6' x2,
5m / 16.4' x2)



Mat carry bag



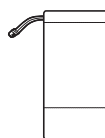
Tarp carry bag



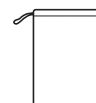
Support pole storage case



Tarp pole storage case



Peg rope
storage case



Small item
storage case



Base fixing bracket x4



Flat washer x10
(Including 2 spare pieces)



Spring washer x10
(Including 2 spare pieces)



Plastic nut x8
(Including 2 spare pieces)



Anti-theft nut x2



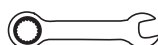
Knob nut x2



T-bolt x8



Lock nut x8
(Including 2 spare pieces)



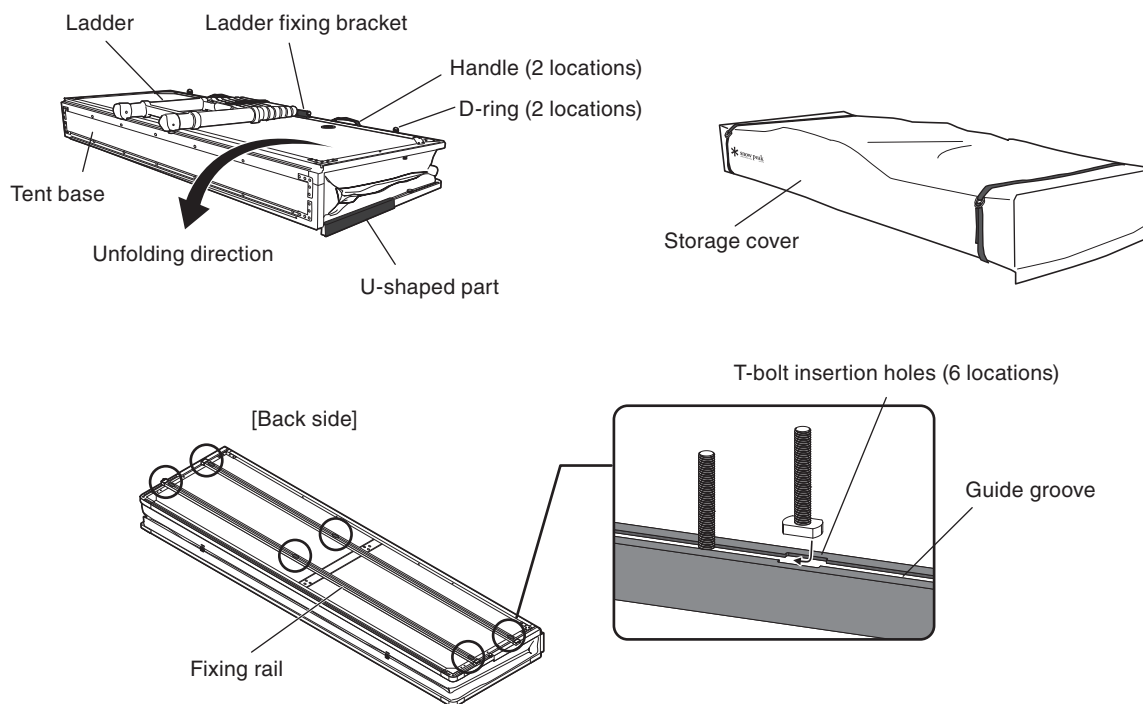
Box wrench



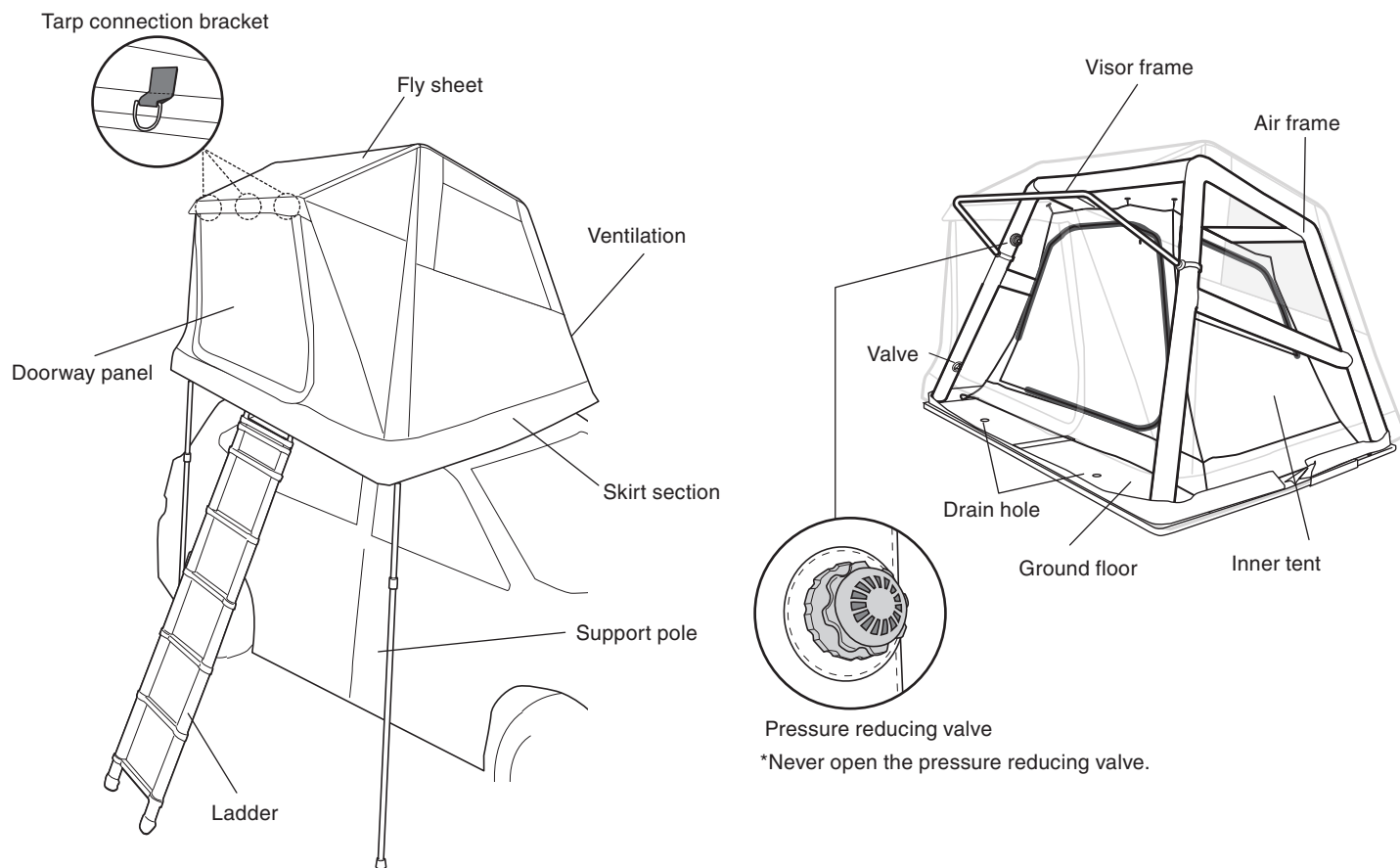
Instruction Manual
(this document)

Names of Parts

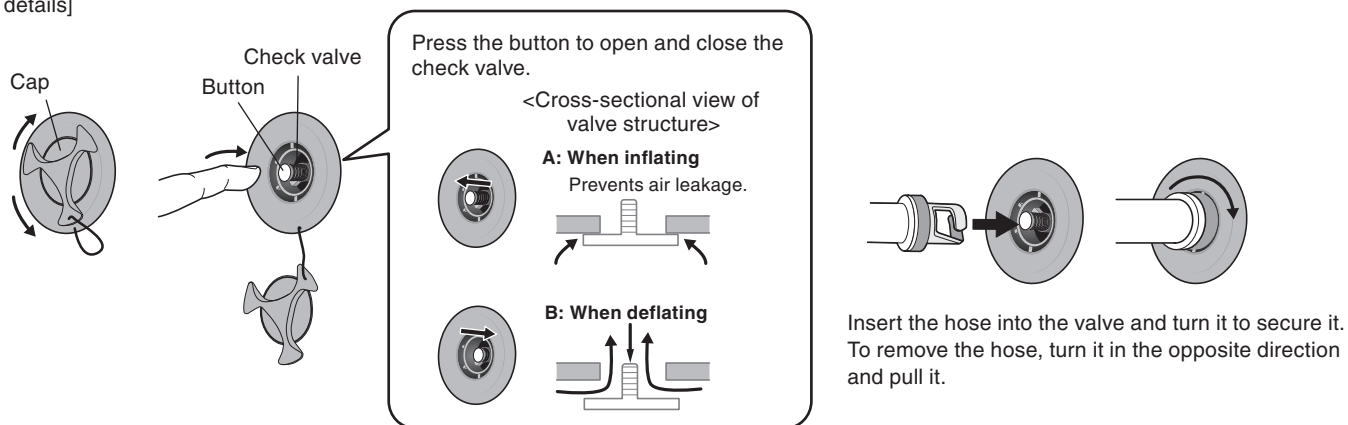
■ Tent base



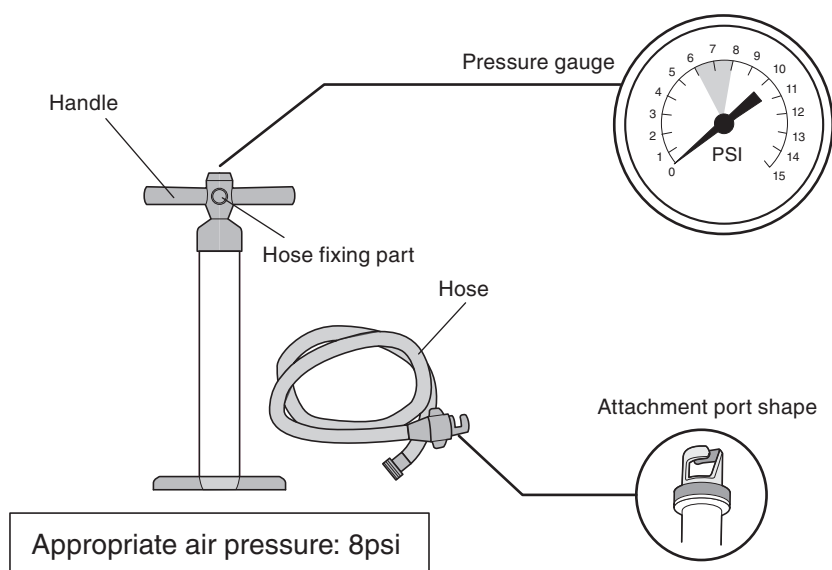
■ Tent



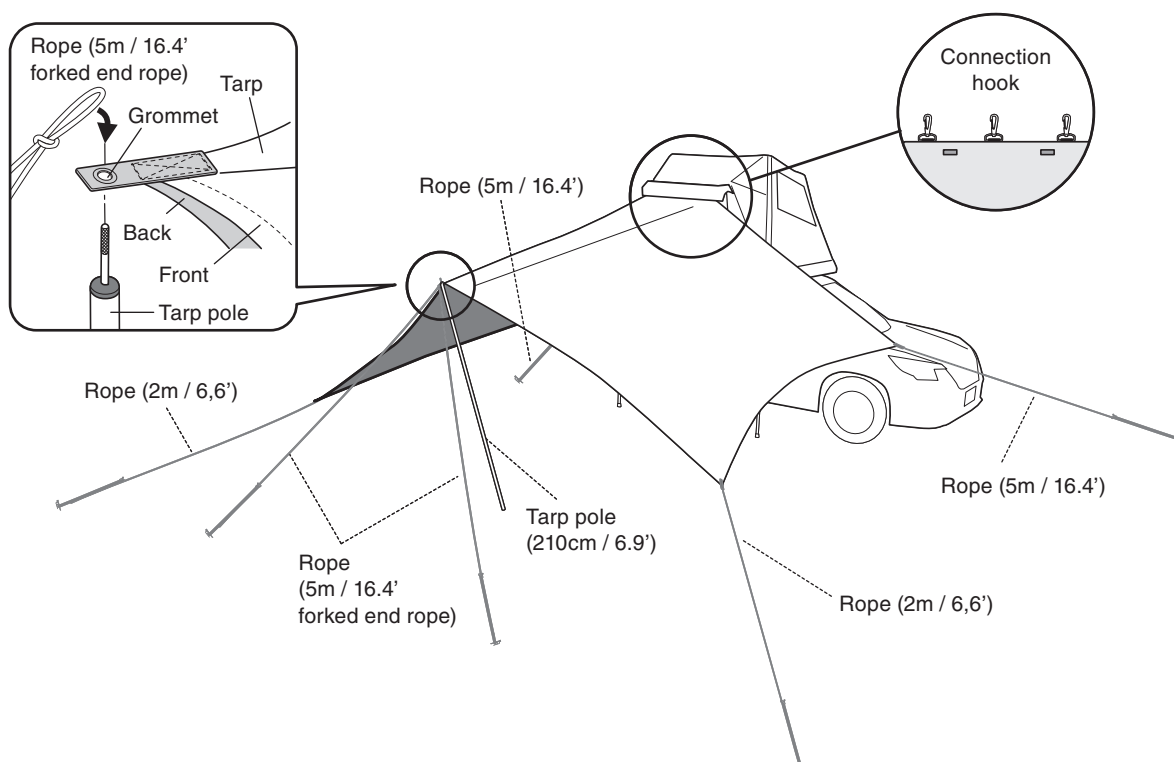
[Valve details]



■ Air pump



■ Tarp



Safety Precautions: Before use, please read thoroughly to ensure safety and avoid accidents.

Disclaimer

- This Instruction Manual does not guarantee compliance with laws and regulations or safety in all usage situations. When using this product, please check the instructions of the site manager and relevant laws and regulations.
- While the product is designed with safety in mind, inappropriate handling may lead to serious accidents and even damage to the vehicle or product, which is extremely dangerous. To prevent unexpected accidents, please strictly follow the instructions in this manual. Snow Peak will not be held liable for any accidents or damage caused by not following these instructions.
- Snow Peak will not be held liable for any damage caused during transportation or installation in the packaged state, or for damage caused by natural disasters or third parties.
- If this product is modified or processed, or if non-specified parts are used, the warranty will be void. Snow Peak will not be held liable for any malfunctions, accidents, or damage caused by these actions.
- Please note that Snow Peak may change the product specifications without prior notice.

■ When attaching to and removing from the roof rack

DANGER Misuse could easily result in a serious accident or death.

- When performing this work, always turn off the car engine (turn off the power switch), engage the parking brake, and perform the work on a flat, level surface.
- Always attach this product to a compatible roof rack.
- Install it correctly according to the instructions in the Instruction Manual. If the product is installed incorrectly, it may lead to serious accidents.
- If you notice any abnormalities with this product or the roof rack, stop using it immediately.
- Always pay close attention to weather conditions, and stop working if winds become strong.

WARNING Misuse could result in serious injury or death.

- This product is heavy. Work with at least three adults, being careful not to damage the vehicle or surrounding area.
- When installing or removing the product, be careful not to pinch your hands, fingers, or any other parts of your body. Not observing the above may result in a serious injury.
- For safety reasons, keep children and pets away when performing this work.
- When attaching items other than this product (such as CAR MATE MFG. attachments) to the roof rack, be careful not to exceed the maximum load capacity, and arrange them in a balanced manner.
- Do not attach items in a way that obstructs the visibility of vehicle lights, license plates, mirrors, etc., or obstructs driving.

CAUTION Misuse could result in injury to the user and/or damage to property.

- It is recommended that you wear gloves to prevent an injury when performing this work.
- This product involves working at an elevated location. Please be careful to prevent parts and tools from falling.
- Do not perform any work near bonfires or fireworks. Flying sparks can burn holes in the fabric.
- The vehicle and this product will become hot when exposed to sunlight. Please be careful not to get burned. In particular, when working in summer, please be careful to avoid touching the product with bare skin.
- If the vehicle is used for extended periods of time with this product attached, it will subject the product to stress due to vibrations, wind, and rain during driving, causing it to deteriorate more quickly. If not using this product for an extended period of time, remove it from the vehicle.

■ During driving

DANGER Misuse could easily result in a serious accident or death.

- Always drive in compliance with road traffic laws.
- Before driving, always perform an inspection based on the "Pre-Driving Checklist". Also, perform a similar inspection after driving on rough roads and after every 100km of mileage. (Refer to page 54.)
- If you notice any abnormalities while driving, immediately stop in a safe location, and check this product and the roof rack.
- When entering parking structures, tunnels, underpasses, or other areas with height restrictions, always make sure that the overall vehicle height (the height of the vehicle with this product installed) does not exceed the applicable height limit.

WARNING Misuse could result in serious injury or death.

- Avoid sudden driving maneuvers such as rapid acceleration, sudden starts, sudden stops, and sharp turns. Installing this product changes the vehicle's center of gravity and overall height, which may affect driving stability. Drive with extra caution at all times.
- Reduce speed and maintain a sufficient distance from other vehicles if winds become strong, crosswinds, on rough roads, and on icy surfaces.
- Do not drive with the tent base open or with the storage cover removed.
- If an accident or problem occurs while driving, take appropriate measures as stipulated by the Road Traffic Act.

CAUTION Misuse could result in injury to the user and/or damage to property.

- Do not wash your car while this product is installed. Remove this product before washing your car.
- If not using this product for an extended period of time, remove it from the vehicle. Not observing the above may cause the product to deteriorate.

■ Setting up and disassembling the tent, tarp, and ladder

⚠ DANGER Misuse could easily result in a serious accident or death.

- When performing this work, always turn off the car engine (turn off the power switch), engage the parking brake, and perform the work on a flat, level surface.
- Do not set up in locations listed in the "Unsuitable Setup Locations" section on page 54. This may reduce the holding power of the ladder and support poles, increasing the risk of falls, toppling, or the tent base falling.
- Follow the steps described in the Instruction Manual to set up and disassemble the product correctly. Inappropriate setup will lead to a serious accident.
- This involves working at an elevated location, so be careful not to fall, topple, or drop tools.
- Set the ladder at an angle of approximately 75 to 85 degrees, and lock it securely. If the ladder is raised or lowered too much, it increases the risk of falling and toppling.
- Do not adjust the length of the ladder or support poles by placing them on rocks or wood. If the product is placed on rocks or wood, it will make it unstable and pose a risk of falling or tipping.

⚠ WARNING Misuse could result in serious injury or death.

- Before setting up, inspect the product and ensure that there are no abnormalities in any part. If any abnormalities are found, immediately stop using the product and contact Snow Peak Customer Service.
- When performing this work, make sure there is sufficient overhead and surrounding clearance, and that the area is safe.
- This product extends beyond the width of the vehicle when set up. Do not use it in locations where sufficient space is not available or where other people may pass by or approach the area.
- For safety reasons, keep children and pets away when performing this work.
- When unfolding the tent base, or when setting up or disassembling the product, be careful not to let it be affected by wind. Also, stop work if winds become strong.
- When setting up or disassembling the tarp, firmly support the main body to prevent it from being blown away by the wind. Also, always check the safety around you when handling poles.
- Secure the tarp firmly using pegs and ropes. Also, ensure that the U-shaped parts, support poles, and ladder are securely attached.
- Do not stand on the tent base when the tent is not set up. There is a risk of falling or damaging the product.
- Do not put your fingers into the opening and closing parts of the tent base, the telescopic parts of the ladder, or any gaps. If your fingers get caught, it may cause a serious physical injury.

⚠ CAUTION Misuse could result in injury to the user and/or damage to property.

- The tent surface and tent base may become hot from sunlight, which can cause low-temperature burns. Please be extremely careful.
- Do not work near open flames.
- When setting up or disassembling the tarp, firmly support the tent to prevent it from being blown away by the wind. Unexpected accidents may occur due to the pole ends recoiling, etc., so ensure that the surroundings are safe, with no other people in the vicinity. Always assemble/disassemble this product with two or more people.
- Please be careful not to pull the fabric too hard, otherwise, it may be damaged.
- This tarp is not freestanding. By appropriately tensioning the ropes, you can sufficiently strengthen the product against wind and rain. When using this product, be sure to tighten all ropes according to the guidelines stated in this instruction manual.
- If any sap adheres to the tent, it may be difficult to remove. Do not set up this product under trees that frequently drop sap. Please do not try to remove sap forcibly using organic solvents such as thinner or benzene as this will damage the fabric and coating.

■ Using the tent and tarp

⚠ DANGER Misuse could easily result in a serious accident or death.

- If bad weather or strong winds are expected, stop using the product and evacuate to a safe location.
- Never cut the cable tie securing the air frame cover zipper under any circumstances. Doing so may cause the cover to open and the internal air tube to rupture.
- Never use combustion appliances, lighters, matches, candles, or cigarettes inside the tent. Not observing the above is extremely dangerous as it may cause fire, oxygen deprivation, or carbon monoxide poisoning.
- This product is not flame-resistant. Do not use it near combustion appliances, bonfires, or fireworks. There is a risk of fire. Also, sparks may burn holes in the product.
- Do not bring or store fuel or flammable materials inside the tent.
- Inspect all parts before use and confirm that there are no abnormalities. If any abnormalities are found, immediately stop using the product and contact Snow Peak Customer Service.
- Falling from the tent base can cause death or serious injury. Climb up and down carefully.
- The ladder has a load capacity of 150kg / 330.7lbs. If the weight limit will be exceeded, do not use this product. Also, do not allow multiple people to use the product simultaneously.



⚠ WARNING Misuse could result in serious injury or death.

- Do not hang from or jump on the tent base or ladder. Not observing the above may lead to accidents due to damage.
- Inside the inner tent, do not sit on the side or gather heavy luggage in one place. To ensure that people and goods are not concentrated on one side, distribute them evenly throughout the area.
- The tarp receives greater wind pressure than you may expect, so frequently check that it is securely fastened using pegs and ropes. Also, stop using this product and tarp if winds become strong.
- If the ladder is deformed or damaged, stop using it immediately. Also, do not attempt to repair it yourself. Not observing the above may cause serious accidents.
- Do not use this product while intoxicated, pregnant, or unwell. If you fall from the tent base or ladder, it may result in death or serious injury.
- Depending on the weather, the inside of the tent may become very hot, which will pose a risk of heatstroke and dehydration. Please exercise caution when staying inside the tent for extended periods of time.
- When it is difficult to see your feet at night, attach lights to the tent or tent base, or use a headlamp so that you can use both hands to climb up and down the ladder.
- When descending the ladder, do not descend with your back to the ladder.
- When climbing up and down the ladder, carefully hold onto the handles on the base with your hands.

⚠ CAUTION Misuse could result in injury to the user and/or damage to property.

- Do not use this product if snowfall is expected. This product is designed based on the air frame structure, so the weight of snow may cause the entire structure to collapse, potentially leading to serious accidents. When there is no choice but to use it in snowy conditions, remove snow frequently and ensure appropriate ventilation.
- Do not permanently install this product. If this product is exposed to sunlight for a long period of time, it may cause the fabric to deteriorate due to ultraviolet rays, affecting its strength. If you will not be using this product for a long period of time, remove it from the roof rack.
- Be careful not to trip over ladders, poles, ropes, pegs, etc., and illuminate your surroundings with lights at night.
- When using the ladder, please pay attention to the following points:
 - Before using the ladder, make sure that all steps are securely locked.
 - Do not jump down from the middle of the ladder.
 - Do not turn your back to the ladder when climbing up or down.
 - When climbing up or down the ladder, grasp onto the fully extended steps. If you grab onto the steps on the upper section that are not fully extended, they can easily pinch your fingers, which is dangerous.
 - When children climb up or down the ladder, ask an assistant to hold the base of the ladder using one foot and firmly support the ladder using both hands. At that time, make sure that no one other than the assistant is standing near.
 - Do not forcefully push or pull the ladder while it is in use. Not observing the above may cause the ladder to become unstable due to the recoil.
 - Do not lean your body over the ladder.

Before Using this Product for the First Time

■ Checking the Set Contents

Please check that all parts are included.

■ Practice Session

After attaching to the roof rack, be sure to set up the tent by referring to "Tent Setup" on pages 40 to 44 in this Instruction Manual before using it at a campsite.

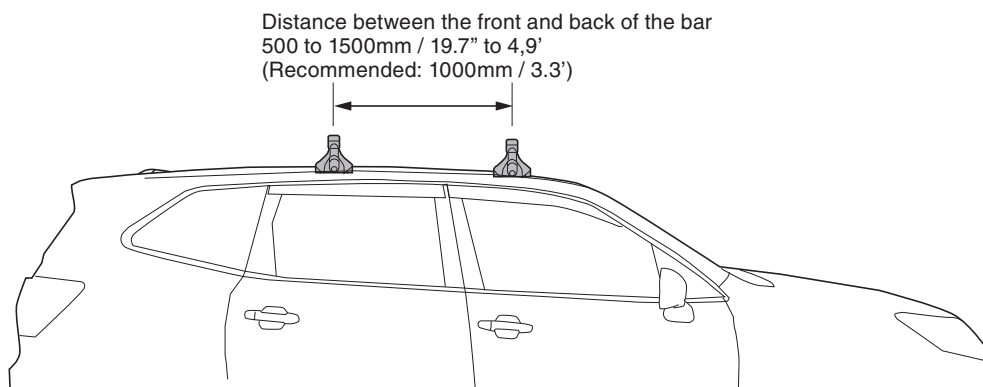
How to Attach to the Roof Rack For safer setup, always have at least three adults work together.

- DANGER**
- Turn off the car engine (turn off the power switch), engage the parking brake, and perform the work on a flat, level surface.
 - Always attach this product to a compatible roof rack. Also, make sure that the roof rack is installed correctly.

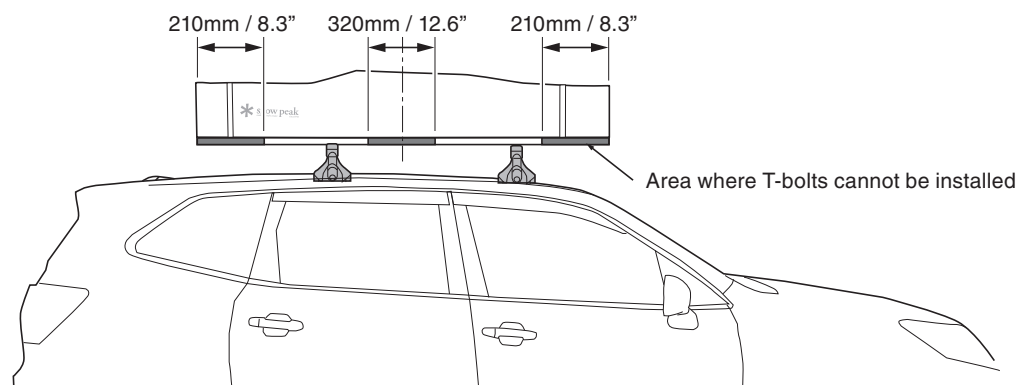
- CAUTION**
- Prepare the necessary protective equipment such as work gloves, and work carefully to avoid injury.

① Checking the tent base installation position

- (1) Check the roof rack installation position.

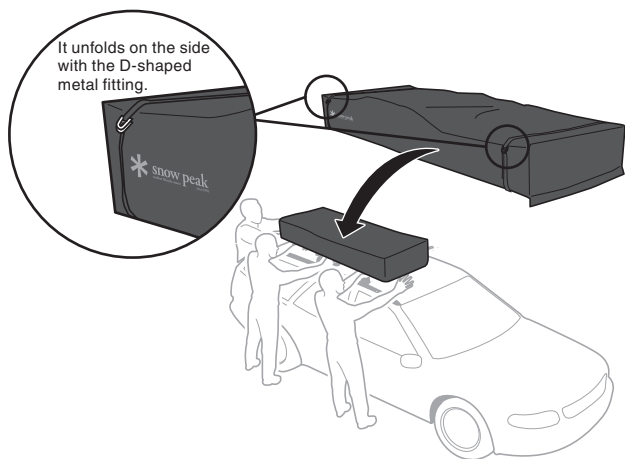


- (2) T-bolts cannot be installed in the following positions. Check the tent base installation position.

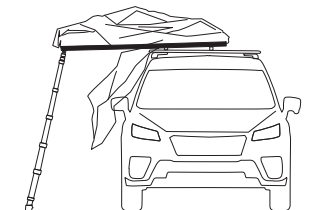


(3) Check the following points.

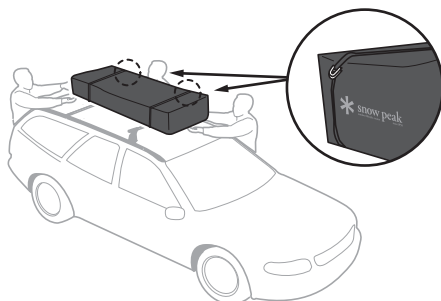
- Check that the tent base is installed in the direction in which it will be unfolded.



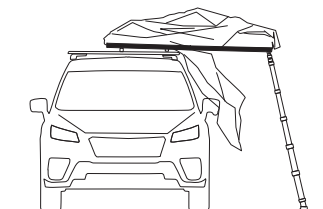
[Image with tent base unfolded]



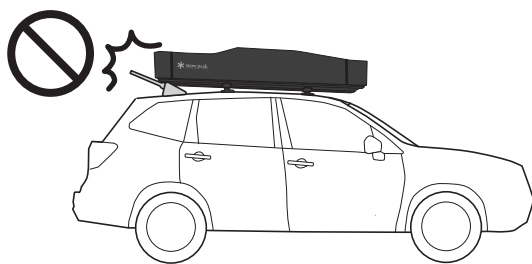
Reference If you want to unfold the tent base on the opposite side, reverse the front and back of the tent base when mounting it.



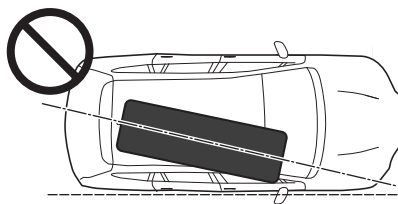
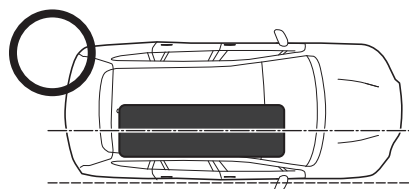
[Image with tent base unfolded]



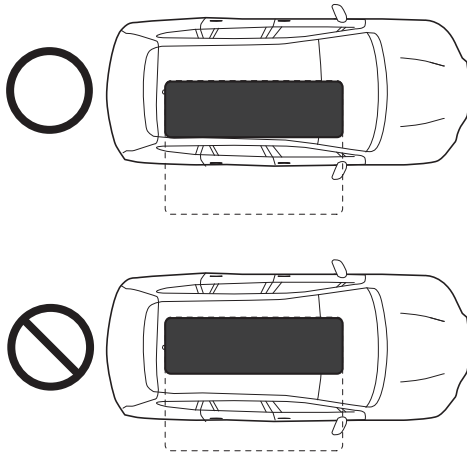
- Check that there is no interference with the antenna or other parts on the vehicle roof.



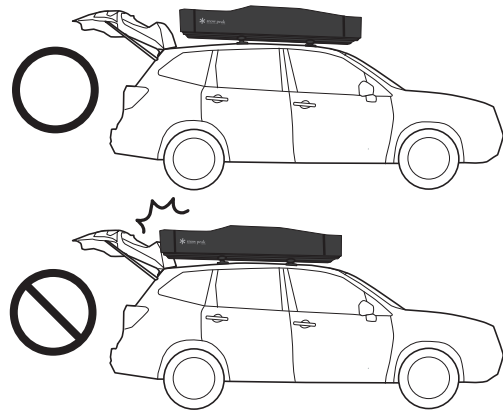
- Check that the tent base is parallel to the longitudinal line of the vehicle.



- Check that the tent base is not positioned too far inward.
(If it is positioned too far inward, the ladder angle may become excessively horizontal, making it impossible to set up correctly.)

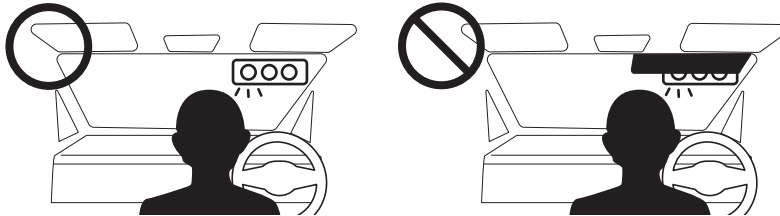


- Check that there is no interference with the back door or rear gate.



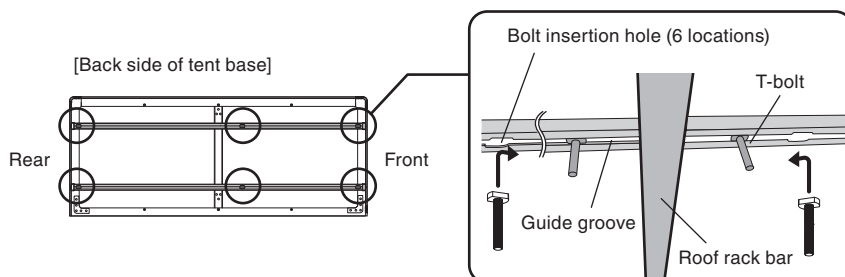
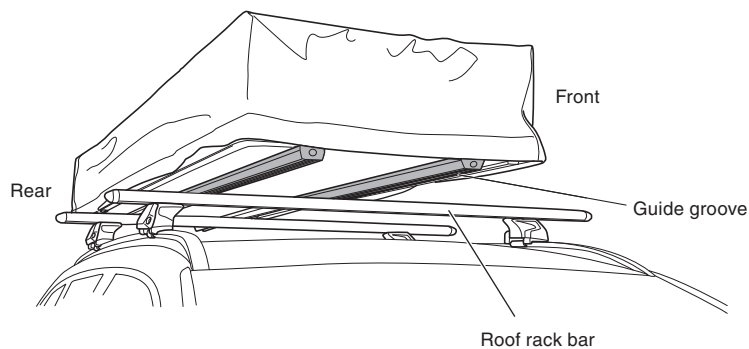
Reference An interference with the rear gate may be unavoidable because the roof rack attachment position cannot be changed depending on the vehicle model, however, this does not affect usability. Be careful not to hit the tent base when opening or closing the rear gate.

- Check that the tent base does not obstruct visibility of vehicle lights, license plates, mirrors, etc., and does not obstruct driving.
(Example: If mounted at the front of the vehicle, it may block the driver's view of traffic lights.)



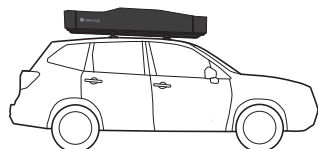
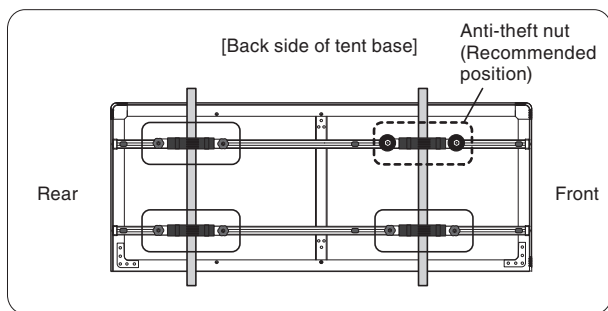
② Inserting the T-bolts

Insert the T-bolts into the bolt insertion holes on the back of the tent base and slide them in, positioning them in front of and behind the roof rack bars.

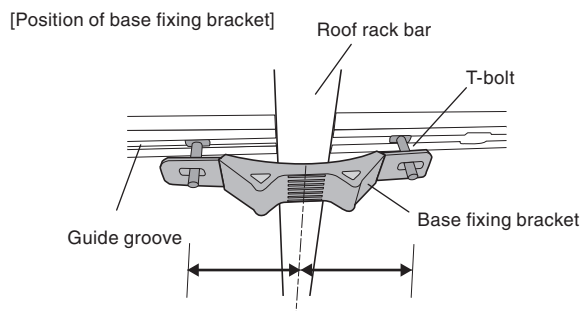


③ Fastening base fixing brackets

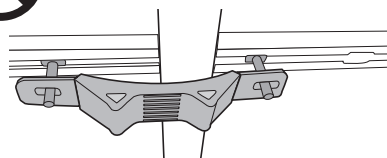
- Secure one of the four base fixing brackets using an anti-theft nut.



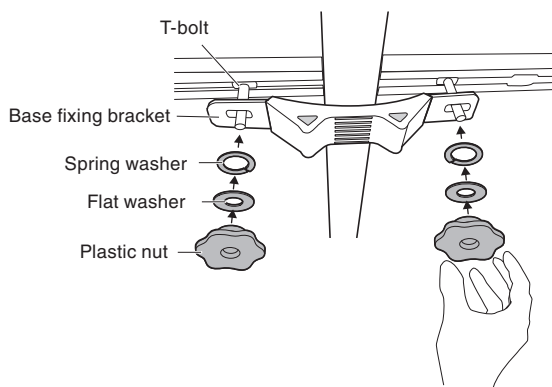
- Attach the base fixing bracket symmetrically to the roof rack bar.



The base fixing bracket is not in a symmetrical position relative to the roof rack bar.

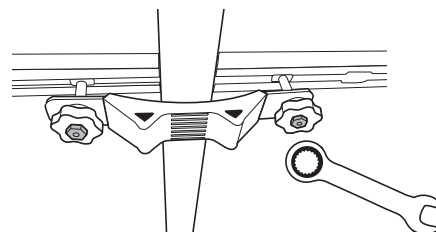


- (1) For the three base fixing brackets, pass the T-bolt through both holes of each base bracket, attach the spring washer and flat washer in order, and tighten the plastic nut by hand.

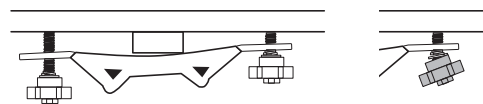


- (2) Tighten the lock nut evenly using a box wrench.

Reference Tighten the lock nut until it lightly touches the plastic nut.

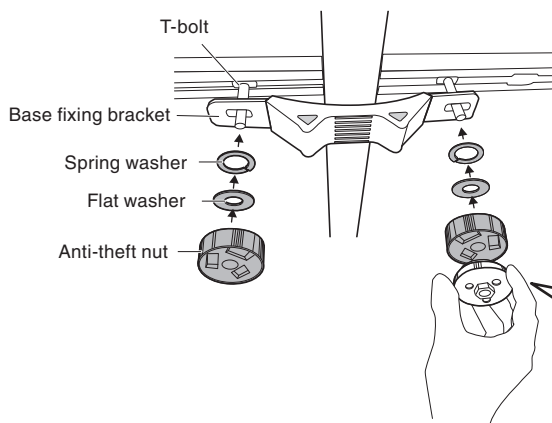


If the left and right nuts are not even tightened, or if the plastic nut is attached at an angle, it may loosen while when the vehicle is driven.

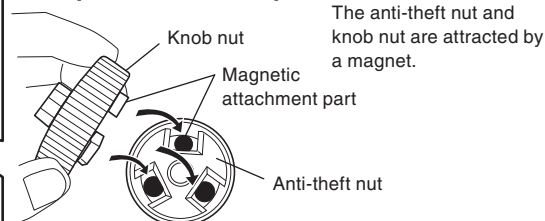


- (3) Pass the T-bolt through both holes of the remaining one base fixing bracket, attach the spring washer and flat washer in order, and turn the knob nut by hand to tighten the anti-theft nut.

Reference Tighten the knob nut until it can no longer be turned.



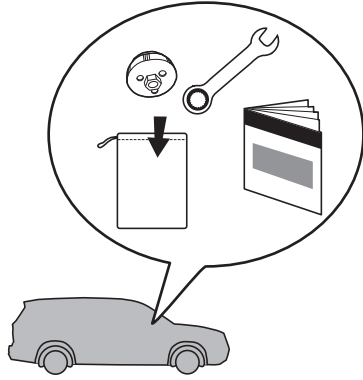
[Details of anti-theft nut]



The anti-theft nut and knob nut are attracted by a magnet.

- (4) Check that the tent base is installed in the correct position by referring to pages 36 and 37. If it is not installed in the correct position, loosen each nut, adjust the position, and reinstall it.

Reference Please keep the Instruction Manual, box wrench, and knob nuts inside your vehicle so that you can perform maintenance at any time.



Tent Setup We recommend that two or more people engage in setting up the tent safely.

DANGER

- Turn off the car engine (turn off the power switch), engage the parking brake, and perform the work on a flat, level surface.
- Do not set up the tent in locations listed in the "Unsuitable Setup Locations" section on page 54.

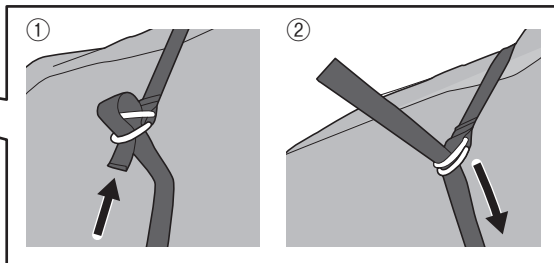
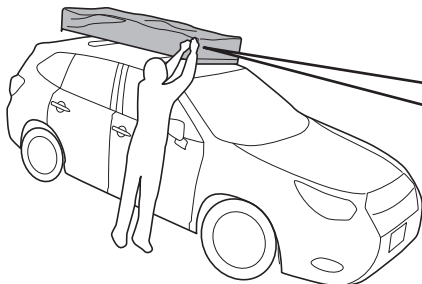
CAUTION

- Be careful of scratching this product and unexpected accidents caused by opening and closing the door.

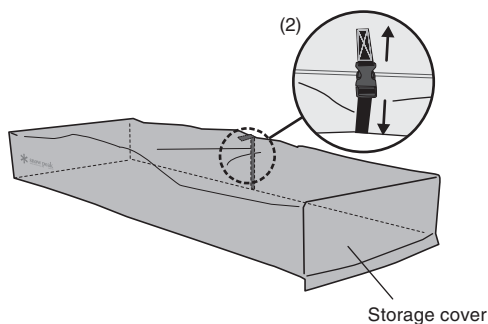
① Removing the storage cover and the opening/closing fixing part

(1) Remove the D-shaped metal fitting and prepare to turn the storage cover off.

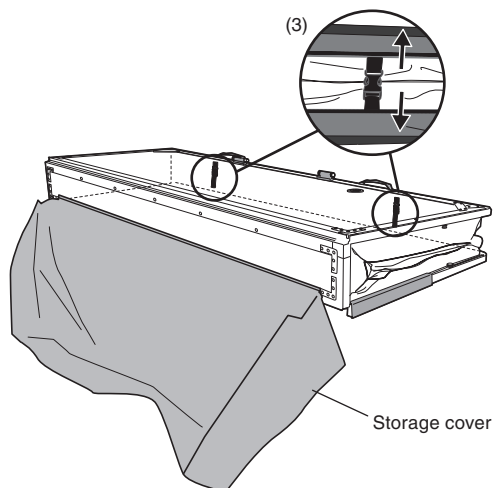
* Pass the removed belt under the roof rack to the other side to make it easier to open the cover.



(2) Go to the other side of the vehicle, release the central buckle, and open the storage cover.



(3) Turn the storage cover off, and remove the two buckles that secure the tent base opening/closing part.



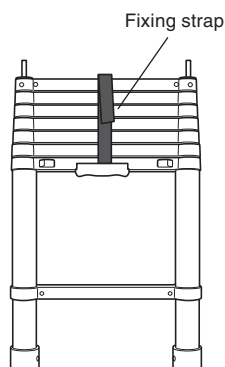
② Extending/retracting the ladder and unfolding the tent base

WARNING Be sure to perform steps (1) to (3) continuously without pausing. If the ladder is left extended, it may cause the it to suddenly lower due to its own weight, potentially leading to serious injuries such as pinched fingers or hands.

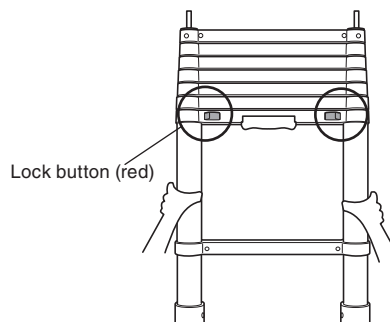
CAUTION

- If the lock button is not securely locked, the entire ladder may extend or retract while being used, potentially causing falls or injuries. Always check that it is locked.
- Do not tie the ladder fixing tape. Let it hang down behind.

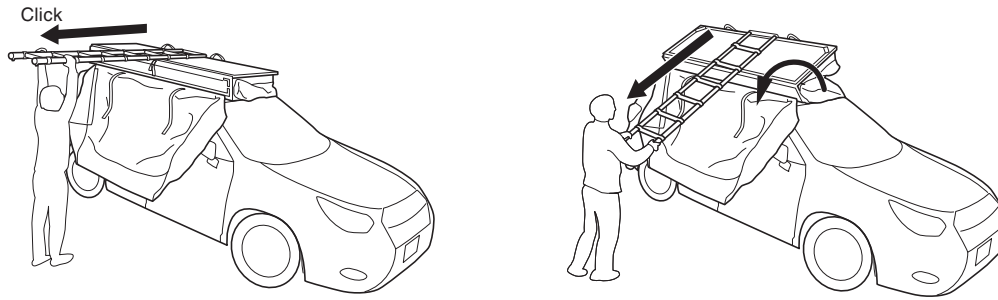
(1) Remove the ladder fixing strap.



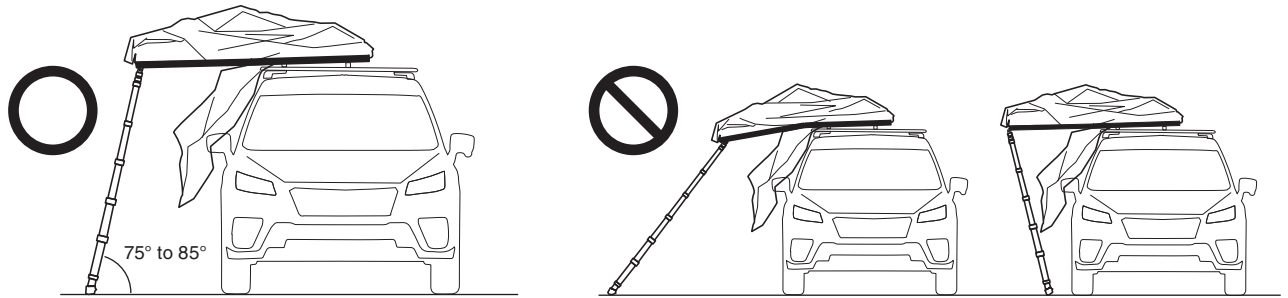
(2) Hold the ladder step just below the lock buttons using both hands and slowly extend the ladder so that it is parallel to the ground.



(3) Extend the ladder until the lock button clicks and all sections are securely locked, then lower the ladder to the ground so that the base opens up.

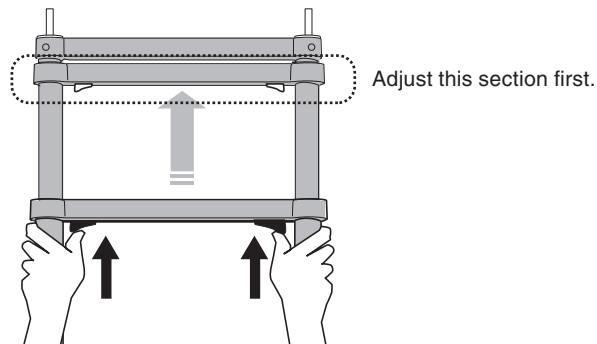


(4) Adjust the ladder angle so that the tent base is level. Position the ladder so that it is at an angle of 75 to 85 degrees to the ground, and secure with balanced tension.



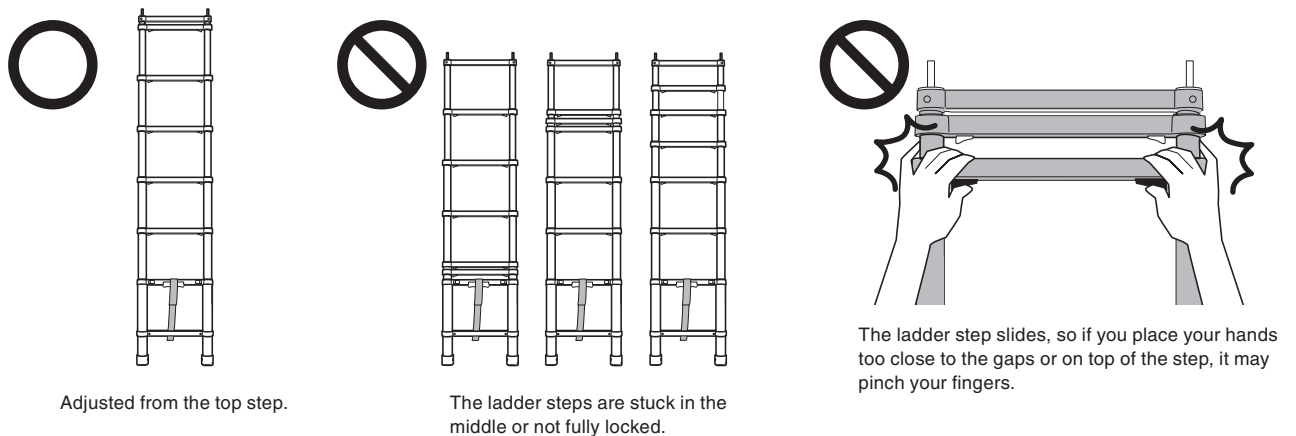
[How to adjust]

While pressing the lock buttons on the underside of each step of the ladder using both hands, adjust one step at a time, starting from the top section.



WARNING

- If the lock button is not securely locked, the entire ladder may extend or retract while being used, potentially causing falls or injuries. Always ensure that the ladder is locked.
- Do not fasten the fixing strap on the ladder. Leave it hanging down at the back.

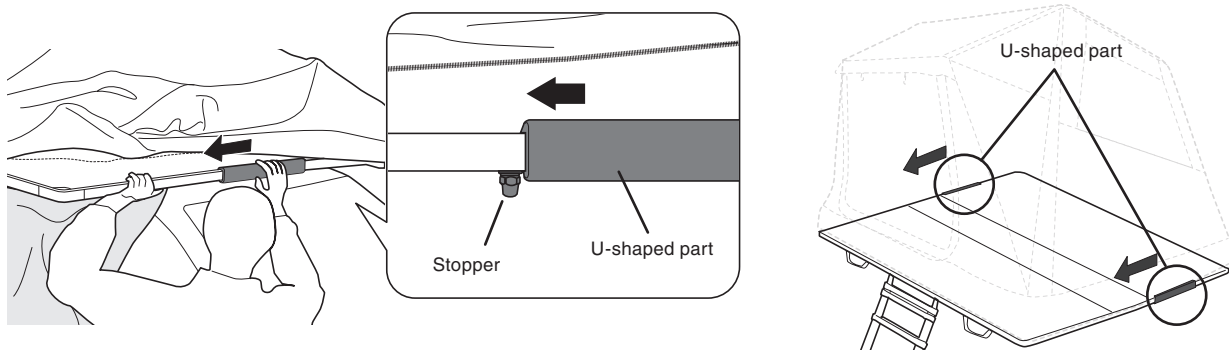


③ Securing the U-shaped parts (both sides of the tent base)

- Slide the U-shaped parts (2 locations) on both sides of the tent base until they hit the stoppers attached to the base.
- If the U-shaped parts are stiff, recheck that the tent base is level and adjust the ladder angle.

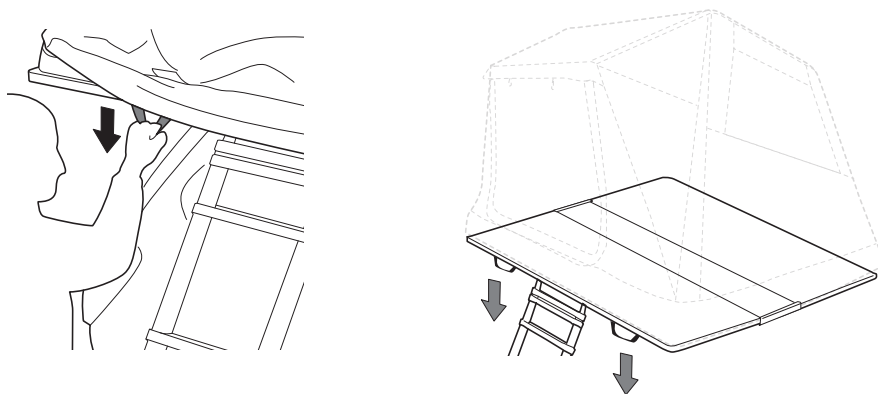
WARNING

- Always check that the U-shaped parts of the tent base are securely attached before climbing onto the tent base. If they are detached, the tent base may tilt and fall.



④ Checking the stability of the tent base

- Put your weight on the handle and check that the tent base is stable.
- If it wobbles, readjust the angle and length of the ladder.
- Look at the ladder from the front and check that it is not tilted or twisted.



⑤ Installing the two support poles

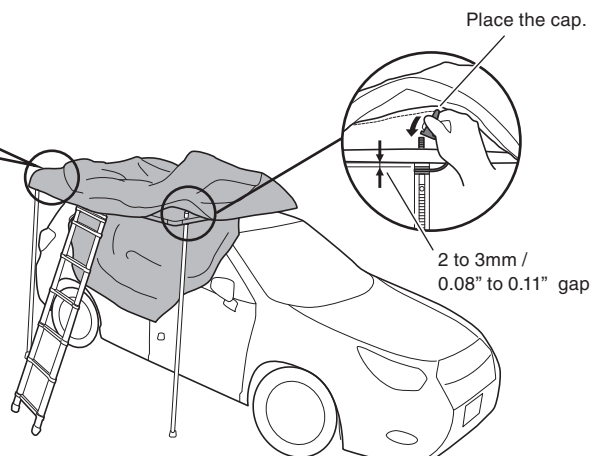
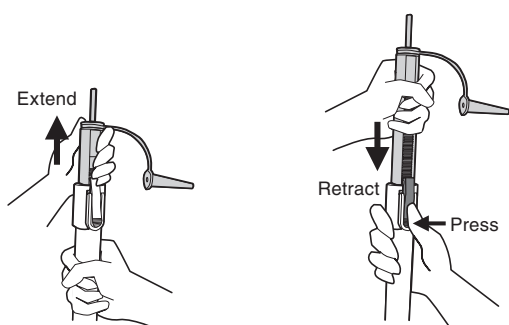
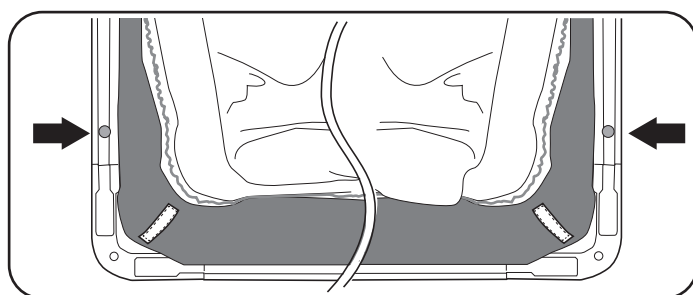
WARNING

- If the support poles are not installed correctly, it will be dangerous when load is applied to the edge of the tent.
- Do not place the ladder or support poles on stones, wood, or other objects to adjust their length.

- (1) Remove the caps from the support pole, insert them into the holes on both sides of the tent base, and extend the support pole adjuster.

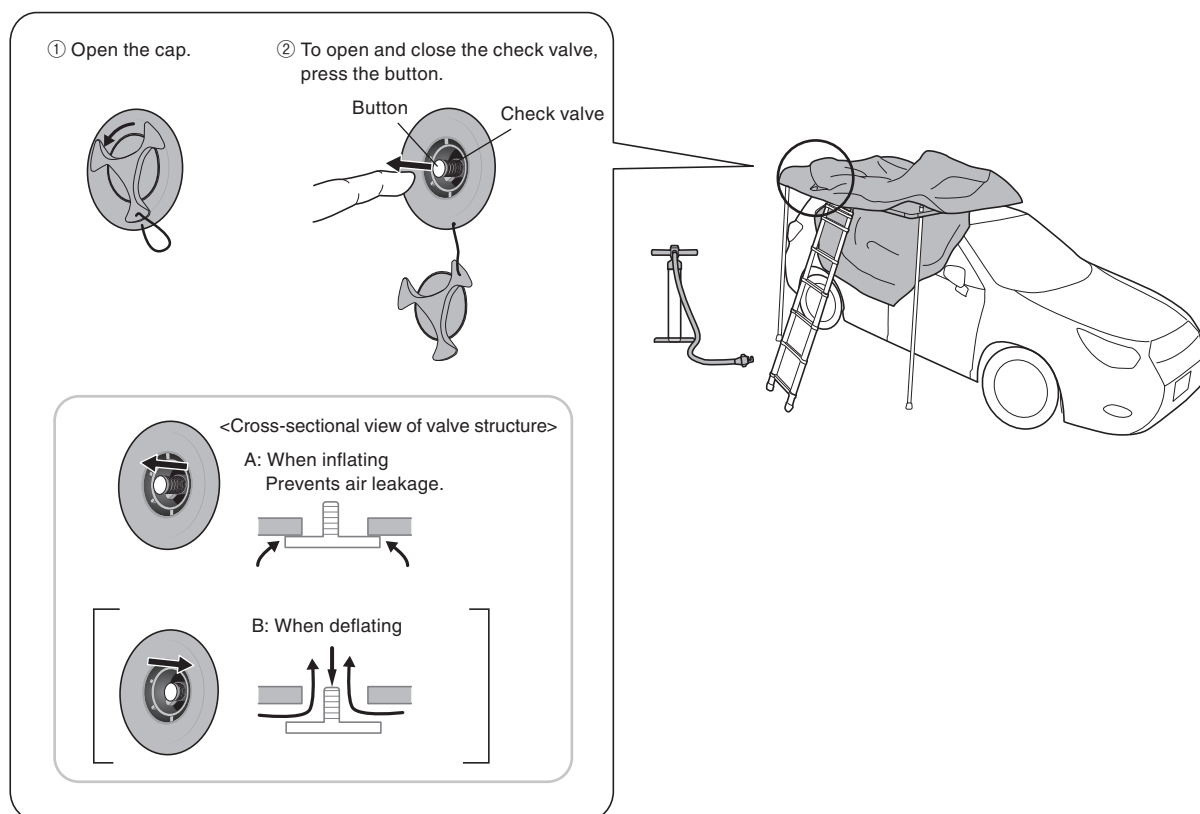
- (2) After adjusting the length, place the caps back on.

* The support pole is not designed to support the main load. To prevent the main body from being lifted, leave a gap of approximately 2 to 3mm / 0.08" to 0.11" between the top of the pole and the bottom of the base.



⑥ Inflating the air frame

(1) Open the valve cap and confirm that the check valve button has popped up. (When the button is up, air will not leak.)



(2) Attach the manual pump to the valve and inflate to the specified air pressure (8psi).

* When the air frame reaches the specified air pressure, excess air will be released automatically, and a hissing sound may be heard from the pressure relief valve. This does not indicate a puncture.

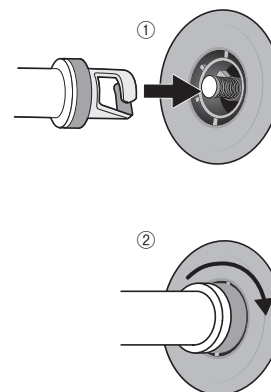
* This product has a pressure reducing valve, however, excessive air inflation may lead to a product damage.

* If the air frame is folded, the tent may not rise appropriately.

Check that the air frame is not folded or tangled with other parts, and assist the tent as needed by slowly lifting it.

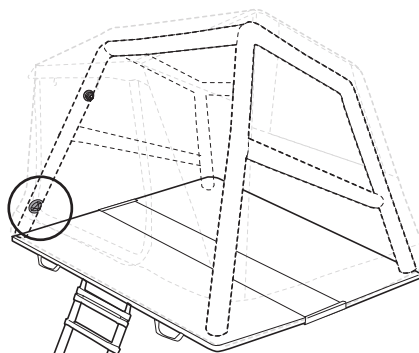
Also, inflate while checking that the tent is not catching on the base or other parts.

Reference * When attaching the manual pump, make sure that the pump hose is not twisted.
If the pump hose is twisted, the valve may come off during inflation.
* When using the manual pump, press it down slowly and fully to make inflation easier.

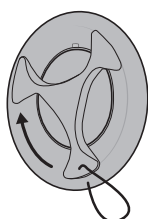


Appropriate air pressure: 8psi

[Inflated state]



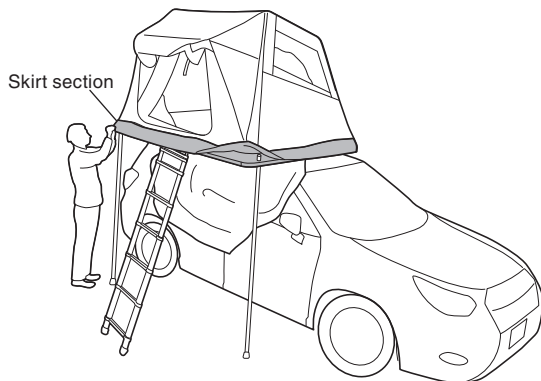
(3) Close the valve cap.



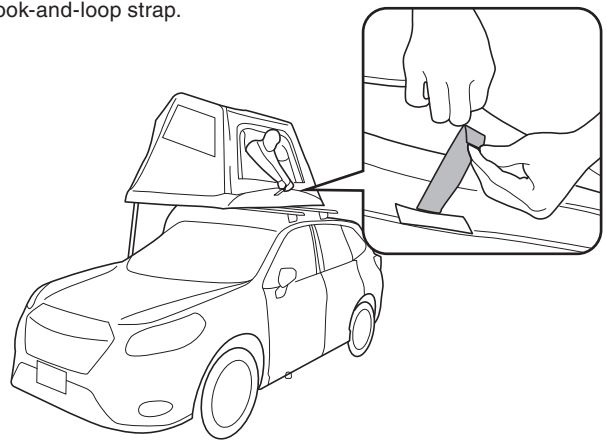
⑦ Adjusting the tent

Once the tent is set up, make the following adjustments:

(1) Securely place the tent skirt over the tent base.



(2) Raise the ventilation bars and secure them using the hook-and-loop strap.

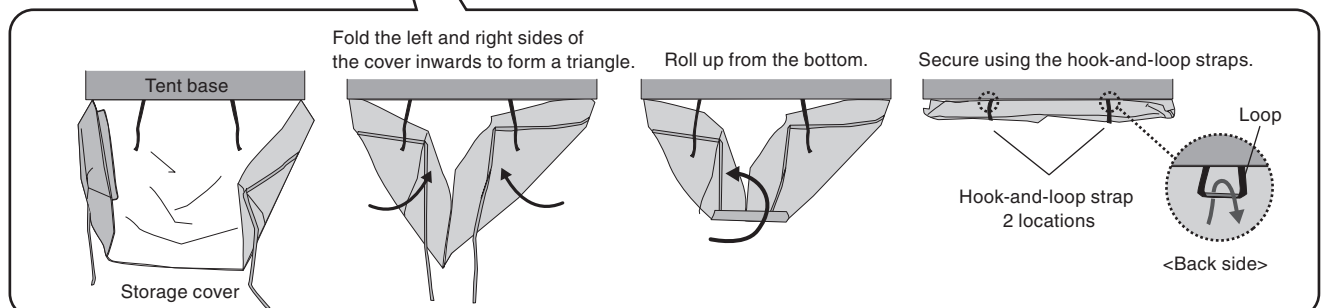
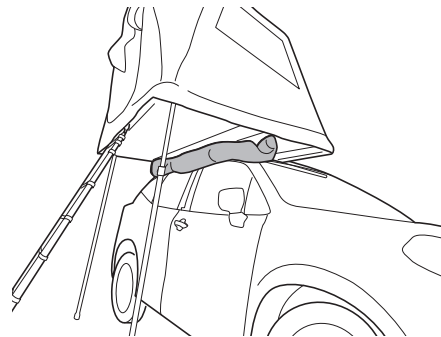
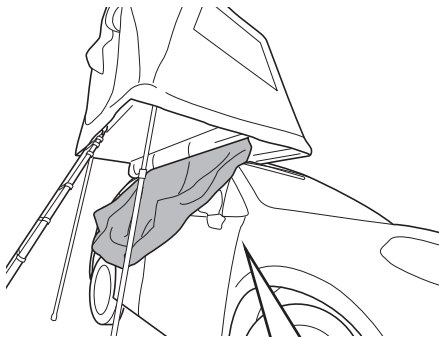


WARNING Risk of falling. Even when extending your upper body out of the window, do not place your weight outside while working.



⑧ Rolling up and securing the storage cover

Roll up the hanging storage cover and secure it using the hook-and-loop strap.

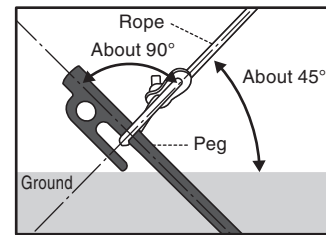
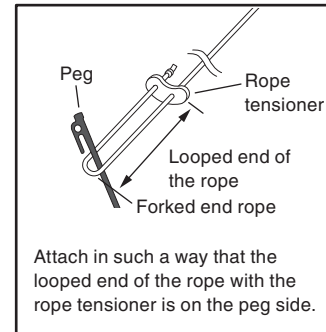
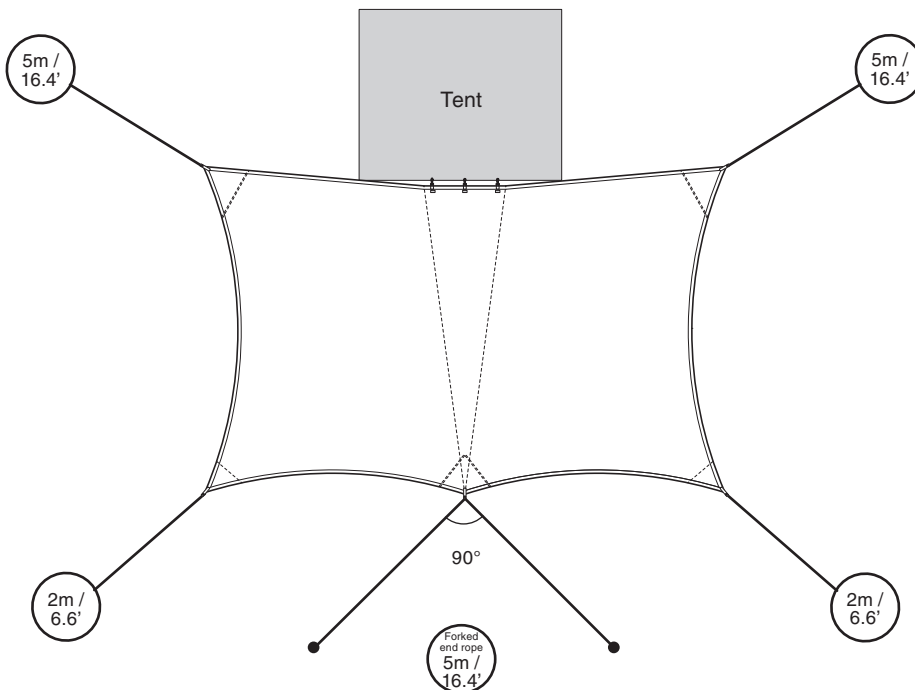


Tarp Setup We recommend working with two or more people to set up the tent more safely.

CAUTION Be careful not to let metal parts such as the grommets attached to the tarp corners, rope adjusters, or tent connection hooks come into contact with the vehicle body, as they may cause scratches or damage.

■ Rope and peg-down positions

Check that the installation location is appropriate. The tent is secured to the tent body and tarp poles, so it cannot be set up in unstable locations. Check the "Unsuitable Setup Locations" on page 54.



* Please note that if the angle between the forked end ropes is 90° or more wide when viewed from above, appropriate tension will not be transmitted to the poles, which will prevent you from setting up the tent correctly.

* Drive the peg into the ground as far from the tarp as possible. The ideal position to insert the peg is the place where it is at an angle of 45° to the ground. Insert the pegs at a 90° angle to the rope.

① Connection with the tent

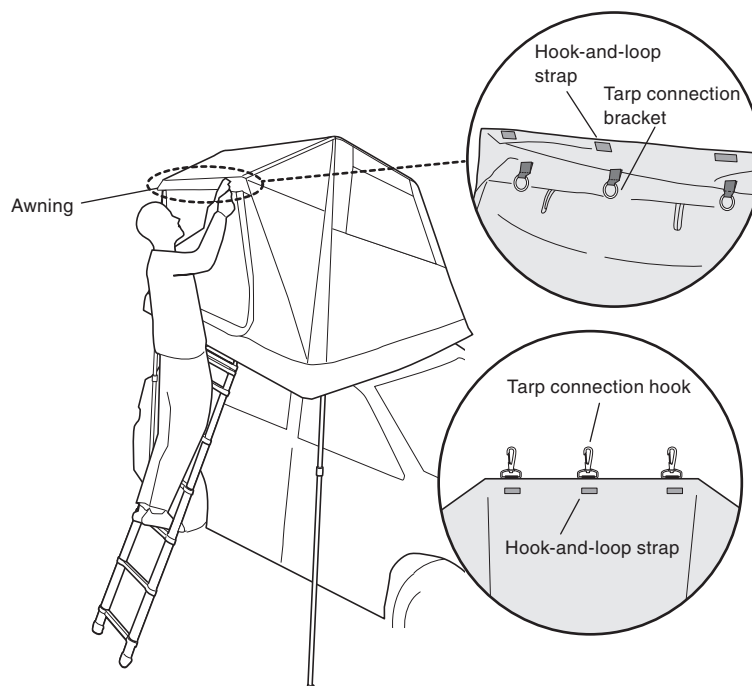
Remove the hook-and-loop strap on the awning of the tent entrance and spread out the awning. Attach the tarp connecting hooks to the tarp connecting hardware under the awning.

Then, attach the hook-and-loop straps on the awning so that they overlap the tarp. (3 locations each)

* Attach the tarp with the glossy side facing down.

WARNING

- When connecting the tarp, work carefully on the ladder, being careful not to lose your balance.
- Do not work in an unstable position, such as reaching in from inside the tent to connect the tarp.

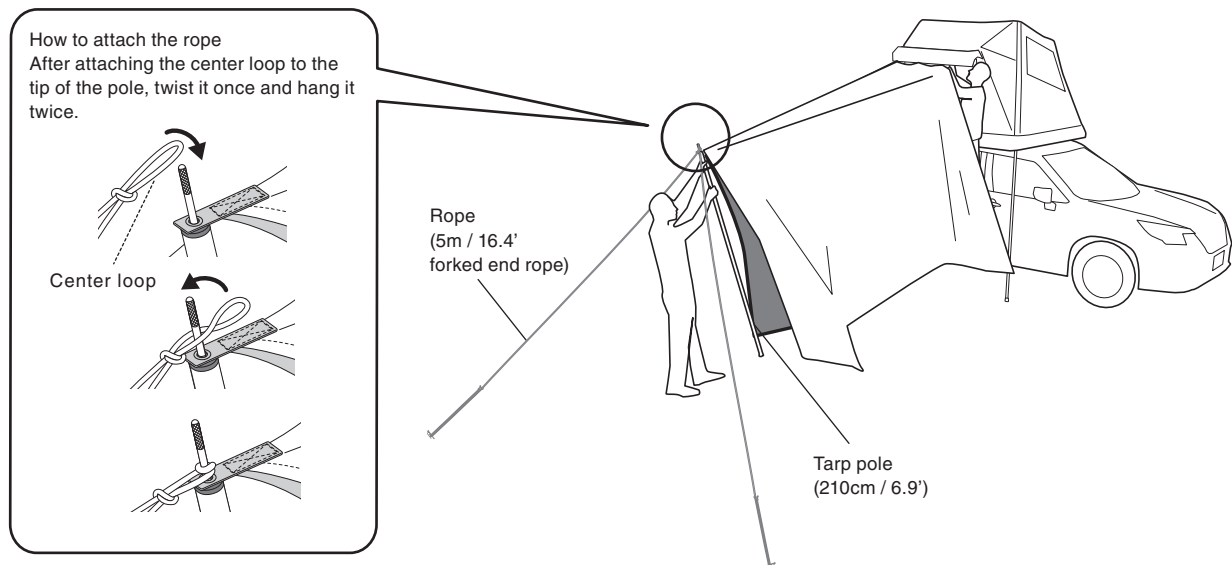


② Setting up the tarp pole and attaching the rope

Insert the tip of the tarp pole into the grommet at the main corner of the tarp, and then hang the forked end rope over it.

* Adjust the rope tensioner position at the return part of each rope to make all the ropes the same length.

Raise the tarp pole according to "■ Rope and peg-down positions" on page 45 and peg down the forked end rope.



③ Attaching other ropes

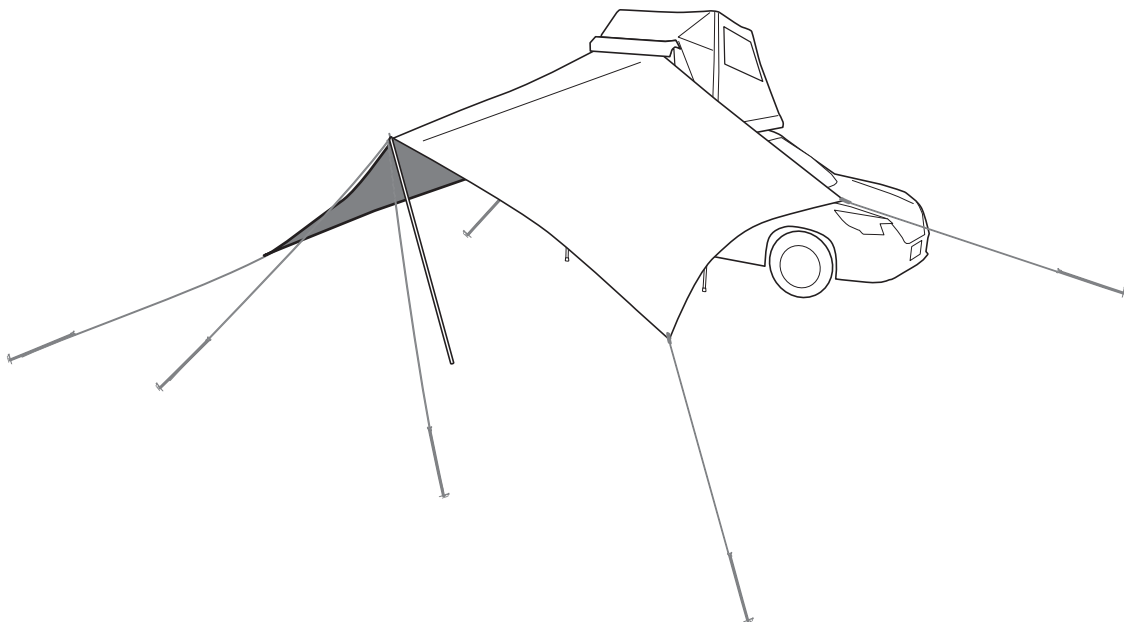
Attach ropes to both sides of the tarp (four locations in total) and peg them down. Follow the instructions in "■ Rope and peg-down positions" on page 45 to pull the ropes along the extension of the direction in which to attach the grommet tape at each corner, and then peg them down.

④ Adjusting the rope tension

Adjust the tension of each rope to adjust the tension of the tarp.

* Be careful not to pull the rope excessively. If the tension is too high, the tent body will warp.

Also, if you pull too hard, large wrinkles will occur in that direction. Loosen the ropes at the corners where wrinkles are occurring to adjust the overall balance.



Disassembly Procedure We recommend always working with two or more people to disassemble the tent more safely.

■ Precautions for disassembly

- Please make sure that the product is sufficiently dry before storing it.
- If the wind is strong, wait for it to subside before disassembling the product.
- When disassembling, make sure that nothing other than the mat is inside the inner tent, and remove any products used together with it from the main body before beginning disassembly.
- Make sure that all zippers except the designated ones are closed before beginning disassembly.
- Remove all pegs, clean them, and store them in the peg case. Store the support poles and tarp poles in their respective storage cases. If they are stored while being exposed, it may damage the main fabric or the carrying bag.

■ Tarp disassembly

CAUTION

- Exercise caution if winds become strong, as the tarp may be caught by the wind and place excessive stress on the connection points with the tent, creating a dangerous situation.
- Be careful when working, because if you hit the metal fittings such as grommets attached to the corners of the tarp, rope tensioner, and tent connection hooks against the vehicle body, it may cause damage.

① Pre-check

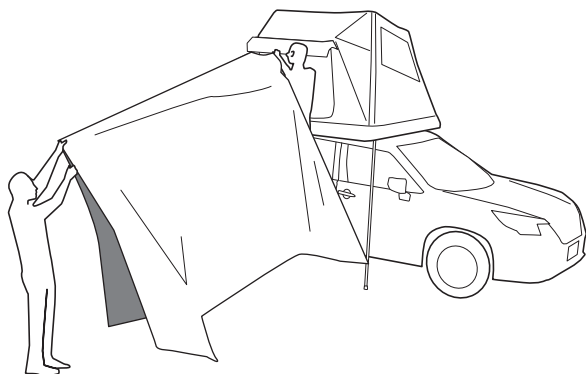
To disassemble, perform the setup procedure in reverse. Make sure that there are no objects under the tarp before starting work.

② Removing ropes and pegs

- (1) Pull out the pegs attached to the ropes other than the forked end rope.
- (2) After loosening the forked end rope of the tarp pole, slowly tilt the tarp pole and remove the tip from the grommet and rope.
 - * At this time, have one person lift the tarp body and distribute the weight to prevent excessive load being placed on the tent connection points. Continue to support it until the detachment from the tent is complete.
 - * After completing step ③, be sure to remove the pegs from the forked end rope.

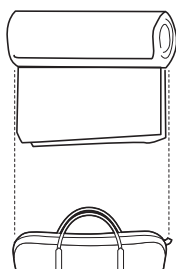
③ Removing the connection hooks with the tent

Remove the connection hooks attached to the tent.



④ Storing in the tarp carry bag

Fold the tarp to the size that fits within the width of the tarp carry bag, and roll it up while releasing the air. Store the poles and pegs in the included pole case and peg case, respectively.



■ Tent disassembly

① Pre-check

Check that nothing other than the mat is inside the tent, and close the ventilation and tent zippers.

* At this point, opening the zipper along the lower edge of the door panel at the tent entrance and the upper section of the rear zipper will help air escape from inside the tent when folding it.

* Check the "Vehicle Compatibility Information". If your vehicle model requires the mat to be removed, remove it and store it in the mat carry bag.

② Deflation

Open the valve cap and press the check valve button to deflate.

CAUTION Pressing the check valve button will deflate it all at once. Do not stand directly in front of the valve when deflating. Also, make sure there are no people or objects in the direction in which the air is escaping before proceeding. Otherwise, it may cause an injury or damage to property.

Press the button to deflate.



<Deflation>

Button pressed



<Storage (No air leakage)>

Button extended

③ Removing the two support poles

Remove the caps and detach the support poles from the tent base.

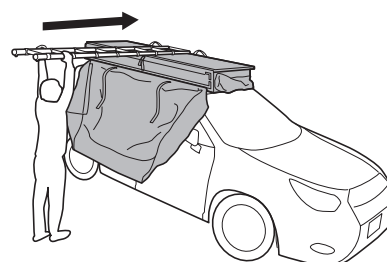
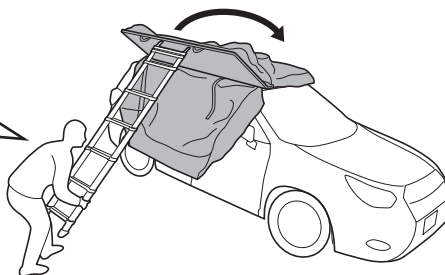
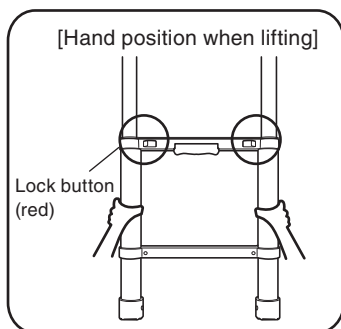
Fully retract the support poles before storing them.

④ Releasing the two U-shaped parts

Slide the U-shaped parts until they stop on the vehicle side of the tent base.

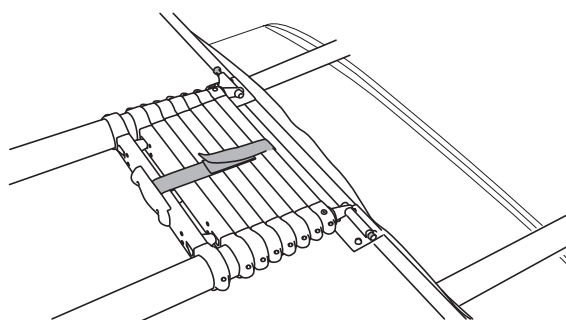
⑤ Storing the tent base

(1) Referring to [Hand position when lifting] figure below, lift the ladder and completely close the base. Then, press the lock button to retract the ladder.

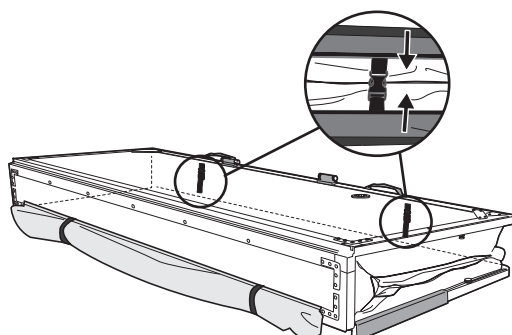


(2) Retract the ladder completely and secure it firmly using the fixing straps.

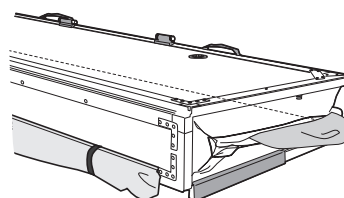
WARNING If the ladder is extended while driving, it will be extremely dangerous. Ensure that the ladder is securely attached.



(3) Secure the buckles that are holding the tent base open/close part. (2 locations)



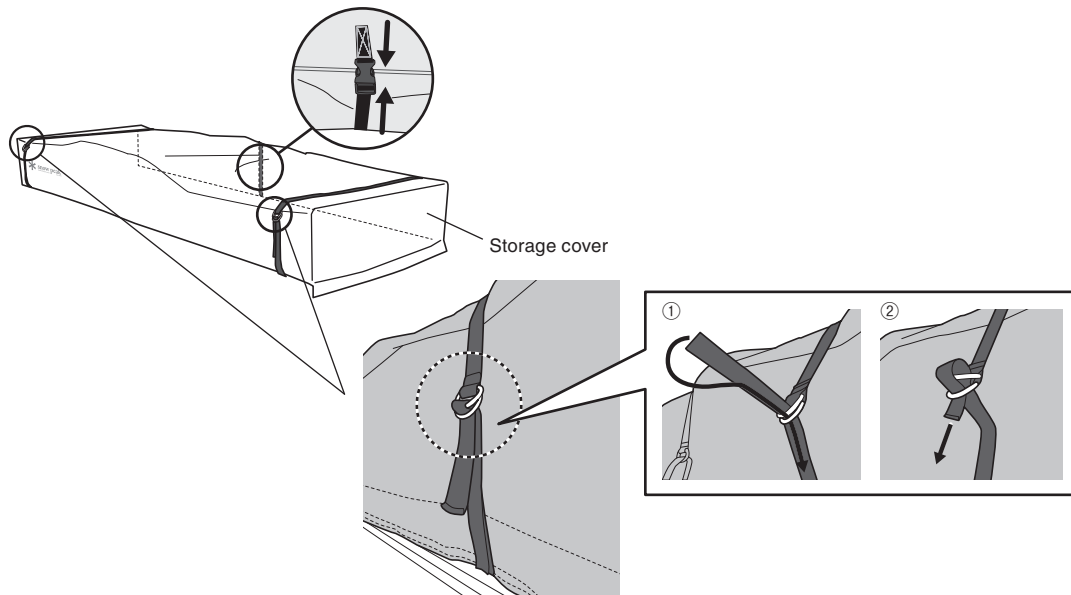
* Tuck any tent fabric that is extending beyond the tent base into the tent base.



⑥ Attaching the storage cover

- (1) Untie the hook-and-loop straps to unfold the storage cover and cover it over the main body.
- (2) Secure the compression belt using the D-shaped metal fitting and fasten the buckle in the center.

WARNING If the buckle is not appropriately secured, the compression belt may come loose while driving, potentially causing an accident.



⑦ Confirming the checklist

Before driving, please check the "Pre-Driving Checklist" on page 54 before starting to drive.

* If you will not be using this product for an extended period of time, remove it in the reverse order, referring to "How to Attach to the Roof Rack" on pages 35 to 39.

About condensation

Moisture suspended in the air rapidly cools down and turns into mist, which appears as condensation. Particularly in a confined space such as a tent or shelter, moisture from people inside is released into the air through breathing and sweating, which then turns into water vapor. This results in a higher concentration of water vapor compared to that in a typical room, increasing the likelihood of condensation forming. Condensation cannot be completely prevented, even with high-performance waterproof and breathable materials, depending on the usage conditions. To reduce condensation, frequently create steady ventilation while the tent is in use.

Water-repellent and waterproof functions

- The fabric of the product is treated with a high-quality, water-repellent finish. However, the level of water-repellent capacity and durability may vary slightly due to the characteristics of each material. The water-repellent finish will lose its effectiveness after repeated use. If the performance decreases, use a commercially available water-repellent spray after carefully reading the instructions for use.
- Although this product is made of highly waterproof fabric, rainwater may soak into it if it is in contact with pools of water on the ground for long periods of time.
- The PU coating may be damaged by agricultural chemicals, which cause the water pressure resistance to decrease significantly. Please note that the product will not be covered by the warranty if it is damaged by agricultural chemicals.
- The logo may peel off due to the effect of the water repellent agent.

Effect of ultraviolet rays

- If this product is left in the sun for a long period of time, the tarp materials may fade, and the fabric may deteriorate and lose its strength. Do not leave the product set up permanently.
- If the material deteriorates due to ultraviolet rays and is badly damaged, it may become irreparable.

Maintenance & storage

- When using the product again after not using it for a long period of time, inspect the product and its included items. If you have any questions, please contact Snow Peak Customer Service.
- A combination of polyester fabric is used in the tent and tarp parts of this product.
Considering the material characteristics, we adopted processing and color patterns that will result in less color migration. However, please note that depending on storage conditions, slight color migration may occur. We appreciate your understanding.
- After washing away any mud or dirt from the product with water, wipe it thoroughly using a dry cloth.
- Before storing, the product should be cleaned and dried. Storing the product while it is wet can lead to issues such as mold, unpleasant odors, color migration, and material deterioration. Ensure the product is thoroughly dried in a well-ventilated, shaded area, and remove any mud or dirt using a soft brush before storage.
- Check that the bolts and nuts at each mounting point are not loose.
- Using each moving part when it is covered with mud, sand, or dust may cause wear or damage. Use a brush to make sure it is always kept clean.
- Clean and dry the surface of the poles before storing. If stored when wet, corrosion may occur, resulting in strength deterioration. Keep the joints clean and apply a small amount of silicone lubricant. Applying an excessive amount of lubricant will stain the fabric.
- Using the zipper when it is covered with mud, sand, or dust may cause wear or damage. Use a brush to make sure it is always kept clean. Regularly apply small amounts of silicone lubricant to the zipper to ensure smooth movement of the u-shaped parts. Applying an excessive amount of lubricant will stain the fabric.
- Wipe any dirt from the ladder using a damp cloth, etc., making sure not to miss the non-slip areas.
- If the ladder is heavily soiled, wash it with water and then wipe it dry using a cloth.
* If cleaner or detergent is left on the ladder, it may cause a corrosion. When the product is wet, dry it completely before storing.
- Store the product in a well-ventilated place away from high temperature, high humidity, and direct sunlight.
- Apply a rust inhibitor to areas prone to rusting. (In particular, bolts and nuts that have been re-tightened.) When maintaining the base, remove the tent. If rust inhibitor or similar substances are sprayed onto the tent, the fabric may deteriorate and its water-repellent and waterproof performance may be reduced.
- If the product will not be used for an extended period of time, remove it from the vehicle and store it in a covered garage or similar location away from direct sunlight.
- Although this product is designed with safety in mind, leaving it installed on the vehicle at all times may accelerate deterioration of the fabric and components due to continuous exposure to changes in temperature and humidity (such as UV degradation, mold, corrosion, and rust), as well as loosening of bolts during driving, which may lead to reduced safety and a shorter product lifespan. If it is unavoidable to store the product while it remains installed on the vehicle, store it in a location away from direct sunlight, periodically open the product to ventilate it, and inspect fastening points such as bolts for any damage or looseness.
- Do not use the product in the following cases:
 - The ladder fixing belts are broken, worn, or severely frayed.
 - The buckles are damaged.
- Small fabric damage in the fly sheet or inner tent can be repaired with commercially available repair tape. Please carefully read the instruction manual of the repair tape before making any repairs.
- If the material has deteriorated extensively through use and exceeds its serviceable durability, it may not be possible to repair it.
- Seam tape is pressure-capped at a temperature setting that prevents damage to the PU coating. However, it may peel off as it is used repeatedly. If peeling is found, set an iron at a low temperature and reattach only the peeling sections. Do not apply excessive heat, as it may cause the fabric to discolor or accelerate deterioration. Do not forcibly peel off the seam tape. If the PU coating peels off completely, it may be impossible to repair.
- Sap cannot be easily removed. Do not set up this product under trees that frequently drop sap. If sap is forcibly removed using a solvent, etc., the fabric or coating may be damaged.
- Carry out sufficient maintenance and inspections as described above so that the product can be used satisfactorily the next time.

Tent Removal and Attachment for Maintenance

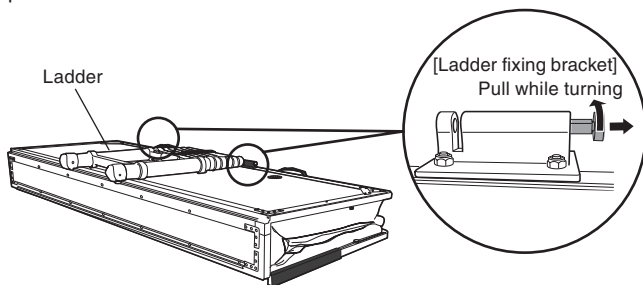
Normally, if the tent is thoroughly dried during disassembly, it does not need to be removed. Only when special maintenance is required, follow the steps below to remove or attach the tent.

WARNING

- When performing maintenance, always remove the product from the vehicle and place it on a stable surface before working.
- This product is equipped with fixing rails on the underside. When working on it, place boxes or supports of the same height at both ends to keep it level and prevent the rails from coming into direct contact with the floor.
- If a worker stands on the product while it is supported on boxes or stands, it may become unstable and result in a fall or damage. Never stand on it.
- This product is large and heavy. Take great care not to bump it into or damage surrounding objects.

■ Removal and attachment of the ladder

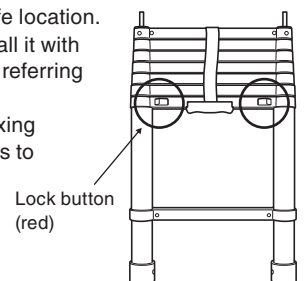
- (1) While turning the knob on the ladder fixing bracket, pull it outwards to remove the ladder.



- (2) Place the removed ladder in a safe location.

* When attaching the ladder, install it with the lock button facing upwards, referring to step (1).

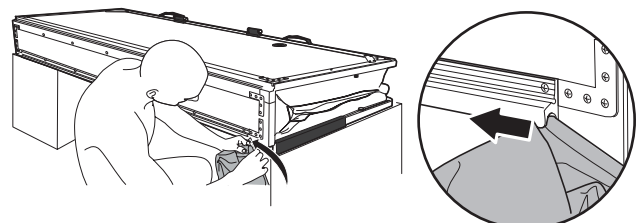
While turning the knob on the fixing bracket, pull the ladder outwards to ensure it is securely attached.



■ Removal and attachment of the storage cover

Slowly pull the storage cover out from the groove on the underside of the tent base.

- When attaching, attach the included storage cover to the groove on the underside of the tent base.
* Attach it with the glossy side facing inwards.



■ Removal and attachment of the inner tent

① Setting up the tent

Referring to "Tent Setup" on page 40, set up the tent.

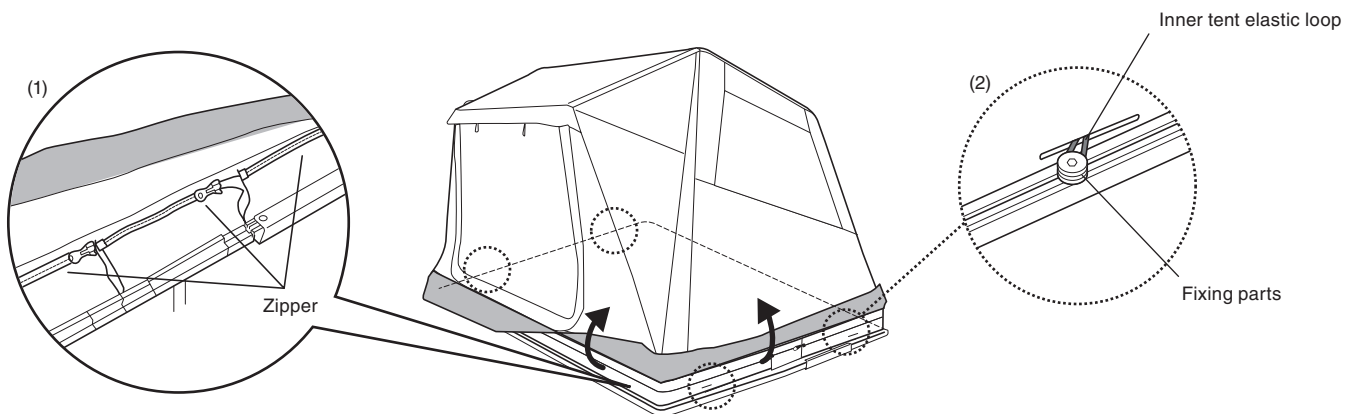
② Removal of the two mats

Check that there is nothing inside the inner tent.

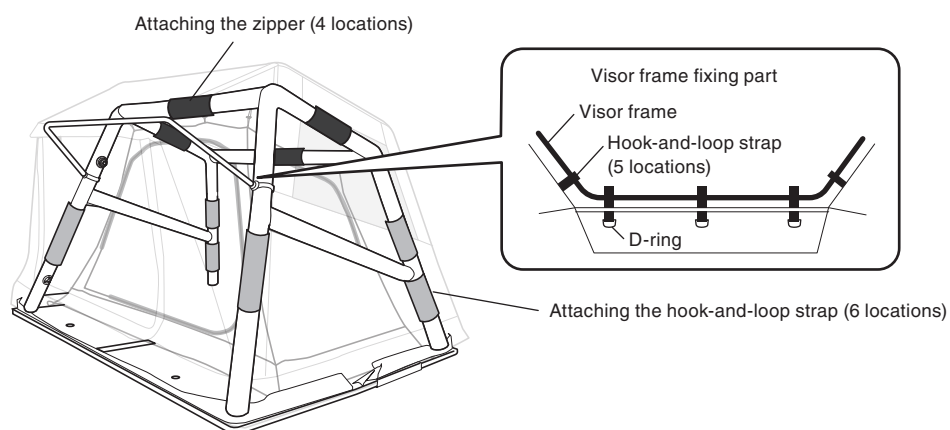
③ Removal of the fly sheet and inner tent fixing parts

(1) Flip the skirt part of the fly sheet upwards and open the zipper connecting the fly sheet and the tent base. Separate the upper part of the fly sheet from the lower part of the fly sheet connected to the tent base.

(2) Remove the elastic loops from the tent base fixing part. (4 locations)



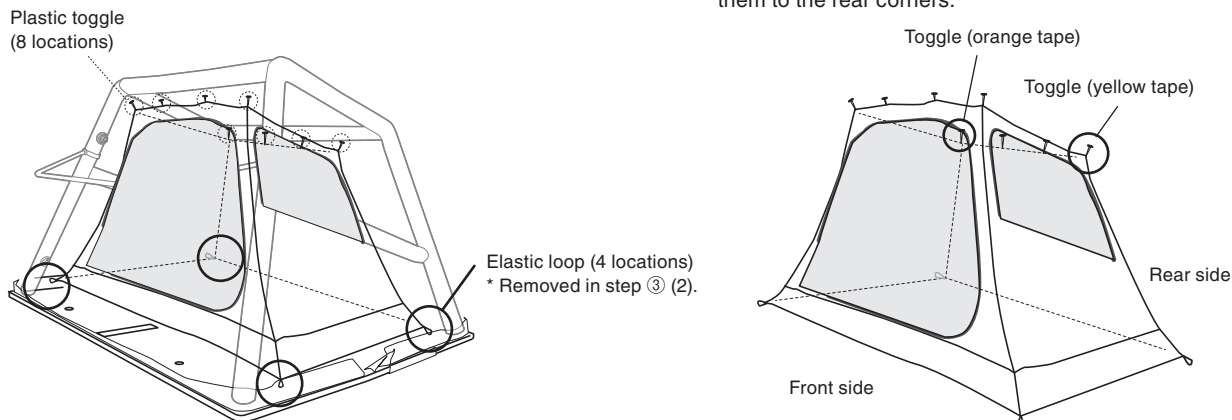
(3) Remove the connection points between the air frame and visor frame on the inside of the fly sheet, and remove the fly sheet.



④ Removing the inner tent

Remove the eight plastic toggles, and also remove the inner tent.

* The toggles at the rear corners of the inner tent are colored. When attaching, use these toggles as a guide and attach them to the rear corners.

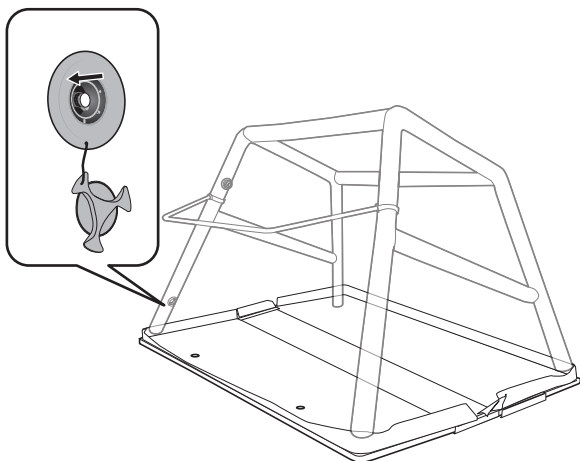


⑤ Removing the air frame

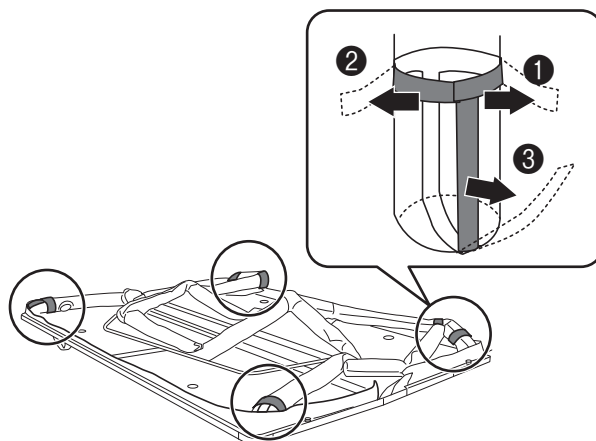
CAUTION

- Do not open the air frame cover zipper under any circumstances.
- Do not cut the cable tie securing the zipper to open it.

(1) Deflate the air frame.

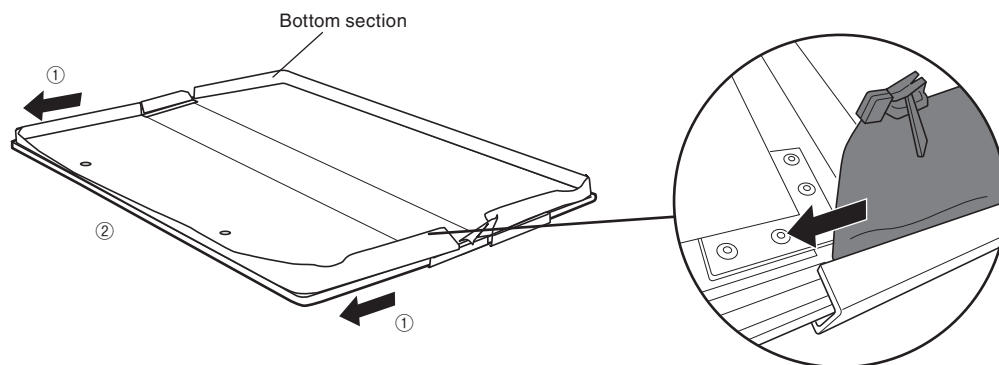


(2) Peel off and remove the hook-and-loop straps that secure the air frame legs to the tent base.



⑥ Removing the bottom section

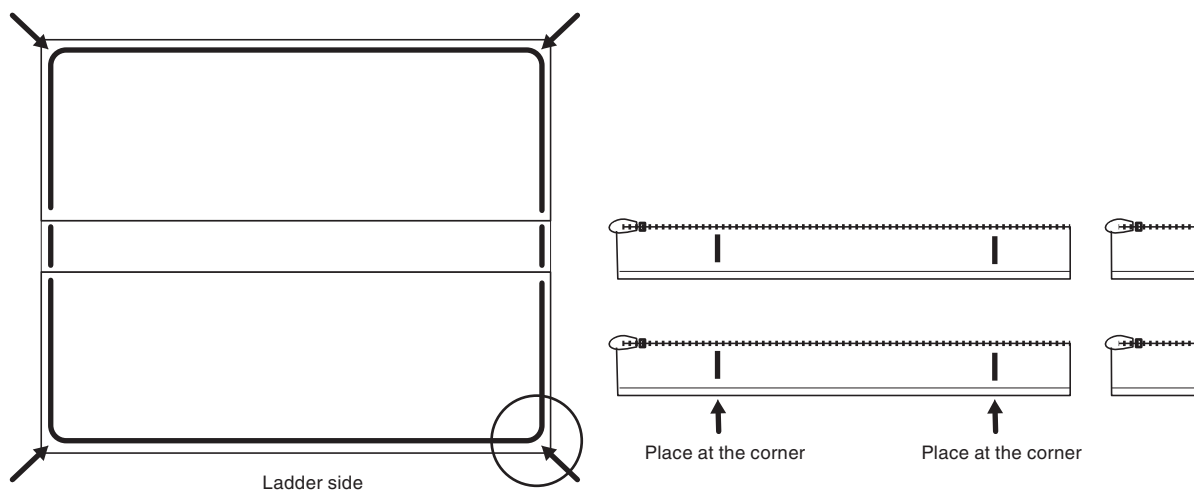
Pull the bottom section out of the grooves in the tent base. When doing so, pull out the short side first, then the long side, as shown in the figure.



Reference

Precautions for attachment

When attaching, adjust the corners as shown in the figure below so that the marks are aligned with the corners. Also, be sure to insert it firmly into the grooves of the tent base. Otherwise, it may come loose.



⑦ Attachment work

When attaching, follow the removal procedure in reverse.

CAUTION Attach the airframe, while being careful not to twist it. Otherwise, the product may be damaged.

Warranty

Snow Peak makes every effort to ensure our products are free from defects and flaws to help ensure correct function and long product life. If you feel this product is defective or needs repairs, please contact Snow Peak customer service. If there are apparent defects in the product's manufacturing, the defective product will be repaired or exchanged free of charge. In other cases, Snow Peak or Helinox will repair the product for an appropriate fee. The decision to repair or replace the product will be at our discretion. Snow Peak or Helinox will not repair the product for any damage that occurred due to the following:

1. Product lifespan, including damage due to aging of materials
2. Failure due to modification or careless handling
3. Damage caused by inappropriate use not mentioned in the instruction manual
4. Product failure caused by unexpected accidents
5. Any damage other than defects in the manufacturing process
6. Damage caused by dust or rust
7. Defects or damage due to the product being disassembled
8. Deformation of parts caused by dropping, impacts, or other shocks, and defects due to damage
9. Deterioration or failure of parts due to friction
10. Damage caused by the use of the product in combination with another manufacturer's products
11. Use of non-conforming products
12. Damage caused by natural disasters such as earthquakes, typhoons, floods, or fires
13. Use exceeding the usage limit (overloading, excessive speed, use due to a violation of any law)
14. Damage due to malfunction of the vehicle with the product attached
15. Inadequate maintenance or failure to perform the prescribed maintenance
16. Damage to the vehicle with the rooftop tent attached
17. Incidental damage caused by this product (engine trouble of the vehicle with the rooftop tent attached, other accidents) or loss due to the inability to use the vehicle with the product attached
18. Defects and malfunctions that have worsened because they were neglected despite the fact that they could be discovered and handled by normal cautions
19. Non-our products such as roof rack

Repair

If repairs are necessary, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service.

- If professional repairs are required, please contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service.
- When you request repairs, please make sure that the product is dry and clean.
- Please attach a memo or a tag indicating the necessary repair and please write details of how and when the damage occurred.
- Transportation and repair costs are determined as follows.
 1. Within warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by Snow Peak.
 2. Outside warranty: The transportation cost (both ways) and repair cost will be covered by the customer.

Unsuitable Setup Locations

For your safety, do not use this product in the following locations:

- Soft ground (muddy, sandy, or other partially unstable ground that changes over time or alters the vehicle posture)
- Areas with slopes, steps, or uneven surfaces
- Uneven or unstable ground
- Areas with snow or ice
- Wet and slippery areas (including during rainy weather, or when there are fallen leaves, sand, or dust)
- Areas with strong winds
- Areas at risk of landslides
- Areas at risk of flooding or river overflowing
- Areas where tent or tarp setup is not permitted
- Public roads, public places, or other areas that may obstruct traffic

Pre-Driving Checklist

DANGER

- Before driving, after driving on rough roads, and every 100 km during use, be sure to inspect the product according to the "Pre-Driving Checklist" below. Failure to perform these inspections may cause the roof carrier or this product to come loose or detach while driving, resulting in a serious accident.
- When inspecting, always turn off the car engine (turn off the power switch), engage the parking brake, and perform the inspection on a flat, level surface.

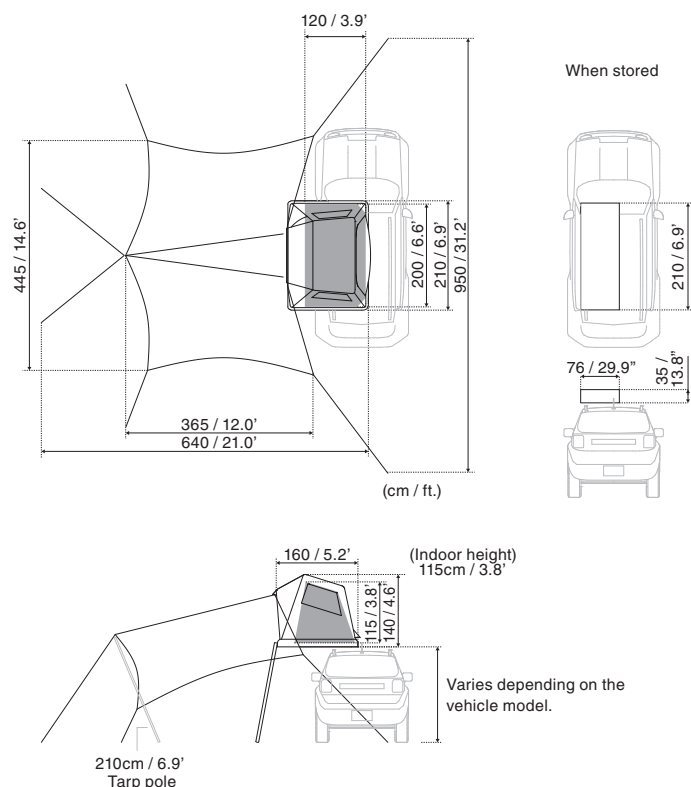
Roof rack check	
☒	Whether or not the roof rack is securely attached to the vehicle with no rattle. If it rattles, tighten the knobs and bolts on the roof rack.
☒	Whether or not the maximum load capacity is not exceeded. Check the Vehicle Compatibility Information.
Installation check	
☒	Whether or not this product is securely attached to the roof rack with no rattle. If it rattles, tighten the plastic nuts and anti-theft nuts on the base fixing brackets.
☒	Whether or not this product is installed parallel to the direction of travel of the vehicle.
☒	Whether or not the loading of this product complies with road traffic laws.
☒	Whether or not the product obstructs the visibility of vehicle lights, license plates, mirrors, etc., or obstruct driving.
Product check	
☒	Whether or not the ladder is securely attached.
☒	Whether or not the tent base is closed. Whether or not the tent base is secured using buckles.
☒	Whether or not the storage cover belt is fastened using the D-shaped metal fitting.
☒	Whether or not the following items are stored in the vehicle. ① Instruction Manual, ② Box wrench, ③ Knob nut
Others	
☒	Whether or not you are aware of the tent mounting height (the height of the vehicle with this product installed). Confirm the "Vehicle Compatibility Information".
☒	Whether or not you are aware of the weather and road conditions at your destination. Whether or not you are in good health. If the weather is bad, the road conditions are poor, or you are not feeling well, stop driving or using the product.

Specifications

- Set Contents: Tent Base, Inner Tent, Air Frame, Fly Sheet, Mat, Storage Cover, Support Poles (x2), Manual Pump, Ladder, Tarp, Tarp Pole (210cm / 6.9'), Steel Pegs (30cm / 11.8" x6), Rope with Tensioner (Forked 5m / 16.4' x1, 2m / 6.6' x2, 5m / 16.4' x2), Mat Carry Bag, Tarp Carry Bag, Support Pole Storage Case, Tarp Pole Storage Case, Peg/Rope Storage Case, Small Item Storage Case, Base Fixing Hardware (x4), Flat Washers (x10), Spring Washers (x10), Plastic Nuts (x8), Anti-Theft Nuts (x2), Knob Nuts (x2), T-Bolts (x8), Lock Nuts (x8), Box Wrench
- Material: Tent Base / Aluminum Alloy, Fiberglass, Fly Sheet / 75D Polyester Oxford, Pigment PU Coating Waterproof Rating: 1,800mm minimum, Water Repellent Finish, UV Protection Treatment (Roof, Wall), Inner Tent / 68D Polyester Taffeta (Wall), 210D Polyester Oxford, PU Coating Waterproof Rating: 1,800mm minimum, Water Repellent Finish (Bottom), Mat / 75D Polyester Oxford PU Coating (Fabric), Polyurethane (Core), Air Frame / TPU, Storage Cover / 600D Polyester, PVC Coating, Support Poles / Aluminum Alloy, Ladder / Aluminum Alloy, Tarp / 75D Polyester Oxford, Pigment PU Coating Waterproof Rating: 1,800mm minimum, Water Repellent Finish, UV Protection Treatment, Tarp Poles / Steel, Steel Pegs / Steel, Manual Pump / PVC (Body), Polyethylene (Hose)
- Storage size: Main Body / 210x76x35 (h) cm / 82.7" x 29.9" x 13.8" (h), Tarp / 80x20x25 (h) cm / 31.5" x 7.9" x 9.8" (h), Mat / 39.4"x23.6"x7.1" (h)
- Weight: Main Body / 51kg (including a 3kg / 6.6lbs mat when mounted on a vehicle), Tarp / Approx. 4kg / 8.8lbs

- Tent capacity (approximate): 1 to 2 people

* The permissible total weight with tent installed varies depending on the vehicle model. Confirm the "Vehicle Compatibility Information".



Snow Peak, Inc.

456, Nakanohara, Sanjo-Shi, Niigata 955-0147 Japan
Tel. +81 256-46-5858 / Fax. +81 256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

Snow Peak USA, Inc.

404 NW 23rd Avenue, Portland, Oregon 97210, USA
Tel. +1 (888) 424-4916 / Instagram. @snowpeakusa
Email. info@snowpeak.com / www.snowpeak.com

MADE IN CHINA